

# 指定管理者制度導入施設の 管理運営に係る評価票

評価対象年度：令和4年度

栗 原 市



## 令和4年度指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票 施設一覧

No.	施設名称	施設所在地	指定管理者	指定管理料	担当部課	市の総合評価	ページ
1	栗原市くりはら田園鉄道公園	若柳字川北塚ノ根、塚ノ越及び橋元地内	特定非営利活動法人 Azuma-re	有	企画部企画課	S	1 ~ 3
2	くりはら交流プラザ	志波姫新熊谷279番地2	株式会社ゆめぐり	有	企画部市民協働課	B	4 ~ 6
3	栗原市市民活動支援センター	築館伊豆二丁目6番1号	特定非営利活動法人 Azuma-re	有	企画部市民協働課	A	7 ~ 9
4	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター	一迫字川口中野30番地	一迫地区 金田コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	10 ~ 12
5	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター	一迫字上中島39番地1	一迫地区 長崎コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	13 ~ 15
6	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター、一迫農村婦人の家	一迫北沢十文字62番地5	一迫姫松地区 コミュニティ推進協議会	有	企画部市民協働課	A	16 ~ 18
7	栗原市築館高齢者福祉センター	築館薬師三丁目6番1号	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	19 ~ 21
8	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設	栗駒八幡西沢10番地1	公益社団法人 栗原市シルバー人材センター	有	市民生活部社会福祉課	A	22 ~ 24
9	栗原市一迫老人福祉センター	一迫真坂字高橋20番地1	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	有	市民生活部社会福祉課	A	25 ~ 27
10	栗原市鶯沢老人福祉センター	鶯沢南郷下久保21番地1	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	28 ~ 30
11	栗原市瀬峰ふれあいセンター	瀬峰下田地内	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会	有	市民生活部社会福祉課	A	31 ~ 33
12	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター	栗駒岩ヶ崎上小路136番地	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	34 ~ 36
13	栗原市栗駒老人憩いの家	栗駒岩ヶ崎上小路136番地	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	37 ~ 39
14	栗原市志波姫老人憩いの家(万年青荘)	志波姫沼崎原83番地1	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	40 ~ 42
15	栗原市高清水デイサービスセンター	高清水字東館34番地	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	A	43 ~ 45
16	栗原市金成デイサービスセンター	金成沢辺町沖200番地	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	A	46 ~ 48
17	栗原市一迫高齢者生活福祉センター(やすらぎセンター)	一迫真坂字高橋20番地1	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	有	市民生活部社会福祉課	A	49 ~ 54
18	栗原市花山高齢者生活福祉センター(湖畔の里)	花山字本沢百目木18番地1	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	無	市民生活部社会福祉課	B	55 ~ 57
19	栗原市若柳認定こども園	若柳字川北塚原104番地1	一般社団法人吉野学園	有	市民生活部子育て支援課	A	58 ~ 60
20	くりはら斎苑	築館字荒田沢41番地	グリーン観光バス株式会社	有	市民生活部環境課	A	61 ~ 63
21	栗原市栗駒農林水産物直売所	栗駒文字鍛冶屋103番地	文字地域活性化推進協議会	無	農林振興部農業政策課	A	64 ~ 66
22	栗原市花山農山村交流センター	花山字本沢北ノ前133番地	一般社団法人はなやまネットワーク	有	農林振興部農業政策課	A	67 ~ 69
23	栗原市若柳特産物直売センター	若柳字川北塚ノ根27番地1	栗原市若柳地区農産物直売所 くりでん出荷組合	無	農林振興部農業政策課	A	70 ~ 72
24	栗原市瀬峰特産物直売センター	瀬峰下田185番地1	瀬峰町の市会	無	農林振興部農業政策課	A	73 ~ 75
25	栗原市あやめの里	一迫真坂字清水田川4番地1	新みやぎ農業協同組合	無	農林振興部農業政策課	A	76 ~ 78
26	栗原市湖畔のみせ旬彩	花山字本沢合道46番地5	一般社団法人はなやまネットワーク	無	農林振興部農業政策課	A	79 ~ 81
27	栗原市金成農村環境改善センター	金成沢辺町沖200番地1	新みやぎ農業協同組合	無	農林振興部農業政策課	A	82 ~ 84
28	栗原市一迫地区活性化センター	一迫真坂字高橋20番地1	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	有	農林振興部農業政策課	A	85 ~ 87
29	栗原市高原創造センター	栗駒沼倉耕英東45番地	株式会社ゆめぐり	無	農林振興部農業政策課	A	88 ~ 90
30	栗原市栗駒特産物直売センター	栗駒岩ヶ崎上小路150番地7	栗駒鶯沢物産等販売施設 利用組合	有	商工観光部産業戦略課	A	91 ~ 93
31	若柳ふるさとの森	若柳武鎗字磯田沢154番地	ふるさとの森振興協会	有	商工観光部田園観光課	A	94 ~ 96
32	栗原市ハイルザーム栗駒	栗駒沼倉耕英東50番地1	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	97 ~ 99

令和4年度指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票 施設一覧

No.	施設名称	施設所在地	指定管理者	指定管理料	担当部課	市の総合評価	ページ
33	栗原市栗駒コテージ	栗駒沼倉耕英東49番地	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	100 ~ 102
34	栗原市金成温泉金成延年閣	金成三沢32番地	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	103 ~ 105
35	栗原市花山温泉湯湯山荘	花山字本沢温湯15番地1	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	B	106 ~ 108
36	栗原市花山青少年旅行村	花山字本沢稲干場2番地1	株式会社ゆめぐり	有	商工観光部田園観光課	A	109 ~ 111
37	栗原市スワントピア交流館	築館字横須賀養田18番地	内沼観光物産協議会	有	商工観光部田園観光課	A	112 ~ 114
38	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館	築館字横須賀養田20番地1	一般社団法人 くりはらツーリズムネットワーク	有	商工観光部田園観光課	A	115 ~ 117
39	若柳川北交流広場管理棟	若柳字川北中町1番地	栗原市若柳中町自治会	無	建設部都市計画課	A	118 ~ 120
40	栗原市築館B&G海洋センター体育館	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	121 ~ 123
41	栗原市築館体育センター	築館高田二丁目8番12号	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	124 ~ 126
42	栗原市築館野球場	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	127 ~ 129
43	栗原市築館陸上競技場	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	130 ~ 132
44	栗原市築館B&G海洋センタープール	築館字荒田沢41番地241	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	133 ~ 135
45	栗原市築館多目的競技場	築館高田二丁目8番12号	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	136 ~ 138
46	栗原市築館テニスコート	築館伊豆一丁目2番7号	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	139 ~ 141
47	栗原市若柳総合体育館	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	142 ~ 144
48	栗原市若柳野球場	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	145 ~ 147
49	栗原市若柳総合体育館弓道場	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	148 ~ 150
50	栗原市若柳総合体育館トレーニングルーム	若柳字川南道伝前125番地2	特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会	有	教育部社会教育課	A	151 ~ 153
51	栗原市栗駒総合体育館	栗駒岩ヶ崎裏山221番地	株式会社 ダンロップスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	154 ~ 156
52	栗原市栗駒野球場	栗駒岩ヶ崎裏山216番地64	株式会社 ダンロップスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	157 ~ 159
53	サン・スポーツランド栗駒	栗駒岩ヶ崎裏山211番地	株式会社 ダンロップスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	160 ~ 162
54	栗原市栗駒テニスコート	栗駒岩ヶ崎裏山216番地64	株式会社 ダンロップスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	163 ~ 165
55	栗原市栗駒プール	栗駒岩ヶ崎裏山221番地	株式会社 ダンロップスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	166 ~ 168
56	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム	栗駒岩ヶ崎裏山221番地	株式会社 ダンロップスポーツウェルネス	有	教育部社会教育課	A	169 ~ 171
57	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場	一迫字長崎川台53番地5	協業組合アクアテック栗原	有	教育部社会教育課	A	172 ~ 174
58	栗原市文字郷土文化保存伝習館	栗駒文字角ヶ崎67番地1	一和会	有	教育部社会教育課	B	175 ~ 177
59	栗原市伊豆沼交流センター	若柳字上畑岡鶴経沢61番地1	協業組合アクアテック栗原	有	教育部社会教育課	A	178 ~ 180
60	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡	花山字本沢温湯地内	株式会社ゆめぐり	有	教育部文化財保護課	A	181 ~ 183
61	栗原市千葉周作ゆかりの家	花山字草木沢箕ノ口地内	有限会社花山産業	有	教育部文化財保護課	A	184 ~ 186

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	くりはら田園鉄道公園
施設所管部署名	企画部企画課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	くりはら田園鉄道公園(くりでんミュージアム、旧若柳駅舎等動態保存施設、芝生広場)		
施設 所 在 地	栗原市若柳字川北塚ノ根17番地1ほか		
設 置 年 月	平成29年4月	設置根拠条例	栗原市くりはら田園鉄道公園条例
設 置 目 的	くりはら田園鉄道の歴史的財産の保存及び展示並びに乗車体験等を通じて、その歴史と文化に親しむ機会を広く提供し、もって市民文化の向上と地域の活性化に資する。		
施設 概 要	面 積	延床面積 1,169㎡、敷地面積 18,419㎡	
	構 造	木造	
	施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くりでんミュージアム</li> <li>・旧若柳駅舎等動態保存施設</li> <li>・芝生広場</li> </ul>	
休 館 日	火曜日、12月29日から翌年1月3日までの日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前10時00分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミュージアム入館料 : 一般500円、小中学生300円</li> <li>○運転シミュレーター : 1回300円</li> <li>○レールバイク : 1台500円</li> <li>○鉄道車両 : 1人300円</li> <li>○鉄道車両運転体験 : 1両編成25,000円(初回は30,000円)、2両編成40,000円</li> </ul> ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人Azuma-re		
	事務所所在地	栗原市築館伊豆二丁目5-39ビジネスホテル志ばたや内		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (3年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	101,054,000円 (3年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成29年4月 ~ 令和3年3月	直営	栗原市	
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	284日	306日	99.4%	107.7%
利用者数(延べ人数)	15,000人	18,506人	20,729人	138.2%	112.0%
利 用 料 金 収 入	5,000,000円	5,147,800円	6,972,120円	139.4%	135.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による閉館期間があったため、令和4年度は令和3年度に比べ開館日数が多い。 また、利用者数に関しては企画展示やイベントをより多く行うなど積極的な運営を行なったため来場者が増加している。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	グッズWebショップ販売事業	Webサイトを利用したグッズ販売	すべて	274人
通年	リピーター拡大事業	くりでんミュージアム入館に特化した年パスの発行	すべて	121人
通年	くりでんサポーターズ事業	サポーターズ会員の募集	すべて	31人
通年	旧若柳駅舎開放事業	駅舎の常時開放・案内の実施	すべて	6,852人
令和4年4月～6月	広告宣伝事業	有料広告掲載による収入確保	すべて	6人
令和4年	貸切乗車会	イベント時以外に特定の団体に乗車会を開催	すべて	35人
令和4年8月	気動車構内運転体験	若柳構内のみのミニ運転体験	すべて	8人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
<p>・開館から5年が経過しているため施設内の設備等に故障や破損、交換時期の案内が出始めている。特に令和4年12月からプロジェクターが故障のためシアターが機能していない。施設全体の設備点検を要望したい。</p> <p>・動態保存区域における枕木・レールの劣化が表れている。適宜予算化し、修繕に取り組むべきである。</p> <p>・若柳駅のトイレが和式のためイベント時には利用者が使いづらいという意見が上がっている。</p>	<p>・プロジェクターの修繕については、補正予算要求しており、早急に修繕する予定です。施設全体の設備点検については、今後検討していきます。</p> <p>・車両の走行に影響が生じないよう枕木の交換に努めています。定期的に線路等を点検していただき、危険箇所がある場合は速やかに報告をお願いします。</p> <p>・若柳駅のトイレ洋式化は補正予算要求しており、早急に洋式化を行う予定としております。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
<p>（若柳駅の開放について）ミュージアムの展示も素晴らしいと思いますが、昔からの駅舎やホームを無料で見学できるのはかなりの特典だと思います。たくさん写真を撮ったり帽子を被って喜んでいるお子様や親御さん、祖父母の方を見ると嬉しい気持ちにもなります。</p>	<p>令和3年度から実施している若柳駅の無料開放の評判が高く、来場者の満足度上昇に大きく寄与している。無料で開放しているため、まず駅舎に立ち寄り利用する人も多くいる。来場者には積極的にお声がけし、コミュニケーションを取ることで乗車会やミュージアム施設への宣伝効果にもつながっている。</p>
<p>（若柳駅の開放について）息子と見学に行った際、帽子を貸してくださり、写真も撮っていただきました。親切にしてくださいと嬉しく感じました。子どもが小さいので、連れて行くには根気とエネルギーがいりますが、手助けしていただきとても助かりました。これからも、くりでんミュージアムと一緒に駅が見学できると嬉しいです。</p>	<p>駅舎では帽子の貸出や、スタッフによる施設や車両の説明も実施している。特に小さいお子様連れのご家族が多い場合は、ベビーカーを預かったり、歴史を説明したりなどをする中でくりでんを後世に伝える活動が出来ていると実感している。</p>
<p>（若柳駅の開放について）維持管理は大変と思いますが、やはり「実物」の説得力は違います！</p>	<p>車両や駅舎のメンテナンスも欠かさないう、専門スタッフが日々管理しております。</p>
<p>（運転体験について）1往復ではなく、運転時間を設けているのがよかったです。親切、丁寧な指導をしていただきました。プレーキの練習を好きになっただけですごく楽しかったです。</p>	<p>令和3年度から運転体験を個別指導に改め、往復回数ではなく30分運転し放題としたことが評価をいただき、満足度が向上している。参加景品として配っている作業帽も好評で、販売を希望する方も多いため令和4年度は売店商品へ加えることを検討したい。</p>
<p>それほど広そうには見えませんが、展示物の見応えがあるので時間はあっという間に過ぎていきます。特に圧巻なのが大きなジオラマで、見所を紹介したパンフレットもあるので楽しみ方が判りやすいです。</p>	<p>ジオラマを楽しみにして下さるお客様のために、定期的な清掃やメンテナンスを令和3年度よりも多く実施しています。また、小さなお子様などには自動走行の回数を増やすなどして動くジオラマを見ていただけるようにしています。またこれまでよりジオラマの操作技術を習得するスタッフを増やし、館内全体で操作が可能となりました。</p>
<p>あまりあちこち触らないほうが良いかも。車両の下も潜れますが、そういったところも頭をぶつけないように注意です（ゼブラテープとか、クッション無い）。大人が見るぶんには問題ないですが、お子さんには気遣ってもらったほうが良いかと。管理運営されている方々、感謝いたします。</p>	<p>実物の車両や車庫を使っている以上、安全性に欠ける展示があることは致し方ないのですが、景観を乱さない程度にクッションやマットを敷くなどして安全安心に館内を見ていただけるよう、配慮しています。</p>
<p>親子3人でイベントにお邪魔しました。日常では見ることが出来ない電車の展示に乗車会まで、2才の子供もすごく楽しんでました。また家族で来たいです。</p>	<p>家族連れには、積極的に話しかけるようにしています。制服コーナーや出札体験などを案内したり、制服試着も促すなど魅力が伝わるような接客を心がけています。</p>

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S		S	職員の資質向上や適正な管理・運営に取り組んでいます	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		S	運転士の常駐により普段の車両等のメンテナンスが適切に行われています	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	積極的に外部施設を訪れ、車両整備関連や学芸員の研修を行うことができた	S	引き続き、知識や技術を深掘りする人材育成への取り組みを期待します	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	防災訓練を年2回行った。また防火管理者の資格取得者が1名増えた。	S	引き続き、緊急時を常に意識し、日頃からの備えを期待します	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます	
(2) 施設管理の状況	S		S	関係者と連携し、安全・安心な施設管理をしております	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	シミュレーターは値下げを行い、大幅に利用者数を上げた。またこども運転体験などのメニューを増やすなどした。	S	引き続き、来場者数増への取り組みに期待します	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な施設点検を行い、エラーを発見した際には迅速に対応・報告した。	S	来場者が気持ちよく、安心して過ごせる環境を整えていると認めます	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	車両および保線に関しては枕木を購入・交換するなど昨年度以上に手を掛けていた	S	日常的に点検し、適切な対応を取っていると認めます	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	線路点検にとどまらず、軌間修正や線路突き固めなどをOBの指示のもと実施した	S	引き続き、事故防止への取り組みに期待します	
⑤ くりでんの魅力を広く発信し、後世に伝える取り組みを行っているか	S	SNS、HPを活用した発信や、市内学校施設への乗車体験などを行っている	S	引き続き、子どもたちがくりでんに親しむ機会の創出に期待します	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	S		S	創意工夫により来場者満足度の向上、リピーターの確保に取り組んでいます	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページの開設、SNSの運営に加え、年間パスポート所有者へのDM発送も実施している	S	情報を入手しやすい環境を整え、来場者に寄り添った情報発信をしています	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	S	WEB上の施設評価サービスを活用して見える形で評価を公開している	S	引き続き、来場者の意見を取り入れながら、サービスの向上に期待します	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	引き続き、丁寧な対応をお願いします	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	駅舎の解放や図書コーナーに加え、スタンプカードの新調やエントランスモニターでの映像放映も行っている	S	サービス充実のための創意工夫に期待します	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	S	googleの評価は昨年から下げることなく維持され、運転体験や施設利用者からもスタッフの対応は高評価をいただいている	S	引き続き、来場者の満足度の向上に期待します	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	S	朝礼を全員参加とし、常に挨拶や接客の対応について訓練している	S	引き続き、職員の接遇向上に期待します	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	S		S	新たな事業創出や経費削減努力により健全な施設運営を行っています	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	S	R3年度および計画を上回ることができた	S	利用料金収入が計画値を大幅に上回っています	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	漫画作品コラボなどでグッズの収益を大きく上げた。また運転体験の回数を増やし、増収につなげた。	S	引き続き、好評を得る催しを企画し、収入の創出につながることを期待します	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	S	車両整備・保線について専門スタッフを雇用し外注費を抑えた（枕木交換は材料だけそろえ自前で交換した）	S	専門スタッフの独自雇用により、車両保全や保線の経費削減が図られていると認められます	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	S		S	引き続き、適正な管理を期待します	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>R3年度実績で評価いただいた利用者目線の運営改革の評判がSNS等の口コミにつながり、112%増の利用者増加、135.4%増の収益増加（昨年度比）の結果を残すことができた。年間パスポートに関しても販売数を昨年から上回ることができ、リピーターが確立出来ていると考える。</p> <p>また、駅舎スタッフが常勤していることにより「くりでんOB」の来訪が増え、車両整備や保線についての技術習得が進み、外注せずとも枕木交換や車両部品の交換を行えることは安全・安心をモットーとした鉄道運営に準じており、結果的に外注経費を抑えることにも通じている。また愛好会に代わって運転士育成にも取り組みの幅を広げている。今後も利用者の声に耳を傾けながら管理いたします。</p>	S	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>旧若柳駅舎開放事業を始めとした自主事業や、魅力あるイベントの企画により、市直営時代とは比較にならないほど、来場者の満足度は大きく向上していると考えております。</p> <p>これも全て、利用者の声に耳を傾け、利用者目線の運営を行った結果であり、利用者数の増加や収益の増加など数字にも表れていることを高く評価しています。</p> <p>また、旧若柳駅舎への車両整備及び保線の専門スタッフの配置は、安全運行への備えや、その技術の継承による人材育成、技術向上による経費削減などの相乗効果をもたらしており、くりでんの保存活動を行っていく上で、非常に重要なことであると認識しております。</p> <p>引き続き、くりでんの魅力を体感でき、幅広い世代が楽しめる企画を展開していくことを期待しています。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	くりはら交流プラザ
施設所管部署名	企画部市民協働課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	くりはら交流プラザ		
施設 所 在 地	宮城県栗原市志波姫新熊谷279番地2		
設 置 年 月	平成11年5月	設置根拠条例	栗原市くりはら交流プラザ条例
設 置 目 的	市民の生活文化の向上及び健康福祉の増進に寄与することを目的とする。		
施設 概 要	面 積	延床面積 8,497.05 m <sup>2</sup> 、敷地面積 12,837.65 m <sup>2</sup>	
	構 造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)	
	施設内容	観光物産館、コンベンションホール、会議室、多目的研修室、展望レストラン、ホテル、食堂、事務室、トイレ	
休 館 日	(本館)毎月第3水曜日(別館)無し ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前10時00分 ~ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	〈主な利用料金〉 大宴会場 2時間まで52,800円、超過料金1時間7,920円 ホテル シングル6,600円、ツイン9,720円、スペシャルツイン12,960円 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社ゆめぐり		
	事務所所在地	宮城県栗原市志波姫新熊谷279番地2		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	37,450,000円(3年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年5月～平成18年3月	管理委託	くりはら振興株式会社	
平成18年4月～令和2年3月	指定管理	くりはら振興株式会社・株式会社ゆめぐり	H21,24,29更新
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

※令和4年度10月からは、消費税抜きで計上

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	352日	352日	352日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	—	29,884人	29,529人	—	98.8%
利 用 料 金 収 入	171,955,750円	81,203,685	167,002,396	97.1%	205.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染拡大の影響が依然として大きい中、宮城県からの要請を受け、ホテル棟は、9月11日から新型コロナウイルス感染者の療養施設として全棟借り上げとなりました。休業していたアクアエリアは営業再開しないこととなり閉鎖。10月に(株)ゆめぐりと合併し、経営改善に向け次々にイベントを仕掛け売上向上に繋げました。				



## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月16日	スプリングディナー	季節の食材を味わうコース料理	一般	18人
令和4年7月9日	サマーディナー	季節の食材を味わうコース料理	一般	10人
令和4年7月29日～30日	ビール祭り	ビールに合うお料理と飲み放題のイベント	一般	137人
令和4年10月30日	栗原と宮城の地酒まつり	栗原と宮城県内のおすすめ日本酒飲み比べと日本酒に合う料理	一般	63人
令和4年12月17日	クリスマスレディースディナー	季節の食材を味わうコース料理(女性限定)	一般女性	16人
令和5年2月1日～28日	三窯展	1階物産館での市内窯元の陶芸品の展示販売	一般	932人
令和5年2月4日～5日	ファミリーランチバイキング	食べ放題・ソフトドリンク飲み放題	一般	341人
令和5年2月25日	復活!!食の陣	アトラクションを楽しみながら地元食材を使った料理を味わう。アルコール飲み放題	一般	81人
令和5年3月12日	春のスイーツバイキング	スイーツ食べ放題・ソフトドリンク飲み放題	一般	144人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の老朽化により、地震や豪雨など災害時に損害箇所が増加している状況ですが、最も修繕箇所が多かったアクアエリアを廃業し、水道光熱費等の経費や機器の修繕を減少できたことは大きなことと捉えております。お客様のニーズに合った会場利用として、今後は、ネット環境の整備、コンベンションのPA機器の修繕が急務であると考えております。	施設の老朽化が進み、機械や設備の故障が頻出している状況にあります。大規模な修繕には、多額の費用を要し、また、工事期間中には営業が制限されることも想定されます。 大規模な修繕が必要となる前に、これまでの施設管理の経験を生かし、初期段階で修繕を行っていただく必要があります。 施設全体に係る修繕については、機械や設備の耐用年数と使用実態等を考慮し、市と共に修繕計画を策定し、計画的に修繕を行っていくことが必要です。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
研修会利用のお客様より、以前、他会場で行っていたが駅前という好立地から、今後エポカを利用してセミナーを開催したいと考えている。	他会場と比較されても劣ることがないようにお客様の要望を伺い施行した。その後、年度内計4回の予約をいただいた。
お祝い会場として利用のお客様より、駅に近く、会場からの眺めが良さそうなので利用した。料理はボリュームがあり、とても美味しくみんな満足していた。ぜひ、また利用したい。	お客さまのご希望に寄り添い、お喜びの声をいただいた。今後も一つ一つを大切に取り組み、再度利用していただけるようにしたい。
新法事ご利用のお客様より、現在、会場利用はほとんどしていないようですが、喰供養は会場を利用し良かったです。お世話になった方への感謝も伝えられました。	コロナ対策を万全にしお迎えいたしました。四十九日の折詰、百ヶ日の法要の予約もいただきました。
食事のフロアが、展望台のラウンジ(5Fレストラン)になっており夕日がとても綺麗です。夕食のステーキ、ハンバーグコースがとても美味しく2日間大満足でした。	地元食材を使用した1泊2食付きプランを販売し、お客様に喜ばれております。今後もお客様の期待に添えるよう努めてまいります。
コロナ療養施設として受入れ後、宿泊できず残念。療養施設としての貸し出しが終了したら、また、宿泊します。	新型コロナウイルス感染者の宿泊療養施設として貸し出しを行っている旨を伝え、ご了解いただきました。近隣のホテルを紹介しております。常連の方々、一般の方々、エージェントの方々より、ご理解とエールを多数いただきました。
コロナ調整室事務局より、ホテル内で弁当を調理しているので、温かく美味しい弁当を提供していただき助かっております。療養していた方々より、弁当が美味しくメニューが豊富で楽しかった。部屋が快適だった。	日替わりで、メニューをバラエティー豊かに組んでおり(日替弁当、丼物、パン、麺類など)入所者が飽きないように工夫しております。客室の清掃も細部にわたり対応しております。
レストランが暑い	できるだけ涼しいお席へご案内をいたしました。早い時間から空調のスイッチを入れる等の対応をしております。(R5.1～2月空調工事を行っていただいた)
新聞記事を見て、ウクライナ料理が食べたくてランチタイムに来たが混雑していて帰りました。後日、雪の日なら静かに食べられると思い来ました。来てよかった。とても美味しかった。	雪の日に、大崎市からご夫婦でお越しいただきました。その後も、定期的にご利用いただいております。
精算後、食事内容と支払金額が違うのではないかと問い合わせがありました。(請求不足)	確認したところ当方の間違いであったため、お客様にお詫びし追加の料金をいただきました。事故報告書を提出し、全スタッフ確認の徹底を心がけるよう指導しました。
新幹線ご利用の方から、車内販売がないので、テイクアウトできる軽食があつてよかった。生ビールや缶ビールがあつてよかった。	新幹線の待ち時間や、車内での飲食にご利用いただくよう、喫茶コーナーのメニューを一部リニューアルいたしました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	B	今後、体制を強化し管理運営に努める。	B	引き続き意識改革しながら適切な管理運営を求めます	
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	コロナ禍で減少したままの状態であり、人員不足である。	B	限られた人員の中で適正に行われています	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	株ゆめぐりとの合併を機に意識改革やサービスの向上を目的に全従業員研修、支配人研修などを開催した。	B	前年度と比較し研修を充実し、人材育成に努められています	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により、9月と12月に消防訓練を行ない、消火器を使用した緊急時の対応訓練も行った。	A		
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各課業務日誌、営業課においては個々の営業日誌を作成、決裁を得ている。	A		
⑤個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行っている。	A		
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	B	遂行している。	B		
(2) 施設管理の状況	B	施設管理の強化が課題である。	B	主体性を持った管理が求められます	
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A		
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	B	定期的な清掃を専門業者に委託し環境を整えている。定められた点検を行っているが、突発的な故障も多く随時報告している。	B	長期に亘る施設管理の経験を生かし、不具合の早期発見に努めてください	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	B	行なっている。経年劣化による修理修繕が多発している。	B	故障後の修繕は高額になるため、未然に故障を防ぎ、経費削減に努めてください	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門的点検については、業者に委託し行なっている。	A		
⑤冷暖房の適切な温度設定と運転を心がけ、省エネルギーと光熱水費削減を行っているか。	A	常時ONにせず、会場の利用時のみスイッチを入れている。	A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	接客のレベルアップを図る。	B	利用者の満足度をさらに高める取り組みを期待しています	
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	お客様の要望を伺い会場利用をすすめている。従業員がホームページの更新やインスタで新着情報を発信している。	B	情報発信について、工夫・改善の余地が見受けられます	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	お客様からの意見には、できることから迅速に対応している。	B	利用者の声をサービスや商品に対する改善提案として生かしてください	
③要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	苦情には即、対応を心掛けた。	B	できるだけ迅速な対応を期待します	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	対策を万全にし、コンベンション、レストラン、観光物産館それぞれに自主事業を行いご満足いただいた。	B	さらなる集客のため新たな取り組みが求められます	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	アクアエリア及び鈴蘭の休業により、再開を望む声があった。（日を追うごとに減少した）	B	指定管理者が対応できることは、利用者の増加につながるよう汲み上げてください	
⑥利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	丁寧な対応を心掛けており、適切であった。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	いかにして収入増を図るかが課題	A	新しい環境に合わせたビジネスモデルの創出を期待します	
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	県より要請を受け、新型コロナウイルス感染者の療養施設としてホテル全棟借り上げとなり、収益に大きな影響がありました。	A	コロナ療養施設を受け入れたことで社会貢献と増益につながりました	
②積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	自主事業のイベントを次々に開催し利用促進に努めた。	A		
③積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	株ゆめぐりとの合併を機に、多忙日の施設間の協力や退職者の補充を行わない等、人件費の削減。	A		
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	全て適正に、経理処理を行っている。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルスの影響が依然として大きい中、自主事業のイベント開催や季節ごとのフェアの開催など集客に努めてまいりました。令和2年10月から休業しておりましたアクアエリアは廃業いたしました。宮城県から要請があり、9月から新型コロナウイルス感染者の療養施設として、ホテル全棟借り上げとなり、大きな収益となりました。（株ゆめぐりと10月に合併し、コンベンション、レストラン、観光物産館それぞれに次々にイベントを開催し認知度と利用促進に努めました。	B	<施設所管課の所見> 新型コロナウイルス感染症と燃料費高騰の影響により経営に大きな打撃を受けたことで、経営健全化のため、人員整理と株式会社ゆめぐりとの合併という改革を行い、経費削減とサービス向上等に努めました。また、コロナの療養施設を受け入れたことで、社会貢献をしつつ利益を確保されたことを評価します。 他に依存しない自主独立の経営を大切にし、利用者から愛される施設として存続できるよう期待します。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設名称	栗原市市民活動支援センター
施設所管部署名	企画部市民協働課

## 1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設名称	栗原市市民活動支援センター		
施設所在地	栗原市築館伊豆二丁目6番1号(築館総合支所2階)		
設置年月	平成21年1月	設置根拠条例	栗原市市民活動支援センター条例
設置目的	市内で自主的な社会に貢献する活動を行い、かつ、当該活動に伴い利益を得た場合にその利益の分配を目的としない活動を支援し、その活動の拠点を提供する。		
施設概要	面積	延床面積 1,001.56㎡、敷地面積 10,966.22㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造2階建	
施設概要	施設内容	(施設内の設置室内容) 貸事務室、多目的室、大会議室、中会議室、小会議室、管理室、印刷室、給湯室、倉庫、キッズルーム、交流サロン、ミーティングスペース、貸ロッカー、エレベーター	
	休館日	休館日:毎週月曜日、12月29日から翌1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
開館時間	午前9時 ~ 午後10時 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	<利用料> ・貸事務室 1室1月3,140円、1室1日110円 ・多目的室 1時間につき310円 ・大会議室 1時間につき210円(中会議室と小会議室を同時に利用する場合) ・中会議室 1時間につき110円 ・小会議室 1時間につき110円 ・ロッカー大 1月につき310円、ロッカー中 1月につき210円 ・ロッカー小 1月につき110円 ・複写機 白黒副署1枚につき20円、多色刷り複写1枚につき60円 ・印刷機 1製版につき500枚あたり110円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人Azuma-re		
	事務所所在地	栗原市築館伊豆二丁目5-39 ビジネスホテル志ばたや内		
指定の期間	令和4年 4月 1日 ~ 令和9年 3月 31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	35,200,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成22年4月 ~ 平成26年3月	管理委託	特定非営利活動法人Azuma-re	
平成26年4月 ~ 令和4年3月	指定管理	特定非営利活動法人Azuma-re	H29更新

## 4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実績		計画との比率(%)	前年度との比較(%)
	評価対象年度(令和4年度)	前年度(令和3年度)	評価対象年度(令和4年度)		
開館日数	308日	308日	308日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	—	36,081人	34,331人	—	95.1%
利用料金収入	1,304,000円	1,291,896円	1,335,484円	102.4%	103.4%
主な増減要因(前年比)	全体的に前年とほぼ変わらない利用率および利用料金収入となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月～令和5年3月	レターBOXサービス	市民活動支援と施設の利便性を高めるため、団体の連絡先として私書箱(レターBOX)を月200円で利用してもらう	市民活動団体	12
令和4年4月～令和5年3月	FAX送受信サービス	市民活動支援と施設の利便性を高めるため、1枚50円でFAX送受信する	センター利用者	6

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
費用面において、電気代の支出は依然として大きい。引き続き節電に努めていきたい。	建設してから10年以上が経過し、既存設備の更新が懸念されることから、常に注視して管理願いたい。継続して節電に努めてほしい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
Wi-Fi環境が無いことが不満	Wi-Fi環境の整備について、これまで市と協議を続けてきたが、現時点では設置に至っていない。
休館日を日曜日にしてほしい(月曜日を開けてほしい)	随時、所管課と協議・検討を行っている
休館日が無い方が利用しやすい	随時、所管課と協議・検討を行っている
利用関連団体の情報交換会をしてほしい	利用者のニーズに応じて、対応したい
静かに曲を流してほしい	随時、所管課と協議・検討を行っている

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営している	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理運営に必要な人員を確保し、運営している	A	引き続き、適切な人員の配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	近隣の同施設を訪問し、知見を広げた	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画に基づく避難訓練の実施や職員の勉強会を実施した	A	引き続き訓練や勉強会を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管している	A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定を整備した	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行している	A	引き続き、適切な管理・運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行っている	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している	A	引き続き、順守していただきたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	コロナ対策として、施設内にアルコール消毒を設置。共用物(貸出備品、ペンなど)の消毒や利用後の清掃時にお掃除セット(ペーパー、マイペット、ビニル袋)を貸出。	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に修繕対応を行っている	A	今後も修繕計画をたて、適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した	A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	適正に行われた	A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設案内のリーフレットを刷新した	A	引き続き、ワンストップでの対応等、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートを行い利用者の意見を反映させている	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	以前より要望があったWi-Fi環境の導入等について、所管課と協議している	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	コロナ禍での施設運営の中で、なかなか新たな取り組みを実施することが難しかった	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	98%の利用者が満足している	A	今後も利用者満足と利用者数の向上に向けた取り組みに期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	積極的なコミュニケーションを図ったり、迷い人(会場がどこかわからない人、センター以外の場所で行われるものについての案内)など、親身になって対応している。	A	今後も親切丁寧な対応をお願いします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正に行われた	A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルスの影響がありながらも、事業計画と同等の実績となった	A	引き続き、適切な施設管理に努めていただきたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	FAX、レターボックスサービスの提供で収入増加に努めた	A	新規自主事業の導入等で、更なる増収を図っていただきたい。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	閉館から開館時間までの間プレーカー(主電源)を切る。ミーティングスペースなどは天気・利用者の動向を見ながら電気を点灯させるなど、常に節電を意識している。	A	引き続き、適切な施設管理をしていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	NPO会計基準に則り処理されている	A	引き続き、適切な施設管理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて、事故なく施設の管理運営ができた。</li> <li>節電・節水を常に心がけたが、電気代が対前年比で約28%増となった。</li> <li>コロナ禍でも安心してご利用頂けるよう施設面での感染対策を講じた。</li> </ul>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>コロナ禍での運営にも関わらず、利用料金収入が増加したことは、適正な管理運営の表れと感じます。今後は、各種利用規制等も解除となり、コロナ禍以前の状況になっていくことが予想されますので、引き続き、適正な管理運営をお願いいたします。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター
施設所管部署名	企画部市民協働課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市一迫金田地区コミュニティセンター、栗原市一迫農村環境改善センター		
施設所在地	栗原市一迫字川口中野30番地		
設置年月	昭和56年8月	設置根拠条例	栗原市コミュニティセンター条例、栗原市農村環境改善センター条例
設置目的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び農村の環境整備の組織的な推進を図る為		
施設概要	面積	延床面積 1,099.0㎡、敷地面積 2,793.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリー造 2階建て	
	施設内容	保健室・老人室、調理実習室、多目的ホール、生活改善室 青年の室、農事研修室、試食室・子供の室	
休館日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開館時間	午前9時00分～午後9時30分 ※条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	保健室・老人室、調理実習室、生活改善室、青年の室、試食室・子供の室 1時間につき 110円 多目的ホール 1時間につき 310円 農事研修室 1時間につき 210円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	一迫地区金田コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫字川口中野30番地		
指定の期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	11,730,000円(3年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月～平成25年3月	管理委託	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	
平成25年4月～令和2年3月	指定管理	一迫地区金田コミュニティ推進協議会	H28・H30更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開館日数	310日	273日	281日	90.6%	98.5%
利用者数(延べ人数)	10,000人	3,041人	3,111人	31.1%	102.3%
利用料金収入	50,000円	30,529円	35,501円	61.1%	116.3%
主な増減要因 (前年比)	2行政区が集会所として使っていたり、社会教育団体が利用しているので利用人数の割には利用収入は少なくなる事もある。また、前年度は、新型コロナウイルス拡大の為使用が大幅に減ったが、今年度は使用自粛の解除もあり、徐々に使用も回復している。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
建物が古くあちこちに劣化が見られ、修繕が不可能な所もいたる所に見られる。ある程度しょうがないと諦めてはいるが、安全に関し業者から指摘のあった物件については早めに対応して欲しいと願います。	経年劣化による施設修繕箇所につきましては、予算の範囲内で優先順位の高いものから対応するよう、検討してまいります。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
畳の部屋をテーブルと椅子に変えて欲しい。	どうしても座れない人には椅子を提供しているし、執行部でどうすべきか考えている。
行政区の集会所は管理費に15～20万円以上は必要なのに、中町と東町は何でも無料で使えるのは不公平だと思う。	「市の条例により無料となっている」と話したもののやはり不公平感を感じる。
2階の農事研修室及び青年の室にエアコンを設置して欲しい。	利用者の熱中症対策の観点から設置に向けて、市とも協議していきたい。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	引き続き、適切な人員の配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	警備員には講習が必要と思う。	B	警備が適切に行われるような警備会社と協議をしていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施している。	A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の条例に基づき運用している。	A	変更する場合は事前に届出願います。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	委託等で対応。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
⑤ 地域コミュニティと連携し利活用されているか。	A		A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケートをお願いしても書いてくれる人はいないので意見を聞いている	A	アンケート記入の声かけをお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな取り組みはないが満足されていると思う	A	新規事業の実施を検討願います。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	団体の印刷機の利用が多く、収入が増えた形になっている。	A	引き続き、収入の充実を期待します。	
② 積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	残念ながら取り組んでいない。	B	利用団体が減免団体のため難しいと思いますが、新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電、節水、燃料費の削減等には努めている。	A	引き続き、削減等に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> ・コミュニティ事業が新型コロナウイルスの為開催されず、今年度も、ほとんどの行事が中止になった。 ・各団体からコピー機や印刷機の利用が多く大変重宝されている。 ・光熱水道費はサービス向上の妨げにならない程度の節電節水等を実施し、経費削減を図る。今後も地域に根ざした地元組織として、地域の声や意見を取り入れ、管理運営していきたい。	A	<施設所管課の所見> コロナ禍により、計画していた行事ができなかったようですが、事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。 今後は、各種利用制限等も解除となり、コロナ禍以前の状況になっていくことが予想されますので、引き続き、適正な管理運営をお願いいたします。



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設名称	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター
施設所管部署名	企画部市民協働課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市一迫長崎地区コミュニティセンター		
施設所在地	栗原市一迫字上中島39番地1		
設置年月	昭和52年1月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例
設置目的	实际生活に即する教育、学術及び文化の振興及び地域農業の発展を図るため		
施設概要	面積	延床面積 527.0㎡、敷地面積 10,226.0㎡	
	構造	軽量鉄骨造平屋建て	
	施設内容	会議室、講義室、調理実習室、軽運動場、管理棟	
休館日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開館時間	午前9時00分～午後10時00分 ※条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	会議室・講義室・調理実習室・管理棟 1時間につき 110円 軽運動場 1時間につき 310円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫字上中島39番地1		
指定の期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	9,780,000円(3年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月～平成25年3月	管理委託	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	
平成25年4月～令和2年3月	指定管理	一迫地区長崎コミュニティ推進協議会	H28・H30更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実績		計画との比率(%)	前年度との比較(%)
	評価対象年度(令和4年度)	前年度(令和3年度)	評価対象年度(令和4年度)		
開館日数	260日	251日	257日	98.8%	102.4%
利用者数(延べ人数)	1,200人	1,193人	1,138人	94.8%	95.4%
利用料金収入	9,000円	418円	4,558円	50.6%	1090.4%
主な増減要因(前年比)	新型コロナウイルスの感染拡大防止措置に伴い、コミュニティ事業や自治会行事、子供会行事の中止が相次ぎ、利用者数が少なかったと考えられる。また、社会教育団体等、減免団体の施設利用が殆どなので、利用料の増収には繋がらなかった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>施設の経年劣化もあり、修繕すべきところがたくさんある。日頃から点検し早めに補修していきたい。</p> <p>コロナ禍でコミュニティの事業や各種団体の事業、会議などが減ってしまったので、今後地区の皆さんが利用しやすい施設の在り方や、集客・施設利用料をどう増やしていくかを検討していきたい。</p>	<p>コロナ禍により、計画していた行事ができなかったようですが、事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。</p> <p>今後は、各種利用制限等も解除となり、コロナ禍以前の状況になっていくことが予想されますので、引き続き、適正な管理運営をお願いいたします。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
冬期間中、玄関前のタイルが雪によってとても滑り危険な状態である。	人工芝を敷き、滑らない様に対応した。また、玄関先に注意喚起を呼びかけるポスターを掲示した。
コロナ禍で様々な事業が中止となってしまう、ご近所との交流も少なくなりました。	アルコールディスペンサー設置や検温を行い、感染対策の徹底にご協力をいただきながら事業を少しずつ実施した。
管理棟の屋根全体が酷く錆びていて、雨漏りするのも時間の問題である	屋根が酷い錆なので屋根の張り替えを行わなければならず、修繕費が高額なため今すぐの修繕はなかなか難しい。
トイレがとても狭いので、1カ所広いトイレがあると嬉しい。	これ以上の修繕は難しい。
調理実習室に網戸がない。夏に利用する際、窓を開けると虫が入ってきて衛生的に良くない。	会議で網戸設置について検討し、新たに設置した。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理運営に必要な人員を確保している。	A	引き続き、適切な人員配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を行い、サービスの向上に努力している。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	緊急時のマニュアルの徹底、危険な場所について確認を行った。	A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に管理・保管を行った。	A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	守秘義務及び管理を徹底している。	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づき管理運営を行った。	A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	開館及び利用時間、利用料金を遵守した。	A	変更する場合は事前に届出願います。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	ワックス清掃を年に1回、保守点検等を定期的に適切に行った。	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	修繕箇所の優先順位を検討しながらその都度対応した。	A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	業者に委託し専門的点検を年に数回実施した。	A	専門的な点検となることから、引き続き適切な管理をしていただきたい。	
⑤ 地域コミュニティと連携し活用されているか。	A	コミュニティと連携し除草作業なども行い、施設管理を行った。	A	引き続き適切な管理運営をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に行った。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	ご利用された際にご意見を頂きできる限り反映するよう努めた。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	利用者のニーズにできる限りお応えし、迅速に対応した。	A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者の方の要望は役員会の際に提案し、一つ一つ取り入れた。	A	今後も積極的な意見の取り入れをお願いいたします。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	利用者の方々には満足して頂けた。	A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	丁寧に対応させていただいた。	A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	人件費が計画より少なかったが妥当であるとする。	A	利用者の増加に向けた事業等の実施を検討願います。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	コロナ禍で施設利用者が少なく、殆どの団体が社会教育団体のため、なかなか増収には繋がらなかった。	B	利用団体が減免団体のため難しいと思いますが新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	継続的に節電や節水、経費節減に努めた。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に経理処理を行っている。	A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、コミュニティや各行政区の様々な事業が相次いで中止となり、地域の皆さんにコミュニティセンターを利用して頂く機会がかなり減ってしまった。来年度はコロナの感染対策を十分に行い、利用者のニーズの把握に努め、より多くの方々にコミュニティセンターを利用して頂き、地域に根差した地元組織として管理運営を行っていきたい。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>コロナ禍により、計画していた行事ができなかったようですが、事業計画に基づいて、おおむね適正に管理運営が行われたと認めます。</p> <p>今後は、各種利用制限等も解除となり、コロナ禍以前の状況になっていくことが予想されますので、引き続き、適正な管理運営をお願いいたします。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター、一迫農村婦人の家
施設所管部署名	栗原市企画部市民協働課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市一迫姫松地区コミュニティセンター、一迫農村婦人の家		
施設所在地	栗原市一迫北沢十文字62番地5		
設置年月	昭和58年3月	設置根拠条例	栗原市コミュニティ施設条例 栗原市農村婦人の家条例
設置目的	実際生活に即する教育、学術及び文化の振興及び地域農業の発展を図るため		
施設概要	面積	延床面積 662.0㎡、敷地面積 5,803.0㎡	
	構造	軽量鉄骨造平屋建て	
	施設内容	保健室(和室)、研修室(和室)、軽運動場、加工室、事務室、トイレ	
休 館 日	1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	保健室、研修室、加工室 1時間につき 110円 軽運動場 1時間につき 310円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会		
	事務所所在地	栗原市一迫北沢十文字62番地5		
指定の期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日 (3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	9,810,000円(3年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ~ 平成25年3月	管理委託	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	
平成25年4月 ~ 令和2年3月	指定管理	一迫姫松地区コミュニティ推進協議会	H28・H30更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	2,000人	1,564人	1,530人	76.5%	97.8%
利用料金収入	140,000円	118,863円	110,994円	79.3%	93.4%
主な増減要因 (前年比)	新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度同様に施設の利用者数が伸びなかった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>・施設の老朽化が進んでいる。            修繕要望…軽運動場の暗幕(破損)、軽運動場トイレのバリアフリー化(敬老会会場の為)、一迫農村婦人の家調理加工室網戸の設置(換気の為)、コミュニティセンター床の劣化</p>	<p>経年劣化による施設修繕箇所につきましては、予算の範囲内で優先順位の高いものから対応するよう検討してまいります。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
姫松地区軽運動場前の砂利地を舗装して駐車場にして欲しい。	栗原市と協議をして検討したいと思います。
雪掻き作業への労い	冬期間中に、農産加工施設の利用がある為、事故やケガの無いように、執行部役員や地区の方に協力頂き、除雪作業を行っている。市の除雪対象箇所ではないが、大雪の時等には、対応して頂けると助かります。
コミュニティセンター玄関床が雨や雪で滑るため、危険である。	穴あきゴムマットを購入し床に敷き、滑り止め対策をしました。
近くに、お店、コンビニ等が無いので、お手洗いをお借り出来て助かる。	自由に使用して頂いており、皆さんの役に立つ施設でありたいと思います。
軽運動場利用者より、暗幕が破損しているとの指摘あり	栗原市と協議をして検討したいと思います。 (見積書提出済)
敷地内の路面が陥没して危険である。	一迫総合支所産業建設係で修繕対応していただきました。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	防火管理者2名配置している	A	引き続き、適切な人員の配置をしていただきたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	自主防災訓練を実施し、救護講習を受講した	A	引き続き、訓練を実施し、安全管理に努めていただきたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管している	A	引き続き、適切な管理・保管をしていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に情報管理している	A	適切な情報管理をしていただきたい。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	引き続き、適切な管理運営をしていただきたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	変更する場合は事前に届出願います。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	年2回消防設備点検、施設WAX清掃を実施	A	引き続き、適切な施設環境整備をしていただきたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	今後も協定に基づいた適切な修繕対応をしていただきたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	農産加工機械保守点検を実施	A	専門的な点検となることから、引き続き、適切な管理をしていただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	可能な範囲で対応していく	A	アンケート記入の声がけをお願いいたします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	引き続き、サービス向上に向けて努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	新規事業の実施を検討願います。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	引き続き、親切丁寧な対応をお願いいたします。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	利用者の増加に向けた事業等の実施を検討願います。	
② 積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	利用団体が減免団体のため難しいと思いますが、新規事業の実施を検討願います。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	利用者に影響を及ぼさない範囲での節電、節水に努めた。	A	引き続き、施設の適切な管理に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	引き続き、適正な経理をしていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>今後も利用者の声に耳を傾けながら、更なるサービス提供に努めていきたいと思えます。管理については、今後も節電、節水に心掛け、光熱費削減に努力していきます。また、コロナが5類に移行後も安心してご利用頂けるように、これからも感染防止対策をしっかりしていきたいと思えます。また、地震で被害があった箇所を早急に対応していただき、安全に施設を利用していただけるようになりました。(軽運動場手動排煙装置、窓ガラスひび割れ等)</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>おおむね事業計画に基づいて、適正に管理運営が行われたと認めます。</p> <p>今後は、各種利用制限等も解除となり、コロナ禍以前の状況になっていくことが予想されますので、引き続き、適正な管理運営をお願いいたします。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市築館高齢者福祉センター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市築館高齢者福祉センター		
施設 所 在 地	栗原市築館薬師三丁目6番1号		
設 置 年 月	昭和55年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積 907.41 m <sup>2</sup> 、敷地面積 2,371.34 m <sup>2</sup>	
	構 造	鉄筋コンクリート造 2階建	
	施設内容	玄関、ホール、会議室 外	
休 館 日	月曜日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分～午後9時30分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ・ホール 1時間 300円 ・研修室(和室) 1時間 100円 ・研修室及び会議室 1時間 100円 ・調理室 1時間 100円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	16,860,000円 (5年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～平成31年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21,26更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	269日	308日	100.0%	114.5%
利用者数(延べ人数)	3,600人	2,740人	3,650人	101.4%	133.2%
利 用 料 金 収 入	120,000円	135,435円	156,975円	130.8%	115.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルスの使用制限が解除され、利用者数は910名の増となった。コロナ前に利用が戻りつつあり、増収となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年(老朽化)から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕を伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていききたい。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立っております。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度は、屋上防水工事を施工するほか、予算の範囲内で対応します。また、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
2F研修室に冷房がほしい。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。
1F和室に冷房がないので、窓を開けて使用するが、網戸もないため、夏場は蚊が入るのでなんとかしてほしい。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。
照明器具をLED対応にしていきたい。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。
畳を新しく交換して欲しい。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。



8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S		A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	S	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	S		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	S	適切に施設管理を行い、必要な保守点検等を行っている。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	必要な修繕を行い、10万円以上となる修繕は市と協議し行っている。	A	備品台帳を整備し、修繕対応に関しても適正である。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	必要な保守・点検業務を実施し、施設の維持管理に努めている。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応が出来るように取り組んでいきたい。	B	利用者のニーズを的確に捉える取組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートの実施ができなかったため、今後実施したい。	B	アンケートを実施し、利用者からの意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	満足度調査を行い、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	利用しやすい環境整備に努めていきたい。	B	PR方法を工夫し、利用者増加に向けた取組みを期待します。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置を行い、適切に管理・運営を行っている。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>適正に管理・運営されておりませんが、外部に向けてPRを行うなど、利用者増加に向けた取組みを期待します。また、利用者アンケートの集約を図り、よりニーズに応える取組みができるよう期待します。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市栗駒高齢者地域福祉施設		
施設 所 在 地	栗原市栗駒八幡西沢10番地1		
設 置 年 月	平成8年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 1468.70㎡、敷地面積 7378.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、屋内ゲートボール場	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 健康ホール、和室、調理実習室、屋内ゲートボール場	
休 館 日	※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ・健康ホール 1時間310円 ・和室 1時間110円 ・調理実習室 1時間110円 ・屋内ゲートボール場 1時間310円  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	公益社団法人栗原市シルバー人材センター		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南戸の西4番地		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	18,680,000円 (5年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	公益社団法人 栗原市シルバー人材センター	
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	公益社団法人 栗原市シルバー人材センター	H21, 26更新
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	241日	239日	241日	100.0%	100.8%
利用者数(延べ人数)	5,000人	4,758人	4,720人	94.4%	99.2%
利 用 料 金 収 入	67,000円	75,009円	102,301円	152.7%	136.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新しくゲートボールの団体が4月～11月までの期間で利用され利用料収入が増えた。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和5年2月14日～28日	公益社団法人栗原市シルバー人材センター女性会員作品展	女性会員募集の作品展開催	市民	68人
令和5年2月17日	小物作りセミナー	カメオアクセサリー作りセミナー開催	市民	23人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
○施設の老朽化に伴う整備について ・ゲートボール場の整地 ・屋根内側のはがれ ・ゲートボール場脇のアスファルトが陥没している。小学校近くでもあるため早急に処置が必要(市へ報告済み)。 ・年に3～5基の蛍光灯が切れ、順次LEDに交換している。	施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応します。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
夏場の冷房設備が欲しい(健康体操サークル)	市へ要望済み

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	市役所OBを配置している	A	管理運営に万全を期す人員配置であるものと認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	指定管理業務知識のある人材を配置している	A	適正ですが、人材育成に係る研修等の開催・参加をお願いします。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に行っている	A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適切に行っている	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	苦情はなかった	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	シルバー人材センター女性会員による作品展を開催した	—	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足度が得られている	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当である	A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	具体的な取り組みはない	B	利用者促進への取り組みを期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	適正に管理されている	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査で、係員の対応や設備（冷房除く）について高評価を頂いている。</li> <li>令和5年2月14日～28日の期間、シルバー人材センター女性会員による手作りの作品展を開催した。自主事業として市民対象のセミナー開催を検討している。</li> </ul> <p>今後も、利用者には快適に利用して頂けるよう、環境を整え対応していく。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>利用者のニーズを把握し、施設を快適に利用していただけるような管理運営に努めています。</p> <p>施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応し、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設名称	栗原市一迫老人福祉センター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市一迫老人福祉センター		
施設所在地	栗原市一迫真坂字高橋20-1		
設置年月	昭和59年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設置目的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る		
施設概要	面積	延床面積669.03㎡、敷地面積9,311.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 健康管理室、生活相談室、教養娯楽室、図書及び会議室、料理実習室、集会室	
休館日	12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開館時間	午前9時～午後9時 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 健康管理室 1時間110円、生活相談室 1時間110円 教養娯楽室 1時間110円、図書及び会議室 1時間110円 料理実習室 1時間110円、集会室 1時間310円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	栗原市一迫地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市一迫真坂字高橋20-1 栗原市一迫老人福祉センター内		
指定の期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	25,980,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成28年3月	直営		
平成28年4月～平成31年3月	指定管理	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	
年月～年月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実績		計画との比率(%)	前年度との比較(%)
	評価対象年度(令和4年度)	前年度(令和3年度)	評価対象年度(令和4年度)		
開館日数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	3,000人	2,094人	2,543人	84.8%	121.4%
利用料金収入	70,000円	45,490円	28,043円	40.1%	61.6%
主な増減要因(前年比)	新型コロナウイルス感染拡大防止措置により利用団体が減少気味でしたが、実績では前年より増加しました。ただ利用料金は計画通りにはいきませんでした。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設内外の老朽化がみられます。利用者の方々が不便を感じる箇所が見られます。引き続き修繕に努めながら、利用しやすい施設管理を行いたいと思います。規模の大きい修繕に関しましては協議の程、宜しくお願いいたします。	建築から35年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ち始めています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応し、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
夏場の冷房施設が不備なので、設置して欲しいです。	市と協議します。
いつもきれいで清潔、利用していて気持ちがいいです。	

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	従業員・警備員でローテーションを行い、対応している。	A	適正であると認めます。	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	行っている。	A	適正であります。人材育成に係る研修等の開催・参加をお願いします。	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A	適正であると認めます。	
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者に点検してもらっている。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	行っている。	A	適正であると認めます。	
③要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	すぐに対応している。	A	適正であると認めます。	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	—		—	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	得られていた。	A	適正であると認めます。	
⑥利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況(収支の実績等)	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症拡大による自粛の影響があつたが概ね適正である	A	適正であると認めます。	
②積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあつたか。	—		B	更なる利用促進に繋がる取り組みを期待します。	
③積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	経費節減の実績を得られた。	A	適正であると認めます。	
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に行われている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 利用者に、気持ちよく利用して頂けるように、各部屋の掃除を徹底しています。栗原市内の利用者だけではなく、市外一般の団体等、会議等の会場として施設の貸し出しを活用しています。	A	<施設所管課の所見> 適正に管理・運営されています。 新型コロナウイルス感染症により減少した利用者数を回復させるために、更なる利用者増加へ向けた取り組みを期待します。 施設の老朽化による修繕費の増加が見込まれるため、日頃の維持補修や点検を行ってください。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市鶯沢老人福祉センター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市鶯沢老人福祉センター		
施設 所 在 地	栗原市鶯沢南郷下久保21番地1		
設 置 年 月	平成元年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	高齢者等市民の福祉の増進と社会活動への参加の促進を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積807.4㎡、敷地面積3,604.58㎡	
	構 造	木造 平屋建	
	施設内容	栄養指導室、教養娯楽室、相談室、工作室、集会室、運動指導室、図書室 外	
休 館 日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分～午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	集会室及び運動指導室 1時間につき300円、栄養指導室 1時間につき100円 教養娯楽室 1時間につき100円、相談室 外 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	12,810,000円 (5年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～平成31年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21, 26更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和2年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	243日	223日	243日	100.0%	109.0%
利用者数(延べ人数)	1,500人	908人	1,339人	89.3%	147.5%
利 用 料 金 収 入	10,000円	3,589円	4,469円	44.7%	124.5%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルスの使用制限が解除され、利用者数は431名の増となった。コロナ前に利用が戻りつつあり、増収となった。				



## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年(老朽化)から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕を伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築から30年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちます。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応し、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレの流れが悪く、数回流している。	便器が5つあるため、緊急を要しないが、交換が必要か、業者に見積をとってみる。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	B	利用者のニーズを的確に捉える取組みを期待します。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートを実施し、利用者からの意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	満足度調査を行い、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。	A	<施設所管課の所見> 適正に管理・運営されておりますが、軽微かつ必要な修繕等は管理者の判断でその都度対応または協議してください。また、利用者アンケートによる集約を図り、よりニーズに応える取り組みができるよう期待します。今後も経費削減についてもよろしくお願いします。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市瀬峰ふれあいセンター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市瀬峰ふれあいセンター		
施設 所 在 地	栗原市瀬峰下田地内		
設 置 年 月	平成13年6月	設置根拠条例	栗原市介護予防拠点施設条例
設 置 目 的	高齢者等の介護予防と健康増進のための事業を進めるとともに、地域住民と高齢者が一体となった介護知識と介護方法の普及を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積611.99㎡、敷地面積3,939.43㎡	
	構 造	木造・鉄筋コンクリート造 平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 研修室、室内ゲートボール場	
休 館 日	なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時 ~ 午後9時 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 室内ゲートボール場 1時間310円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市瀬峰下田97番地11		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	1,080,000円 (3年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会	
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会	H21, 26更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	40日	37日	75日	187.5%	202.7%
利用者数(延べ人数)	800人	760人	1,192人	149.0%	156.8%
利 用 料 金 収 入	60,000円	59,340円	62,780円	104.6%	105.8%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症の外出制限が年明けから緩和されたのと、1月から2月にかけて降雪が続く屋外での競技が困難になり、瀬峰の屋内競技場に多くの愛好者が来館したため(利用者から意見を聴取した)				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
R4.7.10	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進と協議者の親睦を図る	市内愛好者	30人
R4.10.4	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進と協議者の親睦を図る	市内愛好者	25人
R5.1.15	瀬峰ふれあいセンター親睦ゲートボール大会	ゲートボール場の利用促進と協議者の親睦を図る	市内愛好者	30人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
新型コロナウイルス感染症の蔓延により計画どおりの大会が開催できなかった。またゲートボール競技の競技者数も減少していてゲートボール愛好者だけでは施設の利活用は難しい状況にある。	競技人口の減少など難しい課題を抱えておりますが、他の競技等での活用を検討するなどして、引き続き施設のPRに努めてください。 施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応します。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
ゲートボール場の屋根の雨漏りが10か所ほどある。	7月に所管課に報告、業者に点検依頼し修理は軽微で出来るとの事だったので、見積後に雨漏り箇所14か所を8月に修繕した。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	適正であると認めます。	
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A	更に適正な管理運営をお願いする。	
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	ゲートボール場内の天盤がめくれたりして怪我の恐れのある机や椅子を廃棄交換し、利用者の安全確保に留意した。	A	適正であると認めます。	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		B	アンケートについても実施し、利用者のニーズに応じていただくようお願いする。	
③要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		—	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		B	アンケートについても実施し、利用者のニーズに応じていただくようお願いする。	
⑥利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B		A	適正であると認めます。	
②積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	新規利用者及びリピーターが増えることを期待します。	
③積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	水道料金と電気料金を口座振替にしたその月から電気料金が安くなった。	A	経費削減に努めています。	
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>自主事業の親睦ゲートボール大会は、新型コロナウイルス感染症や役員の引継ぎ時の連絡がうまくとられなかったこともあり、計画より1回少なかったが、施設的环境整備等については計画にない施設裏側の支障木の伐採等きれいにすることができた。また、電気代高騰などが問題化したが、役員交代後に口座振替にしたことから電気料金を大幅に安くすることができた。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症の規制緩和等により利用者数は少しずつ回復しており、経費削減のための創意工夫もみられます。</p> <p>今後はアンケートの集約を図り、多くの意見を聴き、より利用者の希望に応える取り組みができるよう期待します。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市栗駒高齢者コミュニティセンター		
施設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎上小路136番地		
設 置 年 月	昭和59年2月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積328.13㎡、敷地面積1,707.93㎡	
	構 造	鉄骨造、一部木造 平屋建	
	施設内容	保健体育室、創作室、教養室 外	
休 館 日	月曜日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	保健体育室 1時間につき300円、創作室 1時間100円、教養室 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	3,240,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～平成31年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21, 26更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和3年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	274日	308日	100.0%	112.4%
利用者数(延べ人数)	2,600人	3,165人	3,612人	138.9%	114.1%
利 用 料 金 収 入	105,000円	163,866円	171,097円	162.9%	104.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルスの使用制限が解除され、利用者数は447名の増となった。コロナ前に利用が戻りつつあり、増収となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年(老朽化)から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕を伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていききたい。	建築から35年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちます。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応し、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
創作室の照明をLEDに交換して欲しい。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。
トイレの壁付暖房の調子が悪い。	栗原市と相談して対応していききたいと思います。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S	法令等遵守し市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	S	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応ができるよう取り組んでいきたい。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	迅速な対応となるよう工夫されている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートを実施し、利用者からの意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	満足度調査を行い、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	S	普段から清潔感のある身なりを心がけている。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<指定管理者の所見> 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行き、適切に管理・運営を行っている。	A	<施設所管課の所見> 適正に管理・運営されています。引き続き、利用者増加に向けた取り組みを期待します。また、利用者アンケートの集約を図り、よりニーズに応える取り組みができるよう期待します。



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒老人憩いの家
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市栗駒老人憩いの家		
施設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎上小路136番地		
設 置 年 月	昭和52年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積236.70㎡、敷地面積1,707.93㎡	
	構 造	木造 平屋建	
	施設内容	集会室、小会議室、研修室 外	
休 館 日	月曜日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	集会室 1時間につき100円、研修室 1時間につき100円 小会議室 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号	
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)		
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	6,040,000円 (5年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～平成31年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21, 26更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	274日	308日	100.0%	112.4%
利用者数(延べ人数)	1,100人	1,189人	1,405人	127.7%	118.2%
利 用 料 金 収 入	30,000円	27,312円	30,887円	103.0%	113.1%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルスによる使用制限があったが、利用者数が122名増加したことにより利用料も2,766円の増収となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年(老朽化)から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていききたい。大規模修繕を伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていききたい。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちます。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応し、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特になし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	S	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	S	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し適切・迅速な対応ができるよう取り組んでいきたい。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	申請手続きの時間短縮のため、金額計算表等作成し対応している。	A	迅速な対応となるよう工夫されている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートを実施し、利用者からの意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	満足度調査を行い、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	S	普段から清潔感のある身なりを心がけている。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行き、適切に管理・運営を行っている。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>適正に管理・運営されておりますが、必要な修繕等は管理者の判断でその都度対応または協議してください。また、利用者アンケートによる集約を図り、よりニーズに応える取り組みができるよう期待します。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市志波姫老人憩いの家
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市志波姫老人憩いの家		
施設 所 在 地	栗原市志波姫沼崎原83番地1		
設 置 年 月	昭和54年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設 置 目 的	市に住所を有する60歳以上の老人に対し、教育の向上、レクリエーション等の場を提供し、老人の心身の健康増進を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積263.67㎡、敷地面積1,684.80㎡	
	構 造	木造 平屋建	
	施設内容	集会室、娯楽室 外	
休 館 日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分～午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	集会室 1時間につき100円、娯楽室 1時間につき100円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	1,800,000円 (5年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～平成31年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21, 26更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	243日	167日	243日	100.0%	145.5%
利用者数(延べ人数)	980人	1,106人	1,240人	126.5%	112.1%
利 用 料 金 収 入	8,000円	13,893円	17,160円	214.5%	123.5%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルスの使用制限が解除され、利用者数は134名の増となった。コロナ前に利用が戻りつつあり、増収となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年(老朽化)から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕を伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築から40年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちます。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応し、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
廊下の床、畳が老朽しているので、修繕して欲しい。	栗原市と相談して対応したいと思います。
照明器具をLEDにして欲しい。	栗原市と相談して対応したいと思います。
集会室の暖房設備をなんとかしてほしい。	栗原市と相談して対応したいと思います。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	S	当法人の個人情報保護規定に基づき守秘義務及び管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	S	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	必要な修繕を行い、10万円以上となる修繕は市と協議している。	A	備品台帳を整備し、修繕対応に関しても適正である。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	必要な保守・点検業務を実施し、施設の維持管理に努めている。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートを実施し、利用者からの意見を把握するをお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A		
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	満足度調査を行い、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用者を増やしたい。	B	PR方法を工夫し、利用者増加に向けた取り組みを期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A		

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行き、適切に管理・運営を行っている。	A	<施設所管課の所見> 適正に管理・運営されています。引き続き、利用者増加に向けた取り組みを期待します。また、利用者アンケートの集約を図り、よりニーズに応える取り組みができるよう期待します。

## 別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市高清水デイサービスセンター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市高清水デイサービスセンター		
施設所在地	栗原市高清水字東館34番地		
設置年月	平成7年3月	設置根拠条例	栗原市デイサービスセンター条例
設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施設概要	面積	延床面積2,505.76㎡、敷地面積3,460.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	なし(3年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～令和4年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21,26,31更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	310日	302日	308日	99.4%	102.0%
利用者数(延べ人数)	5,955人	3,006人	5,881人	98.8%	195.6%
利 用 料 金 収 入	50,099,170円	29,802,560円	50,268,070円	100.3%	168.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者定員を前年度より12名から25名通常規模に変更となったが、コロナ感染症の影響と大雨で臨時休業の影響もあり、予定した事業計画より利用人数が減少した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
設備の老朽化が進んできており、特殊浴槽の劣化が著しい。業者からは、一部修理用の部品生産が終了しており、在庫がないと話されています。施設内ではデフロアの照明が暗いこと、電動ブラインドの故障により開閉できなくなっている箇所がある。冬期の寒さ対策にビニールカーテンで通路を仕切り、工夫しているものの、一部利用者から「寒い」との声が上がっている。	建築から25年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ち始めています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度は照明設備のLED化工事を予定しております。今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。 また、建物の構造上の問題により、冬期の対応が難しいと思われませんが、改善に向けて協議したいと考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
連絡帳の内容について、家族が気付かない事が分かる時があるので、記入されていて助かっている。	これからもデイサービスでの利用状況や気になること等、分かりやすい記入を心掛けてまいります。
デイに行くだけで生活訓練であり体動保持になる。	無理なく身体を動かすことで、日々の生活動作が続けられるように工夫いたします。
要望を伝えた時など、返答が早いので、家族側としても次の対応を考えやすいです。	いつでもご相談や対話ができるような環境づくりとコミュニケーションを大切にしていこう心がけていきたいと思えます。
広さも寒い。	カーテンで区切りをし暖房や床暖房、その他、ブルヒーター等の暖房器具を有効活用している。



8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会・サービス向上検討会等を計画的に企画し実施。外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	内外部の研修へ積極的に参加し、サービス向上に係る意識付けが高い。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署立会いにより実施している。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例等に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規程に基づき、守秘義務を遵守し、保管管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	保守・点検を適切に実施している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し、介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行ない、定期的に点検を行なっている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	職員で小まめに確認し、不具合が生じる前に専門業者へ点検依頼している。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について改善を図った。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括支援センターやケアマネジャーへ情報提供を行い、利用者の選択に基づき、契約を行い、迅速に利用できる対応を行った。	A	情報共有をしっかりと行い、迅速な対応ができています。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対処を検討し、検討内容を家族に回答。	A	アンケートを集約し、改善に向けた取組みを迅速に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	利用者・家族様との対話やアンケート等で頂いた要望に出来る限り対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイ日より発行。社協支部委員等へ配布。また、出前講座等により施設の目的などの説明を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度は「とても満足71%」、「まあまあ満足29%」計100%満足の回答をいただいた。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて、満足度は71%と昨年より改善されている。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	新規利用者の確保に努めたが、経費は増加した。	B	収支の改善に期待します。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	利用者の終了（死去や長期入所）が相次ぎ、延べ人数及び収入が減少。	B	利用者確保に期待します。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	地域への出前講座や月1回のデイだけの発行を継続し、PRに努めたが、あまり効果はなかった。	B	外部へのPR等、効果的な取り組みを期待します。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	給食業務委託から弁当方式に切り替え、事業費の削減に努めた。	B	設備の	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>瀬峰デイの事業廃止に伴い、高清水デイと統合し、地域密着型から通常規模での運営となりました。職員の協力体制のもと、地域に貢献できるデイの構築、信頼を得るための環境作りを努めた一年でした。前年度の数値をもとに、今年度は、支出削減を継続しつつ収入増に繋がるよう取組んでいきたい。</p>	B	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>適正な管理運営がされています。瀬峰デイサービスセンターの廃止により高清水デイサービスセンターに統合され、収入も大幅に増加しておりますが、引き続き支出の削減にも努めていただきたいと思います。また、瀬峰地区も一体とした地域の要望を把握し、高評価を維持できるようにご尽力ください。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市金成デイサービスセンター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市金成デイサービスセンター		
施設所在地	栗原市金成沢辺町沖200番地		
設置年月	平成10年6月	設置根拠条例	栗原市デイサービスセンター条例
設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施設概要	面積	延床面積1,989.70㎡、敷地面積12,589.22㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造3階建(うち1階部分の一部)	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 食堂、日常訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	なし(3年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～令和4年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21,26,31更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	310日	306日	307日	99.0%	100.3%
利用者数(延べ人数)	4,866人	4,805人	4,612人	94.8%	96.0%
利 用 料 金 収 入	43,854,990円	44,250,290円	44,483,200円	101.4%	100.5%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	コロナや自然災害の影響もあり3日休業しております。 利用者の長期入所や入院等で安定は出来ませんでした。新規利用者の獲得があり、前年度に比べ、利用者増につながってます。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
令和4年度、全体的に老朽化が進み、水回りのトラブルが多く見られています。 維持補修費や光熱費の増加がみられるようになってきた。	建築から20年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ち始めています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたします。今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
新型コロナ対策が徹底している。	お迎え時に検温、消毒、マスク着用の協力いただいています。引き続き必要に応じての対応を行ってまいります。
機能訓練(体操・リハビリ)について、体を動かす機会が無いから、家でやるよりやる気が出る。	様々な要素を取り入れ、全身を動かしていただける実用的な体操を行っております。利用者様のニーズに合わせられるよう改善していきたいと思っております。
利用日以外に利用希望した際、すぐに対応していただきありがたい。	臨時利用や振替利用については、お気軽に相談いただき、柔軟に対応してまいります。
連絡帳の内容について、デイの様子や体調の様子が分かり安心です。	詳しく利用時の様子がわかるような記入を心がけております。手帳をご覧になるご家族様もいることから継続して利用状況をお伝えしていきます。
送迎について、家族の都合で対応してもらったり、状態に合わせて対応していただいている。	送迎時はご家族様とのコミュニケーションが図れる場なので、情報交換していきながら様子をお伝えしてまいります。
送迎について、時間の変動があります。	送迎について、各利用者様の準備状況や交通事情などで遅れる事があります。ご協力を頂きながら、無理の無い時間設定の呼びかけをし、遅くなる際は電話でお伝えいたします。
入浴について、家で出来ない分お風呂に入れてくれる。	利用者のその日の状態や体調によって入浴の判断をし、気持ちよく安心して行えるように支援していきます。
関わり方について、話を聴いてくれたり話かけてくれたりしてくれる。	利用者への声掛けや説明時の対応に気をつけております。利用者様の変化を見逃さぬよう、しっかりと状態確認をしていきたいと思っております。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会、サービス向上検討会を計画的に企画し実施、外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	内外部の研修へ積極的に参加し、サービス向上に係る意識付けが高い。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署立合いにより実施している。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例等に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務を遵守し、保管管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に保守・点検等を行っている。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令を遵守した介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行い、定期的に点検を行っている。	B	修繕箇所が増加しているため、使用方法の見直しや維持補修に努めてください。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	職員で確認し、不具合が生じる前に専門業者へ点検依頼している。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について改善を図った。	A	迅速な対応等によりニーズに応じた改善ができています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	各事業所との情報交換を円滑に行い利用者の選択に基づき、迅速に利用できる対応を行った。	A	情報共有をしっかりと行い、迅速な対応ができています。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対応を検討し、検討内容を家族に回答。	A	アンケートを集約し、改善に向けた取り組みを迅速に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等で頂いた要望にできる限り対応した。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイだよりを発行。社協支部委員等へ配布。また、出前講座等により施設の目的などの説明を行っている。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度は「とても満足65%」「まあまあ満足33%」と昨年を上回る。	A	サービス提供に係る満足度が90%を超えており、今後も維持していただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて、「満足」は79%であった。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	収入について収益を上回ることができた。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	入所等による利用者移行やコロナ自粛もあったが、計画を超える収益を得られた。	A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	毎月デイだよりの発行や臨時利用の声掛けを行った。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	給食業務委託から弁当方式に切り替え、事業費の削減に努めた。	B	更なる経費削減に努めてください。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<指定管理者の所見> 利用者数は、事業計画と比較して 2.3%の増となり、収入を維持することができた。人件費、事業費(主に光熱費)支出が増加となったが、今後はできる限り支出削減を継続し、適切な運営管理に努めていく。	A	<施設所管課の所見> 適正に管理運営されており、利用者のフォローアップやPRIにより利用者の確保に努めていますが、更に利用者を増やすための新たな取り組みを検討するとともに、経費削減に努めてください。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター		
施設所在地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
設置年月	平成4年3月	設置根拠条例	栗原市高齢者福祉センター条例
設置目的	高齢者の心身の健康を保持し、ふれあいを深めるとともに、高齢者に通所及び居住等の方法により各種サービスを提供することによって高齢者福祉の増進を図る。		
施設概要	面積	延床面積779.57㎡、敷地面積9,3110.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造 平屋建	
	施設内容	通所介護部門:ホール、介護室、浴室 外 居住部門:ホール、居住部屋、浴室 外	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	居住部門のみ利用料金あり。 (入居者の収入金額に応じた階層区分あり)  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指定の期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日 (3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	23,000,000円 (3年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ～ 平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月 ～ 令和4年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21,26,31更新
年 月 ～ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	365日	90日	250日	68.5%	277.8%
利用者数(延べ人数)	600人	90人	250人	41.7%	277.8%
利用料金収入	124,000円	14,400円	60,000円	48.4%	416.7%
主な増減要因 (前年比)	11月以降、居住利用されたため、前年比45,600円増となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年(老朽化)から、修繕箇所が多くなってきている。経費節減に努めながら、必要な修繕を行っていきたい。大規模修繕を伴う場合は、市と協議をし、修繕を行っていきたい。	建築から25年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちます。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたしますが、計画的に行いたいと考えております。令和5年度についても予算の範囲内で対応し、今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
おおむね修繕していただき、ありがたいとの声を寄せられた。	不具合のあるたびに対応していただいています。

8 総合的な評価 (指定管理者、施設所管課記入)

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	S	法令等遵守し、市と締結している協定に基づき、適切に管理・運営している。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	防火管理者等を適切に配置している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	S	外部研修等に参加し、人材育成に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	消防訓練や緊急時の職員初動マニュアルを整備し、対応を行っている。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	S	当法人の個人情報保護規定に基づき、守秘義務及び管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	S		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	S	適切に施設管理を行い、必要な保守・点検等を行っている。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守している。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	良好な施設環境整備に努めている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	利用者に対し、適切・迅速な対応ができるように取り組んでいきたい。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S		A	迅速な対応となるよう工夫されている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケートを実施し、利用者の意見を反映していきたい。	B	アンケートを実施し、利用者からの意見を把握するようお願いします。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	-		-	貸館を目的としているため、評価の対象としない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	満足度調査を行い、ニーズに合ったサービス提供を期待します。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況 (収支の実績等)	A	適正な経理を行い、運営している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	利用者が利用しやすい環境整備に努め、利用を増やしたい。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>法令等を遵守し、市と締結している協定に基づき、保守・点検を行っている。また、防火管理者等の配置も行い、適切に管理・運営を行っている。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>適切に管理・運営されています。</p> <p>当該施設は生活に不安のある者が利用する施設であるため、積極的に利用者を増やすものではありませんが、花山高齢者生活福祉センターの休止に伴い利用が増加しております。今後も地域包括支援センター等の関係機関と連携を図り、必要に応じて利用できる環境づくりをお願いします。また、利用者アンケートの集約を図り、よりニーズに応える取り組みができるよう期待します。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター(デイサービスセンター部分のみ)
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市一迫高齢者生活福祉センター(デイサービスセンター部分のみ)		
施設所在地	栗原市一迫真坂字高橋20番地の1		
設置年月	平成4年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者生活福祉センター条例
設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施設概要	面積	延床面積779.57㎡、敷地面積9,311.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ～ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指定の期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	なし(3年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月～平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月～令和4年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21,26,31更新
年 月～年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	310日	307日	309日	99.7%	100.7%
利用者数(延べ人数)	3,909人	3,670人	3,884人	99.4%	105.8%
利用料金収入	37,814,010円	35,518,140円	38,480,970円	101.8%	108.3%
主な増減要因 (前年比)	独居や老々介護等の家庭環境による、施設入所や入院等の終了者の減はあったが、新規の獲得が上回ったことにより前年より僅かながら増につながった。				



## 5 自主事業等の実績 (指定管理者記入)

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題 (指定管理者、施設所管課記入)

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の老朽化が顕著に見られる。入浴給湯ボイラー用の灯油タンクは外に設置されているが、コンクリートで囲われているため、雨水が溜まり脚部の錆がひどく折れる可能性があり危険。排水管の水漏れもあり、地下ピットに水が溜まる状況。どちらも適時自前で水中ポンプで水を汲み出し対応している。	建築から25年以上経過し、施設内外において老朽化が目立ちます。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断いたします。今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況 (指定管理者記入)

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
入浴は家で入れないので、手の届かない所まできれいにしてもらえるので満足しています。	利用者様の心身状態に合わせた入浴方法で、安全かつ快適に入浴していただけるよう配慮致します。
食事は丁度良い味付けで満足です。	皆様に美味しく食事をしていただけるよう、業者と協議を重ね、皆様の摂取状況に合わせたメニュー提供に努めてまいります。
利用日以外の利用希望にも快く対応して頂いている。	臨時利用や振替利用をご希望の際は、柔軟に対応致しますので、お気軽にご相談下さい。
家に帰ってくると楽しかったことを報告してくれる。	皆様に楽しんでいただけるレクリエーションを継続してまいります。季節行事や外出行事の様子は、デイ日よりを通じて家族様にお知らせ致します。
家では座っているか、寝ているかのみなので、体操やリハビリは、できないこともありますが、そのお陰で元気に過ごしている。	飲み込みを良くするための口腔体操や、身体の動きを良くするための軽体操に加え、平行棒を使用した歩行訓練も実施しております。無理のない範囲で楽しく機能維持・向上に努めております。
連絡帳はデイでの様子や食事量が分かり良いです。	デイでの様子を分かり易くお伝えできるよう心掛けて記入しております。家族様におかれましても、デイとの情報交換にご活用いただければ幸いです。

8 総合的な評価 (指定管理者、施設所管課記入)

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき適切に管理・運営をしている。研修により職員の資質向上に努めている。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、適正な職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修・サービス向上検討会議等を計画的に企画実施している。	A	内外部の研修へ積極的に参加し、サービス向上に係る意識付けが高い。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練等を消防署と連携し、実施している。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例に基づき整備、保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	法人の個人情報保護規程に基づき、守秘義務を遵守し保管管理を行っている。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に、保守・点検を行っているが老朽化が深刻化である。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し介護サービスの提供および介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行い定期的に点検を行っている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期点検を業者へ委託し実施。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し要望・指摘事項について改善を行なった。	A	迅速な対応等により利用者等からの満足度が非常に高い。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括ケアマネージャーへ情報提供を行い、利用者の選択に基づき、迅速に対応した。	A	情報共有をしっかりと行い、迅速な対応ができています。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望・改善点について検討し検討内容を家族へ回答した。	A	アンケートを集約し、改善に向けた取り組みを迅速に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等で頂いた要望に可能な限り対応している。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイタよりを発行し支部委員へ配布。出前講座等により施設の目的等の説明を行った。	B	利用者の増に繋がるような新たな取り組みに期待します。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果、事業についての満足度は「とても満足76%」「まあまあ満足21%」計97%の回答を頂いた。	A	サービス提供に係る満足度が高く、今後も維持していただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケート結果から言葉遣いや身だしなみについて「満足」91%と前年度より15%上昇している。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況(収支の実績等)	A	昨年度より収入増、支出も抑えることができた。	A	利用者の獲得に努めています。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	利用状況は新規の獲得が上回ったが、事業計画にはわずかに届かなかった。	B	更なる経費削減に努めてください。	
② 積極的に収入の創出(増)に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	臨時利用の声かけを行い、こまめに居宅支援事業所を訪問しPRに努めた。	A	適正であると認めます。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	人件費及び事業費を削減できた。	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適正に行っている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>利用者数は、入所や入院等の終了者もあったが、新規利用者が上回り昨年より増えたが、事業計画と比較すると0.6%減となった。</p> <p>支出は節電、節水を心掛けできる限り抑えたが、光熱費は高騰により施設管理費が事業計画より増加した。収支実績は事業計画より上回る事ができた。次年度も知恵を出し合い支出削減を継続しつつ、利用者獲得の為の更なる工夫を行い、改善に努めていく。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>適正な管理運営がされています。利用者のフォローアップや施設のPRにより利用者の確保にも努めていますが、更に利用者を増やすためには、新たな取り組みの実施が急務と考えます。</p>

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市花山高齢者生活福祉センター(デイサービスセンター部分のみ)
施設所管部署名	市民生活部 社会福祉課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市花山高齢者生活福祉センター(デイサービスセンター部分のみ)		
施設 所 在 地	栗原市花山字本沢百目木18番地の1		
設 置 年 月	平成12年4月	設置根拠条例	栗原市高齢者生活福祉センター条例
設 置 目 的	在宅の虚弱老人等に対し、通所による介護サービスを提供することによって、これらの者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の精神的な負担軽減を図ることを目的として設置した施設である。		
施設 概 要	面 積	延床面積1,354.58㎡、敷地面積1,762.28㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 食堂、日常生活訓練室、養護室、浴室、事務室等	
休 館 日	土曜日、日曜日、12月31日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ~ 午後5時30分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会		
	事務所所在地	栗原市築館薬師三丁目6番2号		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	なし(3年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	
平成18年9月 ~ 令和4年3月	指定管理	社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会	H21,26,31更新
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	259日	258日	258日	99.6%	100.0%
利用者数(延べ人数)	2,495人	2,338人	2,214人	88.7%	94.7%
利 用 料 金 収 入	22,972,220円	21,449,010円	20,486,560円	89.2%	95.5%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	コロナによる利用控え、入院や利用回数の多い利用者が施設入所となり利用者数が激減した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>新規利用者が6件と少なく、比較的介護度が軽度な方が占め、逆に利用回数が多く介護度も高い方が施設入所になるケースが多かった。施設に関しては天井が高く暖房やエアコン等が非効率で浴槽の漏水もあり水道光熱費もかかった。機械浴に関しては、本体・ストレッチャーは欠損・故障しており、型が古く部品がない為、これ以上の故障がないよう慎重かつ丁寧に使用している。</p>	<p>建築から20年以上経過し、施設内外において劣化が見えはじめています。施設管理における修繕については、指定管理者基本協定書に基づき、協議のうえで判断します。今後の大規模改修に備え、維持補修・更新計画の作成が必要と考えます。</p> <p>また、光熱水費等の削減については、建物の構造上の問題により対応が難しいですが、対応を協議したいと思えます。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
連絡帳はデイサービスでの様子が分かって良いです。	デイサービスでの一日の様子が分かるように、今後も分かりやすくお伝えできるよう職員一同心掛け記載してまいります。
送迎は、早く来て欲しい時、早く来てくれます。	安心・安全運転や丁寧な乗車支援を今後も心掛けるとともに、時間調整等には工夫を重ね、家族様のニーズにお応えできるよう努めます。
食事は、あまり食べないのでお手数お掛けします。	皆様の要望を取り入れ、業者との協議を重ねながら、個々の状況に合わせた食事メニューを提供いたします。
機能訓練は、体力がついて良いかと思えます。	その日の体調に合わせて平行棒や訓練用階段を使用してのリハビリを実施し、筋力の維持・向上に努めてまいります。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき、適切に管理・運営をしている。研修により、職員の資質向上に努めている。	A	サービス向上を常に意識し、改善を行っている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	設置基準に基づき、職員配置を行っている。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	所内研修会・サービス向上検討会等を計画的に企画し実施。外部研修会へ職員を参加させ、資質並びにサービスの向上を図っている。	A	内外部の研修へ積極的に参加し、サービス向上に係る意識付けが高い。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	非常災害時対応マニュアル等を整備し、非常時の訓練及び介護福祉立会により実施している。	A	マニュアルを整備し、災害対応の想定ができています。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令・県条例等に基づき整備・保管をしている。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	当法人の個人情報保護規定に基づき守秘義務を遵守し、保管管理を徹底している。	A	個人情報保護規定を策定し、個人情報漏洩防止対策・管理を徹底している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき、管理運営を遂行している。	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	保守・点検を適切に実施している。	A	特に問題点はなく、適正に管理運営がされています。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の閉館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	介護保険法、関係法令等を遵守し、介護サービスの提供及び介護報酬に応じた利用料金を設定。	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々の業務後に清掃を行ない、定期的に点検を行なっている。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき対応。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期点検を業者へ委託し、実施している。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	「介護サービスに関するアンケート」を実施し、要望・指摘事項について検討・改善を図った。	A	迅速な対応等によりニーズに応じた改善ができています。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	地域包括支援センターやケアマネージャーへ情報提供を行ない、利用者の選択に基づき、契約を行い、迅速に利用できる対応を行なった。	A	情報共有をしっかりと行い、迅速な対応ができています。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	「介護サービスに関するアンケート」を8月～9月にかけて実施。要望や指摘事項について、改善・対応を検討し、検討内容を家族に回答。	A	アンケートを集約し、改善に向けた取り組みを迅速に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	アンケート等で頂いた要望に柔軟に対応できた。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	月1回デイより発行。社協支部委員等へ配布し施設の目的などの説明を行なっている。	B	新たな利用者を獲得するための取り組みが必要です。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果から、事業についての満足度は「とても満足75%」、「まあまあ満足20%」計95%の満足の回答をいただいた。	A	サービス提供に係る満足度が高く、今後も維持していただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケートの結果から、言葉遣いや身だしなみについて80%であり、前年より若干上昇。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	必要最低限の経費節減に努めた。	B	収支の改善が急務です。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	老々介護により施設入所やショート利用が多くなってきている。	B	収入増のための新たな利用者の獲得が急務です。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	居宅支援事業所を訪問LPR活動を行った。臨時利用の声掛けもしている。	B	外部へのPR等、効果的な取り組みを期待します。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	人件費削減や節電・節水を行った。	B	施設の老朽化による漏水等が発生しているため、日々の点検を重視してください。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	総務課にて適切に行なっている。	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>前年同様に利用定員は12名ではあったが、新規は少なく施設入所へ移行するケースが多く利用者数の伸びには繋がらなかった。居宅介護支援事業所へのPR活動や区長会・民協・支部委員会開催時にはデイの運営状況を報告している。漏水等の施設設備にかかる経費も増大した。新規利用者の確保に向け工夫すると共に経費削減への努力も継続し行う。</p>	B	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>適正な管理運営がされていますが、利用者の減と支出の増により収支が著しく悪化しているため、新たな利用者の確保に向けた取り組みが急務と考えます。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市若柳認定こども園
施設所管部署名	市民生活部子育て支援課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市若柳認定こども園		
施設 所 在 地	栗原市若柳字川北塚原104番地1		
設 置 年 月	令和4年4月	設置根拠条例	栗原市認定こども園条例
設 置 目 的	小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するため。		
施設 概 要	面 積	延床面積 4,129㎡、敷地面積 8,866㎡	
	構 造	木造	
	施設内容	保育室、遊戯室、調理室、子育て支援センター、一時保育室、園庭	
休 館 日	日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 7時 30分 ~ 午後 6時 30分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input checked="" type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人吉野学園		
	事務所所在地	栗原市若柳字川北塚原49番地		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	1,398,535,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
令和4年4月 ~ 令和9年3月	指定管理	一般社団法人吉野学園	
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	294日		294日	100.0%	
利用者数(延べ人数)	59,401人		59,401人	100.0%	
利 用 料 金 収 入	0円		0円		
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)					

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年10月3、4、5日	リトミック教室	音を聴き取る力やリズム感や表現力を養う。	3・4・5歳児	194人
令和4年10月12、13日	リトミック教室	音楽に合わせて身体を動かす楽しさを味わう。	1・2歳児	66人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>○障害・難病・外国籍の園児及び気になる園児が年々増加している。そのような園児の育ちを支えていくために、園と家庭、発達支援センターなどの関係機関と密に連携を図る。</p> <p>○コロナ禍により地域ネットワーク等の活用が十分でなかった。さらなる、地域との連携・協力体制を図り、保育・教育の充実及び地域に貢献できる園運営の構築を目指す。</p>	<p>・3歳未満児を対象とした保育を令和4年度から開始しているが、保育の実施についての経験、実績が少ないことから、引き続き情報連携や支援、助言の必要があると考えている。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
最近、保育園での虐待のニュースがあるが、こども園では、そうならないよう指導しているか。	日々の保育について、職員一人一人定期的に振り返りを行い、適切な保育の確認をしている。
登園の際にぐずることがあるので困っている。	保護者と担任が対応方法を一緒に考え、スムーズな登園に結びつけた。
コロナ禍により、自由に園舎内に入ることができず、普段の保育・教育、友達との関わりの様子がなかなか見えない。	保育参観・フリー保育参観を月1回程度設けて、保護者に教育・保育の様子を自由に見ていただいている。
人数が多くなったということで、衣服や持ち物の取り違えがあり、確認をしっかりしてほしい。	ミスの原因を職員間で掘り下げ、防止に努めた。また、名前の読める4・5歳児は、自分でも確認するよう指導した。
こども園では一日どの程度ビデオを視聴しているか。できれば少なくして友達と関わる活動をしてほしい。	7:30から8:00、18:00から18:30の職員が手簿の合同保育時間に視聴。今後は、読み聞かせや手遊びをする。
先生方の出勤・退勤時、挨拶のない先生がいたり、保護者の前で先生同士の会話が聞かれたりしている。	職員の挨拶、言動は子どもの良きお手本でなければならない。職員会議、日々の打ち合わせで意識改革を図った。
日々の保育の様子を直接伝えていただいたり、連絡帳に記入していただいたりして、安心して通わせることができた。	子どもたちのちょっとした頑張り、ちょっとした成長を日々伝えるようにしている。
おむつが外れたこと、優しい言葉遣いできたこと、元気に歌うこと、きりがいいほど成長を感じた。	一人一人の子どもの姿を丁寧に見取り、気持ちに寄り添って成長を支えている職員の支援の成果である。
育児について悩みを伝えると親身になって適切なアドバイスをいただき助かった。	担任が保護者の気持ちに寄り添い、子育てへの不安を和らげている。
日々の保育業務に加え、コロナ感染予防や昇降口での園児の引き渡し等、適切な対応に感謝している。	3密を避けることが難しいこども園だが、日々コロナ感染防止に努め最大限の措置を講じてきた。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	全職員が保育理念や基本方針を理解し、管理・運営に努めている。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	配置基準以上の職員を配置し、安全・安心な保育・教育に努めている。	A	指定管理料には上限があるため、計画的な職員採用に努めてください。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	経験や職層に応じた研修を取り入れ、資質・能力の向上を図っている。	A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	危機管理マニュアルを整備し、あらゆる場面を想定した避難訓練をした。	A		
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	法令に定める園児・職員・施設に関する日誌や帳簿は適切に整備した。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	こども園の情報保護方針を研修を通して全職員に周知徹底している。	A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を順守し、かつ協定書の水準を満たした管理・運営を行っている。	A		
(2) 施設管理の状況	A	建物保守、衛生管理は、定められた点検日に職員・業者で実施している。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市に示されたこども園の開館、利用時間を順守している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日々・月毎の安全点検を実施し、安全・安心な施設環境を維持している。	A		
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	頻繁な点検・見回りによる危険箇所の把握と早急な修繕に努めている。	A		
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	消防施設等必要な点検業務を業者に委託し、維持・管理に努めている。	A		
⑤ 運営改善の課題について把握し、定期的に検証、見直しを行っているか。	A	保育・教育を振り返り、職員会議等で確認し、見直し、改善を図っている。	A		
⑥ 職員は労働基準法を順守した労働条件のもとで、保育・教育業務に従事しているか。	A	処遇改善を図ると共に、社会保険労務士の助言により労働環境を整えている。	A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	教育・保育に関する保護者アンケートを実施し、指摘事項の改善を図っている。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	園便り、クラス便り、園長室便り、マチコミメール等で適切に提供している。	A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	保護者アンケートや相談箱で要望や意見を把握し、園運営に反映している。	A		
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情に対してその都度全職員に周知し、改善に努めている。	A		
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	支援センター利用者増を目指し、運動サポーター等を講師に招いた。	A	コロナ禍により利用控えがあったことも推測される。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	「こども園を楽しみに登園している」園児は97%（保護者アンケート）に及ぶ。	A		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	「先生方が優しく温かく接し、楽しそうです。」という言葉が数多く寄せられた。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	指定管理料の範囲内で事業を実施した。	A	全般的に事業計画に基づいた適正な管理・運営であったことを確認した。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	事業計画に運動した収支計画で差異は少なかった。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	国籍や障害の有無に関わらず受け入れている。（インクルーシブ保育・教育）	A		
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	節電・節水に努めたが、電気代の高騰により経費の削減にいたらなかった。	A	電気料の高騰については不測の事態であり、適正な管理・運営であったことを認める。	
④ 指定管理業務における専用口座及び備簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	予算の範囲内で執行し、会計士の指導のもと適切な会計処理を行っている。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>「こども園での活動を通して、心身の成長を感じられるか。」という保護者評価(4段階)は下記の通りである。</p> <p>○未満児保護者(0～2歳児) 大変良い(68%)良い(32%)</p> <p>○以上児保護者(3～5歳児) 大変良い(70%)良い(29%)</p> <p>この結果から日々の保育・教育の質及び安心・安全な保育環境が保護者に理解され、認められていると言える。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>指定管理初年度ではあるが、これまでの経験を活かした施設運営については高く評価している。</p> <p>3歳未満児を対象とした保育については、実績が少ないことから、これからも情報連携のための定例会を実施する等、円滑な運営が行えるようサポートして行きたいと考えている。</p> <p>今後も職員の研修等を通じ、個々の能力向上を図ると共に保育・教育の質を高めていただき、安全安心な保育環境の提供をお願いしたい。</p>



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	くりはら斎苑
施設所管部署名	市民生活部 環境課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	くりはら斎苑		
施設 所 在 地	宮城県栗原市築館字荒田沢41番地		
設 置 年 月	平成13年8月	設置根拠条例	栗原市火葬場条例
設 置 目 的	栗原市の公衆衛生の向上を図ること		
施設 概 要	面 積	延床面積 2,040.44㎡、敷地面積 5,234.21㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨二階建(ハートビル法認可建物)	
	施設内容	(施設内の設置室内内容) 火葬棟:告別室前室・告別室・炉前ホール・炉室・機械室・管理事務室・便所・倉庫 共通棟:収骨室・共通ロビー 待合棟:待合室(和室+洋室)・待合ロビー・便所・エレベーター	
休 館 日	1月1日 ~ 1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時30分 ~ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	死体15歳以上 17,000円(市内) 31,000円(市外) 死体15歳未満 13,000円(市内) 23,000円(市外) 死胎(妊娠4箇月以上の死胎) 5,500円(市内) 11,000円(市外) 改葬死体(死亡した日から10年以上) 1~5体 5,500円(市内) 11,000円(市外) 改葬死体(死亡した日から10年を経過していないもの) 5,500円(市内) 11,000円(市外) 肢体の一部 20kgごとに 4,500円(市内) 9,000円(市外) 胞衣、産汚物等 20kgごとに 3,100円(市内) 6,200円(市外)  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	グリーン観光バス株式会社		
	事務所所在地	宮城県栗原市築館字下宮野川北21番地1		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	192,250,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成13年8月 ~ 平成22年3月	直営	栗原市	
平成22年4月 ~ 令和2年3月	指定管理	グリーン観光バス株式会社	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	362日	362日	362日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	22,000人	21,981人	24,588人	111.8%	111.9%
利 用 料 金 収 入	18,450,000円	19,305,500円	21,219,500円	115.0%	109.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	火葬件数 123件の増加。コロナ禍により人数制限をしているが、火葬件数10.7%の増加に伴い利用者数及び料金収入もほぼ同数の比率で増加。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
R4.4～R5.3	自動販売機収入	自動販売機収入	利用者	

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・斎苑責任者(斎苑長)として常駐を心がけているが、不在の際は職員がマニュアルに沿って緊急対応し、救命処置を最優先としている。</li> <li>・設備及び機器類が経年劣化による不測の事態が発生する頻度が高くなっている。それに対処するためマニュアルどおり関係各所に連絡及び報告するよう周知している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に伴い、施設本体や空調等の各種設備機器の修繕箇所が増加していることから、市としては計画的に修繕していくこととしている。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
館内が暑い(2件)、寒い	全館に冷暖房を入れてますが、これ以上は対処できません
トイレが狭い	申し訳ございませんが何ともなりません
授乳室が欲しい	授乳の時は応接室又は空き部屋を使用
畳の部屋はいらない 高齢者のため椅子席を増やしてほしい	市の担当者と協議してみます
トイレ便座の消毒用ペーパーがほしい(2件)	検討します
駐車場の白線がはっきり見えるようにしてほしい(昨年と同じ)	栗原市に依頼しています
シートベルトの固定の仕方がわからない。説明があってもいいのでは？ 車から降りる際の台を置いた方がいい	シートベルト着用の際は説明に努めます。 乗降時の踏台は普通ステップ車2台に設置し、低ステップ車は無し

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	危険物取扱者3名、防火管理資格者2名、救命講習修了者2名、安全運転管理者等を計画以上に配置している。	A		
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	毎朝のミーティング、電話での対応等、常に相手の立場を尊重し行動。職員の訓練及び研修等を随時行い、情報の共有によるサービスの向上と人材育成に努めている。	A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画による防災訓練を実施し適切に対処できる環境を整備し、特に人命優先の心がけ。設備機器の故障等にはマニュアルを作成し職員が対処できるよう整備している。	A	職員間の連絡体制が整っており、正しく適切に対応されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録を適切に整備し保管している。	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護規定及び情報公開規定に基づいて管理している。	A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	指定管理者協定書及び個人情報の保護を含めた管理・運営をしている。	A		
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃及び保守点検等を適切に実施し、施設環境を維持している。	A		
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市と協議しながら修繕対応をしているが、各設備等の老朽化・経年劣化により修繕費が増加傾向にある。	A	老朽化による故障に適切に対応しており、適正な施設管理が行われている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者と契約し、設備の維持点検を実施し安全確認をしている。	A		
⑤ 霊柩車の事故防止のため、必要な点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全運転管理者講習を受講し、毎日の運行前点検及び車両の法定点検を実施。安全確認を行っている。	A		
⑥ 霊柩車の円滑な運行管理を行っているか。	A	最大限、円滑に運行できるよう管理している。	A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	利用者の利便性を重視し、迅速な利用許可及び施設情報の提供をしている。	A		
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者の意見を4半期ごとに取りまとめ、市と協議しながらできるものから即時改善している。	A		
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	市の担当課と随時協議し対応している。	A	市との協議を定期的にも実施し、市と役割を分担して適切に対応されている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者が静かで安らかな気持ちになれるような環境作りを模索しながら実施している。	A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート結果を見ると利用者はほぼ満足しており、不満は少ないと思います。	A		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切でした。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	計画どおりにはなかなか進めず、老朽化等による修繕箇所が増加傾向のため支出は増えると思われる。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	収入の増加は事業特性上困難なため、支出の削減に努めている。	A		
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	燃料費(灯油・LPガス・軽油)及び電気料金等の値上りのため、更なる削減に努めている。	A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な経理を実施している。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>①霊柩バスの運行はじめ住民の平等な利用が確保でき、事業計画と比較しても公の施設の効用を最大限に発揮できた。</p> <p>②市民サービスの向上を図ることはできたが、燃料費等の値上りのため施設の管理に係る経費の縮減に努めた。</p> <p>③火葬件数123件の増加に伴い利用者数も約12%増加したが、使用する燃料等も増え支出も増加した。</p> <p>④事業計画に沿った管理運営を安定して実施することができた。</p> <p>⑤各設備機器の老朽及び経年劣化に伴い修繕費等が増加した。市の担当課にも負担をかけている。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>老朽化の進む施設全般の管理をよく行い、事業計画に沿った適切な管理運営が行われている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症に係る利用者対応についても、国の通知等をよく確認し、適切に対応していただき、高評価に値する。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒農林水産物直売所
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市栗駒農林水産物直売所		
施設 所 在 地	栗原市栗駒文字鍛冶屋103番地		
設 置 年 月	平成9年11月	設置根拠条例	栗原市農林水産物直売所条例
設 置 目 的	魅力ある山村地域社会の建設を推進するとともに、地域所得の向上、農業生産意欲の向上を図るため。		
施設 概 要	面 積	延床面積 470.47㎡、敷地面積 3,619㎡	
	構 造	木造一部鉄筋コンクリート造 1階	
	施設内容	物産展示コーナー、食品庫、更衣室、厨房、便所、事務室、風除室、藍染作品展示、織の工房、染の工房、展示通路、試食室、試作室	
休 館 日	水曜日、12月29日から翌年2月28日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前10時00分 ~ 午後3時00分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	藍染施設 展示室観覧料 1利用につき大人1人 300円、子供150円 体験施設 1利用につき大人1人 820円、子供510円 販売施設 販売金額に対し 20% ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	文字地域活性化推進協議会		
	事務所所在地	栗原市栗駒文字鍛冶屋103番地		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	0円 ( 年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	文字地域活性化推進協議会	H21,26更新
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (4年度)	前年度 (3年度)	評価対象年度 (4年度)		
開 館 日 数	200日	188日	206日	103.0%	109.6%
利用者数(延べ人数)	2,250人	2,120人	2,520人	112.0%	118.9%
利 用 料 金 収 入	4,420,000円	3,195,000円	3,806,000円	86.1%	119.1%
主 な 増 減 要 因 ( 前 年 比 )	コロナ禍における来館者の減少が少し回復した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	藍染製品の販売	正藍染商品の展示販売	全ての人	604人
4月から11月・3月	食堂の運営	地場で取れた産品を食材とし提供する	全ての人	3,028人
6月から7月	藍染体験	藍染を体験してもらう	全ての人	163人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
消防設備の点検と浄化槽の点検を他の市の施設と同様に市の方で一括で業者へ委託してもらいたい。(指定管理料が無いので施設管理の負担を軽減したい。)	協定に基づく施設の修繕等については、協議の上計画的に実施していきたいと考えるが、点検業務については指定管理者にて対応いただきたい。そのための費用については、さらなる商品販売戦略や、食堂の集客、独自事業の企画など、増収に向けた経営に努められたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
照明が暗いのでLED照明にしてほしい。	市に依頼しているが対応について未回答

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	若い人材の確保が困難	B	事務等得意な人材を確保するか、不得意な場合は指導するなど検討されたい。	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B		B	緊急時の対応については周知徹底されたい。	
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	指定管理に関する報告等求められるので、各種記録は適切に整備されたい。	
⑤個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B		B	法定点検は適時適切に実施されたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設情報の提供に取り組まれたい。	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	アンケート結果はよく分析、改善の検討をされたい。	
③要望及び苦情等に対する対応が十分にされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	館内全て禁煙とコロナウイルス対策	A	利用者の声を聞きながら常に改善に取り組まれたい。	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	/		B	利用者の満足が得られるよう運営されたい。	
⑥利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		B	収入は計画に近づいたものの、支出が多かった。	
②積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	行者にんにくラーメン、餃子の販売を始めた。	A	新商品の開発、事業計画の改善等、継続して魅力ある施設づくりに努められたい。	
③積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<指定管理者の所見> ・節電、節水を心掛け、また、自費で一部照明をLED化した。 ・藍フェアーが再開し来館者が増えた。 ・季節限定で新メニューを始めた。	A	<施設所管課の所見> 事業の開催等により収入は計画に近づいたものの、支出も多く収支では赤字となった。新商品、新規事業など前向きな取り組みは評価できるものであるため、より一層、費用対効果、収支のバランスを検討して計画立案、実施されたい。 引き続き、地域産物を生かした経営展開と宣伝により、観光客、固定客の獲得に努められたい。

## 別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市花山農山村交流センター
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市花山農山村交流センター		
施設 所 在 地	栗原市花山字本沢北ノ前133番地		
設 置 年 月	平成15年4月	設置根拠条例	栗原市花山農山村交流センター条例
設 置 目 的	市の持つ文化と自然景観を都市との交流を通して紹介し、地域への理解と活力あるまちづくりに資するため。		
施設 概 要	面 積	延床面積 678.70㎡、敷地面積 2,107㎡	
	構 造	RC造平屋建て 1階	
	施設内容	風除室、ホール、ギャラリー管理室、休憩室兼研修室、押入れ、床の間、倉庫、HDWC、MWC、FWC、研修室、準備室、展示室	
休 館 日	火曜日(休日の場合はその翌日)、12月29日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	展示室 一般(大学生含む) 個人210円、団体160円 小学生、中学生及び高校生 個人110円、団体80円 研修室 1時間につき 210円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人はなやまネットワーク		
	事務所所在地	栗原市花山字草木沢権現堂114番地		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	27,030,000円 ( 5 年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ~ 平成19年3月	管理委託	㈱花山地域振興公社	
平成19年4月 ~ 平成26年3月	指定管理	㈱ゆめぐり	
平成26年4月 ~ 平成31年3月	指定管理	花山地域開発株式会社	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	309日	310日	100.6%	100.3%
利用者数(延べ人数)	15,400人	7,159人	7,755人	50.4%	108.3%
利 用 料 金 収 入	104,000円	41,100円	40,960円	39.4%	99.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用料金は横ばいとなっており、新型コロナウイルスの影響が残っている。又、例年は夏休みに行われていたそば打ち体験教室や花山地区の各祭りが中止となり来館者は減ったままである。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年10月25日	研修	空き家対策について(展示室見学をセット)	一関市関係者	17人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響でそば打ち体験教室が大幅に減った。</li> <li>・光熱費で電気料金・灯油が高騰し苦慮している。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルスの影響により、生活様式や事業の持ち方が変化してきた。この状況下で開催できる事業を模索され、電気料金や灯油などの高騰分を回収されたい。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
農山村交流センターが何の施設なのかわからないので、道の駅「路田里はなやま」からの入口付近に案内板を設置してほしい要望。	案内板を設置したことにより、少しではあるが観覧者が増えた。
道の駅「路田里はなやま」に身障用のトイレがない。	花山農山村交流センターに身障用のトイレがあり助かっていると身障者から「ありがとうございます。」の御礼をいただいている。



8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	旧花山村の歴史・文化を紹介する施設であるので知識向上に努めている。	A	研修等継続して取り組まれない。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施。	A	緊急時の対応については常に周知徹底を図られたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	ホームページ、SNSを活用されPRIに努められたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	利用者の声を聞くため、継続的に実施されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	企画展、新イベントなど、多角的に検討されたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減。	A	新型コロナウイルスの影響はやむを得ないと考えます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	新型コロナウイルスの影響で研修の受け入れができなかった。	A	新型コロナウイルスの影響はやむを得ないと考えます。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	草刈・植木剪定を職員で実施。又、除雪も同様に職員が実施した。	S	経費縮減の努力を認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そば打ち教室の指導者が高齢になり開催できなかったが、花山地区にあるそば店と協議の結果、土日を除き実施できることになり、4回36名の参加があった。</li> <li>・研修の受け入れを積極的に行い、利用料金の増に努める。</li> </ul>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの影響による観光客の減、事業参加者数の減など、厳しい状況が続く中、事業を計画したり、経営努力などにより黒字を維持している。行動制限が緩和されてきたところで、安全に配慮しながら、利用料金の増につながる事業を計画・実施されたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市若柳特産物直売センター
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市若柳特産物直売センター		
施設 所 在 地	栗原市若柳字川北塚ノ根27番地1		
設 置 年 月	平成23年7月	設置根拠条例	栗原市特産物直売センター条例
設 置 目 的	農林業の振興及び地域資源の活用を促進するとともに、都市住民等との交流を行い、地域の活性化を図るため。		
施設 概 要	面 積	延床面積 323.78㎡、敷地面積 1,829㎡	
	構 造	木造1階	
	施設内容	直売所、加工室	
休 館 日	1月1日から1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 9時00分 ~ 午後 6時 00分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	販売棚 利用する区画ごとの1月当たりの販売実績に100分の20を乗じて得た額(その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合		
	事務所所在地	栗原市若柳字川北塚ノ根27番地1		
指 定 の 期 間	令和4年 4月 1日 ~ 令和9年 3月 31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	0円 (年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成24年4月 ~ 令和4年3月	指定管理	栗原市若柳地区農産物直売所くりでん出荷組合	H29更新
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	361日	361日	361日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	50,000人	42,341人	43,352人	86.7%	102.4%
利 用 料 金 収 入	16,000,000円	14,109,367円	14,947,675円	93.4%	105.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が自粛され、遠方からの客がほとんど見られなかった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和5年3月14日	野菜栽培講習会	生産者を対象として野菜栽培講習を実施	生産者	17人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを使った情報発信の頻度</li> <li>・商品不足</li> <li>・新規生産者の募集</li> <li>・施設の老朽化対応</li> </ul>	<p>SNSでの情報発信の頻度、内容はもとより、くりでんのSNSがあることを知らない人向けに周知を図り、SNSの効果が最大限発揮されるよう努められたい。</p> <p>新規生産者の募集により、定番野菜の確保から、新商品の開拓まで、魅力ある売り場づくりに努められたい。</p> <p>施設や機械備品等は日常点検を適時行い、異常があれば報告いただきたい。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
商品が少ない	生産者へのメールや電話連絡
施設の老朽化	その都度業者へ見積もり依頼し、市へ提出相談
季節の新鮮な野菜が手に入ってうれしい	旬の野菜の案内
〇〇さんの野菜が美味しい	名前のブランド化

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定に基づき適正に管理している	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	適切に実施している	A	経営力向上、商品力向上のための人材育成は積極的に取り組まれない。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切に実施している	A	自然災害が増えているので、緊急時の行動計画を定め、職員に周知徹底されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に実施している	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	更に工夫・改善の課題がある	A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	更に工夫・改善の課題がある	A	市内外への広報活動に取り組まれない。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	更に工夫・改善の課題がある	A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	更に工夫・改善の課題がある	A	従前の運営方法に囚われず、積極的に改善に取り組まれない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	更に工夫・改善の課題がある	B	アンケート結果を分析し、改善に取り組まれない。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切に実施している	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	更に工夫・改善の課題がある	A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	更に工夫・改善の課題がある	A	支出の調整で黒字を維持しています。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	更に工夫・改善の課題がある	A	今後も季節事業や周辺施設との連携事業に取り組まれない。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	経費の削減を図っている	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>経費節約の為、照明の数量を少なくしたが料金値上げにはかなわず効果がなかった。                      タブレットを購入し、情報発信に取り組み始めた。効果はまだはっきりと出てはいるが、発信を見て来店するお客様も見られるようになった。                      今後も工夫しながら取り組みたい。利用者の増加に向けてさらに工夫・改善をしていきたい。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>節電節水等努められているが、物価等の上昇に苦慮していると思う。支出の引き締めとともに、多くの人の目に触れる広報活動や、魅力ある商品の取り揃え等、収入増の取り組みにより経営の安定化を図られたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:4年度)

施設 の 名 称	栗原市瀬峰特産物直売センター
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市瀬峰特産物直売センター		
施設 所 在 地	栗原市瀬峰下田185番地1		
設 置 年 月	平成10年11月	設置根拠条例	栗原市特産物直売センター条例
設 置 目 的	農林業の振興及び地域資源の活用を促進するとともに、都市住民等との交流を行い、地域の活性化を図るため。		
施設 概 要	面 積	延床面積 21.53㎡、敷地面積 21.53㎡	
	構 造	木造1階	
	施設内容	野菜販売棚、即売棚、カウンター、便所	
休 館 日	日曜日、月曜日、火曜日、木曜日及び金曜日、12月29日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後7時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	食品 1月につき5,390円(1日につき110円加算) 雑貨 1月につき5,390円(1日につき110円加算) 構築物等 1㎡あたり1月につき140円 露店 1㎡あたり1月につき140円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	瀬峰旬の市会		
	事務所所在地	栗原市瀬峰下田185番地1		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	0円 (年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	瀬峰旬の市会	H21,26更新
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	103日	103日	102日	99.0%	99.0%
利用者数(延べ人数)	5,000人	4,800人	4,400人	88.0%	91.7%
利 用 料 金 収 入	400,000円	489,500円	429,939円	107.5%	87.8%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	会員減少と農産物の不足、農産加工を辞める人が多数。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月15日	監査会	3年度収支決算監査	会員	4人
令和4年4月18日	総会	第24回総会	会員	8人
令和4年7月24日	視察研修	直売所視察研修(日帰り)亙理方面	会員	7人
令和4年12月29日	大掃除	直売所の大掃除	会員	8人
令和5年1月7日	初売り		会員	2人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
①コロナは緩和されましたが客足は離れたままでいまいち。 ②高齢化で会員不足、野菜不足、で大変です。 ③管理者も高齢化してきましたパソコン操作も大変になってきました。	商品を納品する会員や、事務処理の得意な職員について、年齢層や商品の種類など幅広く検討され、確保に努められたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
施設利用者さんから階段の段差が無くなって歩きやすい	スロープを設置して、転倒する人がいなくなりました
品薄ですねと言われます	会員さんが少なくなって対応に困っています
これから暑くなるので漬物や餅類は冷蔵庫で保管しては？	冷蔵庫も色々探しては見ていますがなかなか高く、中古の安くて手ごろなのが見つかりません
新鮮で安いので助かっています	内税で、ぎりぎりの価格で頑張っています
看板が見えにくい、色がはげてきている	今年中には看板の色塗りをしたいと思っています。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	店舗経営の研修に積極的に取り組まれない。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	最後の戸締りは2人で掛け声をして火の始末確認	A	災害時の行動計画を定め、対応できるようにされたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	B		B	諸帳簿は適切に整備・保管されたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	変更がある場合は手続きし、利用者に周知されたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	インスタグラムの更新及びそれ以外の情報提供にも取り組まれない。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケート調査を怠っています	B	直接言えない声を得るためアンケートを実施されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B		B	営業改善は常に心がけられたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	アンケート調査はしていませんが直接生の声を聞き改善しています	A	直接言えない声を得るためアンケートを実施されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	年々減少しつつあります	A	黒字を維持しつつ、収入増に向けて取り組まれない。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	新しくパン屋さんが参加	B	創意工夫で収入増に取り組まれない。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	マイバッグ運動でレジ袋削減	A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>施設の老朽化が進み、建物だけにかぎらず人も高齢化になり運営するのも厳しい状況になってきています。新規会員を増やし6次産業を推進していきたいと思えます。ころもみるも新規会員になる専業農家がいまません。加工部門も少なくなってしまうマイナス要素しかありません。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>急な修繕は難しいため、日常点検を欠かさず、施設の状況把握に常に努められたい。</p> <p>現在の商品が少なくなってきたのであれば、店の設置目的は維持しながら、新しい商品、新しい分野の会員を模索するなど、根本的な改善に取り組まれない。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市あやめの里
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市あやめの里		
施設 所 在 地	栗原市一迫真坂字清水田川4番地1		
設 置 年 月	平成12年3月	設置根拠条例	栗原市地域産物展示販売施設条例
設 置 目 的	特用林産物、農産物等地域資源の活用及び生産を促進し、農林業者等の所得向上を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積 498.41㎡、敷地面積 2,665.94㎡	
	構 造	木造1階建	
	施設内容	展示販売コーナー、事務室、荷受室、郷土料理試食室、郷土料理試作室、倉庫、デッキ	
休 館 日	1月から3月⇒火曜日、4月から12月⇒第1及び第3火曜日、12月31日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時30分 ~ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	販売行為をする場合の利用料金及び施設を設置する場合の利用料金については、栗原市地域産物展示販売施設条例第10条第2項で定める額と同じ。  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	新みやぎ農業協同組合 (令和元年7月 栗っこ農協等5農協の合併により移行)		
	事務所所在地	栗原市築館字照越大ヶ原43番地1		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	0円 (年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	栗っこ農業協同組合	
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	栗っこ農業協同組合	H21,26更新
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	336日	330日	334日	99.4%	101.2%
利用者数(延べ人数)	75,000人	62,350人	62,701人	83.6%	100.6%
利 用 料 金 収 入	17,034,000円	17,712,660円	16,910,093円	99.3%	95.5%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	購買品(農産物等生産者以外から仕入れる販売品、ジュース等)の売れ行きが思わしくなかった。				



## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
通年	地域物産販売	地域産物販売	地域住民および観光客など	62,701人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
納入組合員の高齢化・後継者不足が進む中、冬期から春期にかけて野菜類の入荷が少なくなり、商品不足の状態がおきており解消していきたい。また、コロナ禍でイベント等が出来なくて来客数及び販売高が減少しており、利用者のニーズを捉えながら、品質の良い商品を提供できるよう努めていきたい。	前年と同様の課題であるので、解消、改善に向けて努力されたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	利用者が気持ちよく利用できるよう、研修等は適時実施されたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急時の行動計画は周知徹底を図られたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	利用者数増加のため積極的に宣伝されたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	アンケート結果はよく分析、改善の検討をされたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	従来の経営に囚われず新たな取り組み及びその宣伝に努められたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	今後も気持ちよく利用される施設運営に努められたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	利用料金収入は事業計画を達成できなかった	B	収入増、経費削減の取り組みを計画的に実施されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	営業時間延長のメリットを生かし積極的に販売、宣伝をされたい。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A		A	創意工夫で経費削減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	部門毎の経理を確認、適正に実施されたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>利用者数は近年横ばい傾向に対し、令和4年度におきましては前年より351人減少し、前年対比100.6%の増加になりました。</p> <p>施設の効率的な運営管理並びに職員教育に努め、安全・安心な販売物を利用者提供してまいりました。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>利用者数は前年対比で微増したものの、料金収入は事業計画を達成できていない。</p> <p>この利用者数増の原因を分析し、経営の良いところは伸ばし、悪いところは改善するなど、今後の利用者数増、収入増、より良い施設管理に生かされたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市湖畔のみせ 旬彩
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市湖畔のみせ 旬彩		
施設 所 在 地	栗原市花山字本沢合道46番地5		
設 置 年 月	平成13年4月	設置根拠条例	栗原市地域産物展示販売施設条例
設 置 目 的	栗原市の豊かな森林資源を利用して生産される特用林産物や花木を農水産物として展示販売し、農林水産物の生産・販売量の拡大を促進して林業等の活性化を図り、生産活動の安定化及び林業従事者の所得の向上を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積	220.00㎡、敷地面積 2,256.06㎡
	構 造	木造1階	
	施設内容	展示即売コーナー、地域産物試作・試食室、作業室、事務室	
休 館 日	火、水、木、金曜日及び12月1日から翌年3月31日まで ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前10時00分 ~ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設 利用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	年額 188,570円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人はなやまネットワーク		
	事務所所在地	栗原市花山字草木沢権現堂114番地		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	0 円 ( 年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月 ~ 平成23年8月	指定管理	花山特産品即売所利用組合	
平成24年4月 ~ 平成27年3月	指定管理	株式会社東北ダイケン	
平成28年4月 ~ 平成31年3月	指定管理	株式会社花山サンゼット	
平成31年4月 ~ 令和4年3月	指定管理	一般社団法人はなやまネットワーク	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	105日	106日	106日	101.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	6,953人	8,039人	7,194人	103.5%	89.5%
利 用 料 金 収 入	3,688,000円	3,854,056円	3,996,219円	108.4%	103.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者は大幅に減少したが、利用料金は微増ではあるが増えている。利用者は新型コロナウイルスの影響による減少が考えられる。利用者の実績は、カフェ利用者と販売及び施設見学、トイレの利用者の総人数である。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月24日・5月3日・7月17日	ご縁で繋がった復興応援プロジェクト	花山産岩魚の塩焼と南三陸直送海鮮焼・ほや飯販売	市民等	318人
令和4年4月25日～11月28日	オレンジカフェ「どんぐり」	認知症カフェの開催	市民等	172人
令和4年5月1日～6月26日	復興屋台	山菜・シイタケ・イワナの販売	市民等	1,137人
令和4年7月3日～7月31日	夏の感謝屋台	カキ氷・イワナの販売	市民等	335人
令和4年10月1日～10月30日	秋の感謝屋台	桃・リンゴ・菌床マイタケ・原木マイタケ・イワナの販売	市民等	678人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災による放射能の影響で特用林産物である山菜の一部、天然キノコの販売が出来ない。</li> <li>・「湖畔のみせ旬彩」の周知。</li> <li>・秋の感謝屋台で菌床マイタケ・原木マイタケの入荷が予定より少なかった。</li> <li>・旬彩でなければ購入できない品物を用意できるかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射能、新型コロナウイルス等、見えないものに制約されるが、できることから努力されたい。</li> <li>・SNSの活用や新聞・チラシ、目を引く案内看板、道の駅、花山青少年旅行村と連携した周知方法等を模索されたい。</li> <li>・旬彩でしか買えない特別感のある商品の他、旬彩独自のサービスなど、多角的な視点から模索されたい。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
認知症カフェで花山湖を眺ながらのケーキセットを食べて、お話をしたり、懐かしのフォークソングや民謡ミニコンサートを楽しむことができた。	オレンジカフェを引き続き開催する。
展示・販売コーナーで山菜・天然キノコを販売してほしいと多数のお客様より要望があった。10年も経過しているのにまだ販売できないのか。	福島第二原発事故の放射能の影響で販売できない旨を説明し、理解していただいている。特用林産物の非破壊式放射能測定を実施したが販売に至っていない。
カフェコーナーでイワナの塩焼きで食事ができないかの要望が多数あった。	7月からイワナランチを提供した。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	接客から運営まで多角的に研修に努められたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	各種記録は運営改善に生かされたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する提案があるか。	A	認知症カフェを開催した。	A	今後も積極的に地域に関わりながら運営に努められたい。	
⑥ 地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献の取組みが提案されているか。	A		A	今後も積極的に地域に関わりながら運営に努められたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	販売目的の施設であり、常に口頭で聞き取りを行っている。	A	意見の収集は幅広く行われたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者アンケート用紙を設けている。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	季節ごとに屋台を設置し楽しんでいただいた。	A	地域の特性を生かした事業、商品開発に努められたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	収入は小幅な増加、支出は大幅な増加となっている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	イワナランチの提供。	A	事業の実施から結果まで精査され、次の事業立案に生かされたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	物価上昇が続いているため、効果的な経費縮減を検討されたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの影響はあるが景色だったり、新鮮な空気を求めてダム湖畔に多くの方がキャンプに訪れた。収入については、計画より増えたが人件費や水道光熱費が多くなり、赤字となった。利用者が求めている品物、ここでしか売っていない商品を販売できるようにしたい。施設管理については、花山ダム湖の景観を損なわないよう管理に心がけており、利用者からは好評をいただいている。今後も利用者の声に耳を傾けながら管理いたします。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>収入が増えたが支出の方がさらに増えており全体では赤字となっている。引き続き新規顧客の獲得、リピーターの確立など収入増の方策を検討するとともに、仕入れなどは費用対効果を考え収支バランスの取れたところで設定するなど、経営改善に取り組まれたい。施設内外はいつもきれいにされている。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市金成農村環境改善センター
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市金成農村環境改善センター		
施設所在地	栗原市金成沢辺町沖200番地1		
設置年月	平成3年7月	設置根拠条例	栗原市農村環境改善センター条例
設置目的	市における農林畜産業等産業の振興、保健、福祉、教養及び知識の向上並びに住民生活の改善を図るとともに、地域の連帯感を高め、農村の環境整備を組織的に推進するため。		
施設概要	面積	延床面積 618.2㎡、敷地面積 706.8㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造 1階	
	施設内容	農事研修室、創制作室、農産加工室	
休 館 日	12月29日から翌年1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	生活改善研修室 1時間あたり 300円、10時間以上の場合 3,030円 農事研修室 1時間あたり 190円、10時間以上の場合 1,880円 創制作室 1時間あたり 260円、10時間以上の場合 2,610円 農事情報室 1時間あたり 150円、10時間以上の場合 1,460円 会議室 1時間あたり 150円、10時間以上の場合 1,460円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	新みやぎ農業協同組合 (令和元年7月 栗っこ農協等5農協の合併により移行)		
	事務所所在地	栗原市築館字照越大ケ原43-1		
指定の期間	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	0円 ( 年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	栗っこ農業協同組合	
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	栗っこ農業協同組合	H21,26更新
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	241日	53日	241日	100.0%	454.7%
利用者数(延べ人数)	1,000人	467人	1,089人	108.9%	233.2%
利用料金収入	0円	0円	0円	—	—
主な増減要因 (前年比)	概ね、計画通りの利用実績となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
電気料やガス代の高騰による費用増が懸念される。	節電等に努めるとともに、利用料金収入による経営改善を検討されたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特になし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	機器管理、施設管理等研修に努められたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	緊急時対応マニュアルの周知徹底や行動訓練などに努められたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	諸帳簿等は適切に整備・保管されたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	市条例、協定等に基づき管理・運営されたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を適切に行われたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	施設情報の提供方法について検討されたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	利用者の直接意見のみでアンケートについては未実施	B	利用者の意見を聞く仕組みを構築されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みについては未実施	B	利用者の充実に向けて改善は常に取り組まれたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	アンケート未実施、利用者の不満等は特になし	B	直接言えない意見を聞く仕組みを構築されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	収入増の取り組みを検討されたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	収入増の取り組みを検討されたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> ・コロナ感染症拡大防止のため、手指消毒の設置やこまめな換気などに取り組みました。 ・利用者数は、概ね計画通りの利用となった。	A	<施設所管課の所見> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の行動制限が緩和されはじめ、利用者数が回復傾向にある。施設の設置目的に基づき広く市民に利用していただくとともに、利用料金収入増の取り組みを検討し、経費との収支バランス改善に役立てられたい。



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市一迫地区活性化センター
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市一迫地区活性化センター		
施設 所 在 地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
設 置 年 月	平成5年5月	設置根拠条例	栗原市一迫地区活性化センター条例
設 置 目 的	栗原市における農林業等産業の振興及び市民の生きがい並びに健康維持を図り、農村地域の活性化の促進に寄与する。		
施設 概 要	面 積	延床面積 718.6㎡、敷地面積 9,311.0㎡	
	構 造	鉄骨コンクリート 1階	
	施設内容	アリーナ、トレーニング兼談話室	
休 館 日	12月29日から翌年1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	アリーナ 1時間につき 310円 アリーナ(舞台を含む) 1時間につき 310円 トレーニング兼談話室 1時間につき 210円  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市一迫地区老人クラブ連合会		
	事務所所在地	栗原市一迫真坂字高橋20番地1		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	11,740,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成28年3月	直営		
平成28年4月 ~ 平成31年3月	指定管理	栗原市一迫地区老人クラブ連合会	
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	359日	359日	359日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	10,000人	9,915人	8,609人	86.1%	86.8%
利 用 料 金 収 入	159,000円	183,327円	147,356円	92.7%	80.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置により、利用自粛で利用者及び、利用料金の減少が見られた。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の老朽化が見られる箇所がある。引き続き修繕に努め、利用しやすい施設管理を行って行くが、規模の大きい修繕に関しては協議して頂き対応願いたい。	平成5年築の建物であり、不具合も想定されるが、日常点検や保守管理等を行い、施設の維持に努められたい。やむを得ず大規模な修繕については協議されたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
冷房設備(大型扇風機でもよい)を設置してほしい。	市と協議してまいります。
令和4年度の常勤管理人の対応が悪く、利用者に不快な思いをさせた。	常勤管理人に言葉遣い等、気をつけるように指導しましたが、改善が見られない為、解雇しました。
インターネットをつないでほしい。	協議してまいります。

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
①施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	従業員・警備員でローテーションを組み対応している	A	従業員・警備員の連携を取り円滑な受付を実施されたい。	
②指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	行っている	A	人材育成の研修は積極的に取り組まされたい。	
③通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	行っている	A	緊急時の行動計画は周知徹底を図られたい。	
④各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	行っている	A	適正であると認めます。	
⑤個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	行っている	A	適正であると認めます。	
⑥法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	行っている	A	条例、協定に基づいて事務を遂行されたい。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
①市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している	A	適正であると認めます。	
②施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	行っている	A	日常管理を適切に行われたい。	
③協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	行っている	A	日常管理を適切に行われたい。	
④設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者に委託し、点検を実施している	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
①利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	行っている	A	施設利用の諸注意をまとめて表示している。	
②利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	行っている	A	アンケート結果はよく分析、改善の検討をされたい。	
③要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速な対応を行っている	A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	—		B	利用者の充実については常に改善を検討されたい。	
⑤モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	改善できるものは迅速に対応を行った	A	気持ちよく利用される施設運営に努められたい。	
⑥利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	気持ちよく利用される施設運営に努められたい。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
①収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症拡大による自粛の影響があったが概ね適正である	A	利用増、経費縮減の取組を計画的に実施されたい。	
②積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	—		B	施設の活用を図られたい。	
③積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	見られた	A	創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	行っている	A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による自粛の影響により、個人利用者、市内一般団体の減少のため、利用料金は前年対比80.4%の実績となりました。施設管理については、利用者の声に出来ることは迅速に対応しております。今後も利用者の満足向上、経費縮減に取り組み、適切な管理に努めてまいります。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルスの影響等により利用料金収入は計画を達成できていないが、経費の縮減により収支は黒字を維持している。</p> <p>今後も必要な維持管理は行いながら、利用者の増、利用者満足の充実、経費縮減など様々な角度から経営の維持、改善に取り組まれたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度: 令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市高原創造センター
施設所管部署名	農林振興部 農業政策課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市高原創造センター		
施設 所 在 地	栗原市栗駒沼倉耕英東45番地		
設 置 年 月	昭和 63年 3月	設置根拠条例	栗原市高原創造センター条例
設 置 目 的	農林業の複合経営を促進し、林業者等の就労安定と地場産業の振興を図るため		
施設 概 要	面 積	延床面積 570.53 m <sup>2</sup> 、敷地面積 1,463.69 m <sup>2</sup>	
	構 造	木造1階	
	施設内容	和室、食堂、浴場【温泉】、作業用建物、養殖施設	
休 館 日	11月14日から翌3月31日まで、毎週水曜日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 9 時 00 分 ~ 午後 4 時 00 分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	入浴料 大人1人 500円 小人1人300円 休憩室(広間)1人210円 休憩室(個室)1室2,090円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市志波姫新熊谷279番地2		
指 定 の 期 間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日 (3年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	0 円 (3年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	栗駒山麓利用組合	
平成18年9月 ~ 令和4年3月	指定管理	栗駒山麓利用組合	H21,26,31更新
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	197日		119日	60.4%	
利用者数(延べ人数)	7,545人		3,232人	42.8%	
利 用 料 金 収 入	521,000円		72,326円	13.9%	
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	設備修繕のため7月1日から食堂と売店の営業を開始(4月~6月営業出来ず) 日帰り温泉も営業許可の関係で10月19日から営業開始となり約1ヶ月の営業となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年10月8・9・10日	木工体験	親子で木工教室	市民等	20人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
1, ポンプ等の凍結防止の為に機械室でパネルヒーターを使用し、電気代が営業しているよりも掛かるのでパネルヒーターの交換もしくは凍結防止対策を行って頂きたい。 2, 施設入口の看板の修繕(見えにくい・屋根の腐食) 3, 指定管理受託以前から実施していない作業(灯油地下タンク清掃・防火池の清掃・側溝の泥撤去等)	昭和63年建設の建物で老朽化している部分や、冬期間は積雪が多く管理に難しい面があると思われる。日常管理を適時適切に行い、不具合があれば所管課と調整されたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
お風呂を早く営業して欲しい。	10月19日より営業開始した。
階段にスロープが欲しい。	市と協議して参ります。
岩魚美味しかった。	多くの意見を頂く、引き続き販売して行く。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	調理師免許取得者が常駐し食事の提供を行った。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	研修等は定期的に実施されたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を年2回実施した	A	緊急時の対応について、従業員全員で常に確認されたい。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	各種記録の分析により、業務改善や設備保守などに役立てられたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	変更する際は手続きをされたい。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	利用者が安全安心で気持ちよく利用できる施設管理に努められたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	日常管理を行い常に保全に努められたい。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	法定点検は適時適切に実施されたい。	
⑤ 施設の設置目的である農林業の複合経営の促進の増進に向けた取り組みを行っているか。	A	親子で木工教室を開催	A	条例に基づく施設の設置目的を理解され適切に実施されたい。	
⑥ 地場産業の振興の増進に向けた取り組みを行っているか。	A	岩魚料理の提供及び岩魚掴み取り体験の実施、栗駒山麓ジオパーク特産商品の販売	A	条例に基づく施設の設置目的を理解され適切に実施されたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	ゆめぐり通信以外の広報媒体も検討されたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	アンケート結果はよく分析、改善の検討をされたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A		A	要望及び苦情等には真摯に対応されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	土日祝日及び10月は毎日、岩魚塩焼を販売しPRした。	A	新商品の開発、商品の入替、イベントなど魅力ある施設づくりに努められたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	良好な結果が継続するよう努められたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	計画には無かった支出や営業期間が短くなり計画に及ばなかった。	C	営業開始にあたりゆめぐりの努力があった。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	市民まつりなどイベントでの岩魚塩焼及び施設休館中の土日に延年間で岩魚塩焼を行った。	A	集客力のある商品開発、そのPRなど、収入増に努められたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	利用者が居ない時など節電に努めた。	A	創意工夫で経費縮減に努められたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	諸帳簿等は適切に管理されたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>3ヶ月営業開始が遅れた事や温泉使用期間も1ヶ月弱となり収入は計画に対して65.3%となった。収支においては、営業許可取得の費用や修繕、新規購入品など計画に無い支出がありマイナスとなってしまったが、自主事業を更に充実させ通常営業ができれば計画通りに行くかと推測している。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>指定管理初年度で、築35年の施設でもあり、営業開始までに苦勞された。株式会社ゆめぐりの経営ノウハウを活かし、営業を開始することができた。</p> <p>商品、サービス、PRなど、あらゆる分野で検討と改善を重ね、地域住民に親しまれ、地域外の住民からは「訪れたい」と思われるような魅力ある施設づくりに期待します。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市栗駒特産物直売センター
施設所管部署名	商工観光部産業戦略課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市栗駒特産物直売センター		
施設所在地	栗原市栗駒岩ヶ崎上小路150番地7		
設置年月	平成30年 4月	設置根拠条例	栗原市特産物直売センター条例、栗原市特産物直売センター条例施行規則
設置目的	農林業の振興及び地域資源の活用を図るもの。		
施設概要	面積	延床面積 370.98㎡、敷地面積 7,896㎡	
	構造	木造	
	施設内容	直売所 191.29㎡、事務室 16.56㎡、搬入室 19.87㎡ 付帯設備 トイレ、駐車場、多目的広場、街路灯	
休館日	1月1日 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
開館時間	午前9時30分 ~ 午後6時00分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	販売棚 利用する区画ごとの1月当たりの販売実績額に100分の20を乗じて得た額 (その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合		
	事務所所在地	栗原市栗駒岩ヶ崎下小路11番地1		
指定の期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	7,970,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成30年 4月 ~ 令和 3年 3月	指定管理	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	
令和 3年 4月 ~ 令和 8年 3月	指定管理	栗駒鶯沢物産等販売施設利用組合	
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開館日数	364日	364日	364日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	114,000人	110,264人	114,019人	100.0%	103.4%
利用料金収入	30,000,000円	29,103,799円	31,425,996円	104.8%	108.0%
主な増減要因 (前年比)	積極的なPR活動や品揃えの充実と欠品防止に努めたことにより、知名度の向上や秋の紅葉シーズンの顧客の増加に繋がり、前年度より利用者数及び利用料金の増加となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年3月19日～21日	春彼岸セール	生産者による軒下販売、直接販売者による販売	一般(市内外)	1,300人
令和4年5月21日、22日	4周年祭	店舗特売と生産者軒下販売、直接販売	一般(市内外)	900人
令和4年7月30日、31日	栗駒山車祭り協賛セール	店舗特売と生産者軒下販売、直接販売	一般(市内外)	1,000人
令和4年9月10日	収穫祭	店舗特売と生産者軒下販売、直接販売	一般(市内外)	800人
令和4年9月17日～19日	秋彼岸セール	店舗特売と生産者軒下販売、直接販売	一般(市内外)	1,000人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
燃料費高騰による、利益の損失が大きくなってきている。雪止増設、トイレのつまり対策、水道の水漏れ補修の早期実施が必要。	施設の管理運営面において、自助努力により解決できる部分については、引き続き対応をお願いします。 施設の改修について、雪止増設は今年度設置します。水道の水漏れ対策は調査を行い、トイレのつまり対策については、引き続き、調査・協議をしながら検討をまいります。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
鶴丸通から侵入し駐車場に入る一番手前のガードに車の接触がもう6回も起きている。	サインポールなどを置き注意喚起していますが、根本的な解決にはなっていない。路上に→等の標記が必要
山の駅の誘導看板が小さすぎて通り越してしまう。飲食のマークがあるがやってないのでは？遊休地への食堂の設置など希望します。	市の方には対応を話している。
店左側駐車場の車止めに足を引っ掛け転ぶお客様がいる。	コーンとコーンバーを使い危険を知らせている。



8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	特に問題はなく、適正に管理運営がされているため、引き続き法令等を順守した管理運営に努めていただきたい。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A		
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A		
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B		B		
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	冷蔵庫の適正温度管理、一般衛生管理について点検票をもとに毎朝夕実施	A		
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A		
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	業務仕様書及び協定書に基づき適正に管理・運営がなされている	
(2) 施設管理の状況	A		A	特に問題はなく、適正に管理運営がされているため、引き続き法令等を順守した管理運営に努めていただきたい。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	トイレ設備について毎日3回の清掃業務、冷蔵庫については月一の清掃点検、自動ドアについてはレール等の毎日点検実施	S	トイレ清掃及び詰まり対策を徹底しているため、継続して対応願いたい。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A		
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	消防総合訓練2回実施、水消火器での初期消火模擬を実施。	A		
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A	特に問題はなく、適正に管理運営がされているため、引き続き法令等を順守した管理運営に努めていただきたい。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	河北新報への情報掲載や、オリジナルチラシでの県内30万部の配布実施	S	今後も積極的なPR活動に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B		B	利用者の意見を把握する取り組み(アンケート等)を検討いただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	賞味期限や汚泥とうについて厳重に確認実施のルールを作成し実施	B	消費者が安心して購入できよう、賞味期限等の確認と店内の環境整備に努めていただきたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A		
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B		B	利用者の意見を把握する取り組み(アンケート等)を検討いただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	人事異動できた社員がいるが、人事教育を本社と連携し実施。	A		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A	利用者及び利用料金の増加に繋がる取り組みを積極的に行っていることから、引き続き集客増を意識した管理運営に努めていただきたい。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	微増ではあるが客数の増加、及び売り上げの増加がある。	A		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	欠品防止や良品の積極的導入に努めて、ストアイメージを上げた。	S		
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A		A		
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	S		A	引き続き適正な諸帳簿の管理に努めていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>利用者数は微増であるが前年度と比べ3.4%増、知名度や周知させる為に市内外への広報活動に努め、生産者や関係者等を巻き込んで、楽しい施設運営を行いました。</p> <p>特徴ある地場産品については中々見つけられない中、ワンストップショッピングしていただける店づくりを行いました。</p> <p>栗原市内の生産者10名新規獲得しました。</p> <p>売上は前年比8%と伸ばすことができました。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、エネルギーや物価高騰の影響により、厳しい経営状況を強いられました。</p> <p>そのような中、積極的なPR活動等に努め、売上及び来客者数とも前年度を上回る実績となったことを高く評価しています。</p> <p>今後も、利用客から喜ばれる施設の管理運営を行っていただくことを期待します。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	若柳ふるさとの森
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	若柳ふるさとの森		
施設 所 在 地	栗原市若柳武鎗字磯田沢154番地		
設 置 年 月	昭和63年4月	設置根拠条例	栗原市公園条例
設 置 目 的	市民の生活文化の向上及び健康増進並びに地域活性化に資することを目的とする。		
施設 概 要	面 積	延床面積 41.4㎡、敷地面積 100,952㎡	
	構 造	木造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 管理棟、四阿2棟、パークゴルフ場、遊歩道、駐車場	
休 館 日	なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	規定なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input checked="" type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	施設利用料金設定なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	ふるさとの森振興協会		
	事務所所在地	栗原市若柳武鎗字鹿ノ沢10番地		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	8,700,000円 (5年間)

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成21年4月～平成31年3月	指定管理	ふるさとの森振興協会	H26更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	350日	324日	350日	100.0%	108.0%
利用者数(延べ人数)	11,000人	10,606人	13,535人	123.0%	127.6%
利 用 料 金 収 入					
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)					

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
12月2日	さよならコンペ	令和4年最終コンペ	会員	73人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
管理棟老朽化 1台芝刈り機の老朽	協定に基づき、適正に管理が行われている。 老朽化した管理棟や、施設備品については、今後管理者との協議を進めていく必要がある。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
開場時間を早めて欲しい	開場時間を9時から8時に
トイレの衛生管理！	清掃回数を増やす(8～10回)
コース周回路の整備	コース周回路の復員を拡幅

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B		B	維持管理の体制について、確保に努められたい。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修会への参加等	A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	緊急連絡先・連絡網の作成	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		B	鍵の開閉や清掃等の管理記録をつけるよう努めていただきたい。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	取り扱い及び保護の対策が適切に行われている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	月1回以上の清掃作業	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	市と協議したうえで、適切な修繕がされている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	シーズン前の機器点検	B	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	トイレの清掃作業を増やした	A	要望に対し随時対応されている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		A	アンケートの回答者は少ないが、満足度を得ており適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A		A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		B	自主事業収支マイナスの解消を期待します。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A		B	自主事業収支マイナスの解消を期待します。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	会計担当者を配置し、適正に管理されていることを確認した。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 利用者数が23%増加した。小田PG場閉館の為と思われる。	A	<施設所管課の所見> 協定に基づき、適正に管理運営が行われている。特に施設内の草刈り作業については、こまめな管理により、利用者の利便性向上にもつながっており、その点について高く評価する。 今後の維持管理体制の安定化のためにも、後継者の確保に努められたい。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市ハイルザーム栗駒
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市ハイルザーム栗駒		
施設所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
設置年月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市ハイルザーム栗駒条例
設置目的	栗駒山麓の豊かな自然の中で、自然と温泉を活用した健康づくりと福祉の増進及び地域の活性化に資すること。また、自然の中で健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ健康と福祉の増進及び地域の活性化に資することを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積 5,030.31㎡、敷地面積 57,524㎡(栗駒コテージを含む)	
	構造	鉄筋コンクリート造3階建地下2階建	
施設概要	施設内容	(施設内の設置室内容) 栗原市ハイルザーム栗駒 センター棟 / 大広間、中広間、事務室、売店、エントラスホール、ラウンジ、休憩室、診察室、レストラン、待合室、アリーナ(ステージ含む)、浴場(男女別)、露天風呂(男女別)、温水プール、サウナ室、脱衣室、カラオケ室 ホテル棟 / 宿泊室(28室)・宿泊定員(168名)、従業員宿泊室(10室)	
	休館日	なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
開館時間	日帰りの場合、午前10時から午後6時まで 宿泊の場合、午後3時から利用最終日の午前10時まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり	
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1	
指定の期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日 (3年間)		
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	134,490,000円(税込み) (3年間) ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ~ 令和2年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開館日数	365日	365日	365日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	21,600人	16,296人	13,632人	63.1%	83.7%
利用料金収入	147,375,000円	127,846,675円	106,459,023円	72.2%	83.3%
主な増減要因 (前年比)	昨年に比べ新型コロナウイルス感染症の自粛ムードは緩和されたが、昨年より宿泊者、利用者共に減少した。また、支援事業の利用者が多く一般の利用者が少なかった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
6月、2月	健康推進事業(健康の集い)	各回健康に留意したテーマを設定し流水指導、体操、健康座学等を実施	一般	28人
7月1日	ハイルザーム栗駒感謝祭	毎年開催の創業祭。感染対策を施し、ディナーショー形式で開催	一般	48人
7月中旬～8月上旬	サマーファミリープラン	夏休みファミリー向けのリーズナブルプラン	一般	23人
10月15日、19日、22日	秋の世界谷地原生花園トレッキングプラン	世界谷地ガイド添乗プラン	一般	14人
11月16日	マドンナの休日	女性限定オーバーステイプラン	一般	37人
2月13日～18日	冬の5連泊プラン	5泊のリーズナブルプラン	一般	78人
2月18日	栗原の地酒を愉しむ会	栗原の蔵元厳選の日本酒の飲み比べプラン	一般	37人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物、設備の老朽化による不具合が年々増加してきている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症後の売上低迷による対応。</li> <li>・労働人口が減少、人材の確保(担い手不足)が課題。</li> <li>・物価の高騰への対応。利用料金への価格転嫁が課題。</li> <li>・施設規模が大きく、維持管理、施設経営が難しくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に伴い、突発的な修繕が発生していることから、これまで以上に、定期メンテナンスの徹底を図り、予防保全的な維持管理に努められたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、国内観光消費も回復し、インバウンド観光も回復してくる中、観光ニーズを的確にとらえた、誘客確保による経営改善に努められたい。</li> <li>・ホスピタリティーの高い接客を実現できる人材育成、人材確保に努められたい。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
部屋にカメムシが出て数匹駆除しました。	発生部屋を清掃時再チェック済。
部屋でもWi-Fiが使えるように検討してほしい。	Wi-Fi設置工事実施(栗原市施工)
地元の人間ですが、今までは洗面具(ハブラシ、カミソリ)がありました。設置されていませんでした。どうしてなのでしょう？	プラスチック削減法施行に伴う取組に関し、事前インフォメーション漏れ有り。予約確認時の案内徹底。
事前説明はありましたが、プールが使えなくて残念でした。	
食事は大変素晴らしい。内容を変え一品毎に工夫を凝らしクオリティの高さがあり感動。この料理に誘われて次回も来たい。お風呂も良い。	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	役職者を配置し管理運営。法定点検は専門業者へ委託し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	市や県が主催した講習会へ参加。内部講習を実施した。	B	継続した社内・社外研修を実施し、継続的な人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練の実施。夜間防災体制人員配置	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の記入と管理	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報資料及びデータの適切管理	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	市条例及び、指定管理協定並びに、事業計画に基づき主管課と連携推進	B	評価票等、期限内提出に努めること。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市条例及び、各種規定を厳守した管理運営	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡回管理と業者へ点検委託	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法令による設備の保守点検を委託実施	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	ゆめぐり通信、HP、SNS、DM、渉外活動による情報発信	B	ウェブサイト、SNSなどによる情報発信に取り組みさらなる誘客に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	アンケート用紙設置。内容精査し随時対応。施設要望については栗原市と協議	B	アンケート回収率を向上し、サービス向上に努めること。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	ソフト面の要望は内容精査し随時対応。苦情は迅速に即対応。施設要望は栗原市と協議	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	健康増進事業継続(内容随時更新)	B	施設コンセプトに基づく商品造成のほか、周辺観光事業者と連携した誘客推進に努めること。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの意見が多い	B	アンケートの回収率向上、結果の数値化を行い、サービス向上に努めること。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	収支としてマイナス	C	コロナウイルス感染症などマイナス要因があったが、創意工夫により増収を目指してほしい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	売上確保に務めた	B	栗原市観光の中心的存在として、市内観光事業者と連携した集客に努めること。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	C	支出に努力した	C	可能な範囲での経費縮減に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に処理。監査指摘なし	A		

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>・昨年同様感染防止対策を徹底し管理運営を行った。売上確保に向け、各種宿泊支援事業の他に、顧客に対しDMによる営業、自社ホームページだけでなくOTAでの販売を行い売上増収に努めたが結果として利用者は昨年より減、収支に関しても大幅なマイナスとなり、次年度以降に課題を残す結果となった。</p> <p>昨年度よりSNSの活用に関して不十分との指摘をいただき、本年度は改善することができた。</p>	C	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>昨年の経営統合による経営健全化計画に基づき、社員研修による人材育成や、仙台圏からの送迎バス再開、共同発注によるコスト削減など、経営改善に向けた取り組みを行っているとともに、OTAサイトを活用した販売に力を入れ顧客獲得も進めており、今後の誘客推進につながるものと期待している。</p> <p>一方で、これまで継続してきた支援策による施設利用者の利用が、今後大きく見込めないことから、観光ニーズを的確にとらえた誘客推進と、地域事業者と連携した滞在型観光の推進に力を入れ、さらなる誘客推進を図り、売り上げ向上につなげていただきたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市栗駒コテージ
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市栗駒コテージ		
施設所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東49番地		
設置年月	平成9年2月	設置根拠条例	栗原市栗駒コテージ条例
設置目的	栗駒山麓の豊かな自然の中で、自然と温泉を活用した健康づくりと福祉の増進及び地域の活性化に資すること。また、自然の中で健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ健康と福祉の増進及び地域の活性化に資することを目的とする。		
施設概要	面積	延床面積 417.26㎡、敷地面積 57,524㎡(ハイルザーム栗駒を含む)	
	構造	木造2階建	
施設内容	(施設内の設置室内容)		
	コテージ 木造2階建[7棟]		
休 館 日	なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	到着日の午後3時から利用最終日の午前11時まで。ただし、これを超える利用については別途延長料金により、最長利用最終日の午後1時まで延長することができる。 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり	
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1	
指 定 の 期 間	令和2年4月1日～令和5年3月31日 (3年間)		
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	134,490,000円(税込み) (3年間) ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ~ 令和2年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	244日	228日	244日	100.0%	107.0%
利用者数(延べ人数)	1,300人	1,726人	916人	70.5%	53.1%
利 用 料 金 収 入	6,070,000円	2,924,318円	4,570,245円	75.3%	156.3%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年は地熱開発業者の宿泊が1,131名有り。利用料金は全てホテル棟利用料金に計上した為、前年比として人数は減、収入は増となった。				



## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
自主事業なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>・建物、設備の老朽化による不具合が年々増加してきている。</p> <p>・「じゃらん」、アンケート等にカメムシによるクレームが多く、対策に苦慮している。</p>	<p>・施設の老朽化に伴い、突発的な修繕が発生していることから、これまで以上に、定期メンテナンスの徹底を図り、予防保全的な維持管理に努められたい。</p> <p>・コロナウイルス感染症が5類に移行され、国内観光消費も回復し、インバウンド観光も回復してくる中、観光ニーズを的確にとらえた、誘客確保による経営改善に努められたい。</p> <p>・ホスピタリティーの高い接客を実現できる人材育成、人材確保に努められたい。</p> <p>・害虫対策のための周辺環境整備に努めていただきたい。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
カメムシが大量発生し、駆除しました。	清掃時再確認、駆除。
部屋がかび臭かった。	カビ発生有無チェック済み。臭気チェック済
家族で初めて利用しました。天気もよく最高でした。	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	役職者を配置し管理運営、法定点検は専門業者へ委託し対応している。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	各講座への参加。会社の研修を実施。	B	継続した社内、社外研修を実施し、継続的な人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防訓練の実施。夜間防災体制人員配置	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の記入と管理	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報資料及びデータの適切管理	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	市条例及び、指定管理協定並びに、事業計画に基づき主管課と連携推進	B	評価票等、期限内提出に努めること。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市条例及び、各種規定を厳守した管理運営	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡回管理と業者へ点検委託	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法令による設備の保守点検を委託実施	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	ゆめぐり通信、HP、SNS、DM、渉外活動による情報発信	B	ウェブサイト、SNSなどによる情報発信に取り組みさらなる誘客に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート用紙設置。内容精査し随時対応	B	アンケート回収率を向上し、サービス向上に努めること。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望は内容精査し随時対応。苦情は迅速に即対応	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	新たな取り組みは実施できなかった。	B	施設コンセプトに基づく商品造成のほか、周辺観光事業者と連携した誘客推進に努めること。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの意見が多い	B	アンケートの回収率向上、結果の数値化を行い、サービス向上に努めること。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	収支としてはマイナス	C	コロナウイルス感染症などマイナス要因があったが、創意工夫により増収を目指してほしい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	平日の稼働率に関して改善が必要	B	栗原市観光の中心的存在として、市内観光事業者と連携した集客に努めること。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	抑制努めたが改善が必要	B	可能な範囲での経費削減に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に処理。監査指摘なし	A		

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>・昨年同様、コロナ禍中、お客様や従業員の安心安全を第一に、施設の感染防止対策を徹底し管理運営を行った。地域柄、カメムシ等の害虫が毎年大量に発生し、今年度も駆除に苦慮したが、利用料金は前年に対し、1,645千円(156.3%)増となった。</p>	B	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>昨年の経営統合による経営健全化計画に基づき、社員研修による人材育成や、ペット愛好家に向けた商品造成、共同発注によるコスト削減など、経営改善に向けた取り組みを行っているとともに、OTAサイトを活用した販売に力を入れ顧客獲得も進めており、今後の誘客推進につながるものと期待している。</p> <p>家族や友人などの複数名のグループでの利用が多いコテージについては、提供する商品として、BBQプランなどを提供することでさらなる高単価化が考えられますので、観光ニーズを的確にとらえた誘客推進と、地域事業者と連携した滞在型観光の推進に力を入れ、さらなる誘客推進を図り、売り上げ向上につなげていただきたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市金成温泉金成延年閣
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市金成温泉金成延年閣		
施設所在地	栗原市金成三沢32番地		
設置年月	平成3年11月	設置根拠条例	栗原市金成温泉金成延年閣条例
設置目的	市民の保養及び健康の増進並びに地域の活性化に資することを目的とする。		
施設概要	面積	温泉棟 延床面積2,227.71㎡、屋内ゲートボール場 延床面積575.81㎡ 敷地面積 25,624㎡	
	構造	温泉棟 鉄筋コンクリート造平屋建一部地下1階 屋内ゲートボール場 鉄骨造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内内容) ①温泉棟 1階 玄関、事務室、フロント、売店、食堂、厨房、大休憩室(250人)、小休憩室(2室30人)、小会議室(16人)、大浴場、露天風呂、サウナ、小浴場、便所、地下1階 休憩室1号(30人)、休憩室2号(50人)、休憩室3号(100人)、パントリー、便所 ②屋内ゲートボール場 ゲートボール場、便所 ③源泉 源泉2本 ④駐車場 敷地面積 3,000㎡	
休 館 日	無休 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	【温泉棟】午前7時から午後10時まで 【ゲートボール場】午前7時から午後5時まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり	
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1	
指定の期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)		
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	134,490,000円(税込み)(3年間) ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月～令和2年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	365日	365日	365日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	80,800人	79,012人	91,641人	113.4%	116.0%
利用料金収入	78,061,000円	56,025,764円	70,845,952円	90.8%	126.5%
主な増減要因 (前年比)	新型コロナウイルス感染症の自粛緩和傾向により利用者が増加しても、パンデミック前まで回復には至っていない。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月～令和5年3月	舞踊・神楽公演	舞踊団神楽団体による公演を24回実施	一般	1,620人
7月15日～16日	お座敷ビール祭り	大広間をビアホールとしたイベント	一般	196人
11月5日	感謝祭	創業日をお客様と共に祝うイベント	一般	82人
4月8日	第10回延年杯PG大会	主催のパークゴルフ大会	一般	67人
令和4年4月～令和5年3月	温泉バス	食事日帰りプラン10回開催	一般	112人
6月4日～6月10日	菖蒲湯	金風呂に菖蒲を入れた薬草風呂	一般	
7月17日～8月7日	うなぎ弁当販売	うなぎ弁当販売	一般	

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・築32年経過。老朽化による不具合が多発しており、リニューアルを含め考える必要があります。</li> <li>・サウナと家族風呂は、周辺の温泉施設にはない設備のため、大きな武器となるが、収容人数が少なく経年劣化も激しい。こちらも改修と拡張をする必要があると考えます。</li> <li>・原油をはじめとする諸物価の上昇による経費の増大(特に水道光熱費)。維持管理が抑えられる設備投資が必要と考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に伴い、突発的な修繕が発生していることから、これまで以上に、定期メンテナンスの徹底を図り、予防保全的な維持管理に努められたい。</li> <li>・コロナウイルス感染症が5類に移行され、国内観光消費も回復し、インバウンド観光も回復してくる中、観光ニーズを的確にとらえた、誘客確保による経営改善に努められたい。</li> <li>・ホスピタリティーの高い接客を実現できる人材育成、人材確保に努められたい。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
サウナの水風呂がほしい。	栗原市にお客様の要望を報告済み。改修について検討をお願いしている。(高付加価値化事業においても要望しております。)
刺青の利用者を注意してください。	刺青の方の入館についてご遠慮いただくよう表示しております。注意及び退出について法的に施設側での効力がある対応ができませんので、今後表示にてご遠慮いただくよう喚起してまいります。
館内が寒い。	ロビー・大広間の空調ファンの清掃を数回に渡り専門業者に依頼して対応し、いくらかの改善が見受けられたが、経年劣化により送風効率が落ちているため今後修繕が必要。
大浴場の露天側ガラスが汚れで外が見えない	カルキ等の付着物により曇っている。業者等に相談したが薬剤等の使用による除去はできないと回答されている。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	各部署に必要な最低限の人員を配置している。施設の点検等は専門業者へ委託。	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	研修は実施したが、新入社員の採用がなく後継者育成が出来なかった。	B	新規採用も重要ですが、継続した社内、社外研修を実施し、継続的な人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	緊急時に指示・対応できる責任者を置いている。また、避難訓練を実施している。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	各管理記録簿に記録・保管している。	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行われている。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づいて運営している。	B	評価票等、期限内提出に努めること。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	市の承認した内容に基づき運営している。	A		
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	チェックシートを用いて管理している。	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	修繕が必要な案件が発生した場合、速やかに担当課へ報告している。	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	法定点検の実施。専門業者へ点検を依頼。	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	館内掲示物や印刷物でインフォメーションしている。	B	ウェブサイト、SNSなどによる情報発信に取り組みさらなる誘客に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	館内ご意見箱を設置し、利用者の意見を収集している。	B	アンケート回収率を向上し、サービス向上に努めること。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	施設の修繕改修に関し即時対応できかねる要望が多い。	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	入浴以外にもポイントカードの押印の機会を増やすなど、利用者の利便性を図っている。	B	施設コンセプトに基づく商品造成のほか、周辺観光事業者と連携した誘客推進に努めること。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	概ね満足いただいている。	B	アンケートの回収率向上、結果の数値化を行い、サービス向上に努めること。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	施設で用意したユニフォームを着用している。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	営業損失を出し、計画が達成できなかった。	C	コロナウイルス感染症などマイナス要因があったが、創意工夫により増収を目指してほしい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	コロナ禍のニーズに対応した商品販売と、安全性をアピールし収入の創出に努めた。	B	栗原市の周遊観光の中心的存在として、市内観光事業者と連携した集客に努めること。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	削減案を話し合い、徹底した経費削減を行った。	B	可能な範囲での経費削減に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	会計事務所の指導を守り、監査においても特段の指摘はなかった。	A		

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルスによる自粛は緩和傾向にあり、昨年に比べ利用者が増えたが、コロナ禍前までの水準に回復するにはいたらなかった。昨年同様持ち帰り弁当やお膳対応の実施、コロナ禍で昨年実施できなかった自主事業を実施したものの収支はプラスとすることができなかった。日帰りの休憩室、家族風呂のインターネットによる予約販売など新たな取り組みを実施し集客に努めたが収支はマイナスと厳しい運営となった。	B	<施設所管課の所見> 昨年の経営統合による経営健全化計画に基づき、社員研修による人材育成や、共同発注によるコスト削減など、経営改善に向けた取り組みを行っているとともに、コロナ禍で中止していたイベントの再開などに力を入れ顧客獲得も進めており、今後の誘客推進につながるものと期待している。 金成延年閣は昨年入館者50万人を達成しており、利用者数も伸びていることから、提供する商品を工夫することにより、高単価化につながると考えられますので、観光ニーズを的確にとらえた誘客推進と、地域事業者と連携した滞在型観光の推進に力を入れ、さらなる誘客推進を図り、売り上げ向上につなげていただきたい。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市花山温泉 温湯山荘
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市花山温泉 温湯山荘		
施設所在地	栗原市花山字本沢温湯15-1		
設置年月	平成 8年 7月	設置根拠条例	栗原市花山温泉温湯山荘条例
設置目的	温泉利用による健康保持及び観光産業の創出による地域振興を図るため		
施設概要	面積	2,495.00㎡	
	構造	RC造 地下1階 地上3階	
	施設内容	建築面積 : 1315.50㎡ 延床免責 : 2597.29㎡	
休 館 日	なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	日帰りの場合、午前10時から午後6時まで 宿泊の場合、午後3時から利用最終日の午前10時まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	別紙資料のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日～令和5年3月31日 (3年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	134,490,000円(税込み) (3年間) ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、 温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月 ~ 令和2年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	365日	365日	365日	100.0%	100.0%
利用者数(延べ人数)	21,890人	17,447人	18,767人	85.7%	107.6%
利 用 料 金 収 入	117,000,000円	107,597,097円	115,286,105円	98.5%	107.1%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用人数が前年比で1,320人増加(107%)。前年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用自粛の波があった。宿泊利用は前年比280人減(96%) 栗原市内1,258人減(78%)とGO湯くりはらの割引率、実施期間の縮小が影響した。日帰り利用は前年比1,600人増(116%)でした。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
7月9日	くりはらの銘酒と花山のそばを愉しむゆうべ	地酒の飲み比べと手打ちそばを味わうイベント	一般	17名
12月4日	年忘れ舞踊ショー	錦兄弟による舞踊ショー	一般	34名
1月22日	新春舞踊ショー	ともえ座による舞踊ショー	一般	64名
3月12日	春の舞踊ショー	武田姉弟による舞踊ショー	一般	41名
毎月26日	ふろの日	入浴料金割引(大人350円 小人150円)	一般	507名

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化による不具合箇所が生じていることから日頃の点検と計画的な修繕が必要。</li> <li>新型コロナウイルス予防措置と誘客による収入確保の両立が課題と考えている。</li> <li>水道光熱費等の物価高騰に対する対応(支出の抑制)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴い、突発的な修繕が発生していることから、これまで以上に、定期メンテナンスの徹底を図り、予防保全的な維持管理に努められたい。</li> <li>・コロナウイルス感染症が5類に移行され、国内観光消費も回復し、インバウンド観光も回復してくる中、観光ニーズを的確にとらえた、誘客確保による経営改善に努められたい。</li> <li>・ホスピタリティーの高い接客を実現できる人材育成、人材確保に努められたい。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
洋室を北側から南側にして欲しい。部屋が暗い。	洋室の景観を説明し、南側希望者には簡易ベットを案内しています。 また、洋室に照明用の電気スタンドを設置しております。
はめ殺し部の窓が汚れています(3階客室窓)	届く範囲で清掃実施、高所作業なので清掃業者へ窓清掃委託
客室でWi-Fiが使えないのは何故？全室で使えるのが普通です。	8月にWi-Fi設置工事を実施(栗原市施行)
何故、歯ブラシ等を外したのですか 残念でした。	SDGSの取り組みを予約時に説明しております。
館内の暖房温度がもっと高くなるようにしてください。	経年劣化により空調設備の能力が低下。客室へ電気ヒーターを設置して対応してきました。
従業員の対応や館内清掃、温泉、料理については概ね好評の意見を頂いております。	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	法定点検は専門業者へ委託し対応している	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	市や県が主催した講習会へ参加。内部講習を実施した	B	継続した社内、社外研修を実施し、継続的な人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練(年2回)実施	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	管理記録の記入と保管	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	条例に従った対応	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	異常時は担当課、担当者へ報告	B	評価票等、期限内提出に努めること。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例に従った対応	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡回管理と業者へ点検委託	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	随時、担当課へ報告し対応	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者へ委託し管理	A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請時には迅速に対応	B	ウェブサイト、SNSなどによる情報発信に取り組みさらなる誘客に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	アンケート用紙を設置	B	アンケート回収率を向上し、サービス向上に努めること。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	随時対応	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	「ふろの日」サービスの継続	B	施設コンセプトに基づく商品造成のほか、周辺観光事業者と連携した誘客推進に努めること。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足できたとの感想が多い	B	アンケートの回収率向上、結果の数値化を行い、サービス向上に努めること。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	アンケートにおいて従業員対応について高評価を得ている	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	収支がマイナスとなった。	C	コロナウイルス感染症などマイナス要因があったが、創意工夫により増収を目指してほしい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	コロナ禍の中において舞踊ショーなど、積極的な誘客活動は自粛した	B	栗原市観光の中心的存在として、市内観光事業者と連携した集客に努めること。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	支出を抑える努力した	B	可能な範囲での経費縮減に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A		

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>宿泊人数は前年より減少。特に前年利用した栗原市内の利用者が減少したが、みやぎ宿泊割旅行支援は、期間延長や割引対象が全国に拡大し栗原市以外の利用者が増加した。本年度も宿泊支援に依存する営業となった。支出に関しては水道光熱費特に電気代の高騰、食材費の値上げがあり厳しい1年となった。</p>	B	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>昨年の経営統合による経営健全化計画に基づき、社員研修による人材育成や、仙台圏からの送迎バス再開、共同発注によるコスト削減など、経営改善に向けた取り組みを行っているとともに、OTAサイトを活用した販売に力を入れ顧客獲得も進めており、今後の誘客推進につながるものと期待している。一方で、宿泊料金などの高単価化を進める中で、アメニティーの充実も大切な要素の一つと考えられることから、利用者の満足度向上に向けた商品造成も必要になってくると考えます。これまで続けてきた支援策による施設利用者の利用が、今後大きく見込めないことから、観光ニーズを的確にとらえた誘客推進と、地域事業者と連携した滞在型観光の推進に力を入れ、さらなる誘客推進を図り、売り上げ向上につなげていただきたい。</p>



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設名称	栗原市花山青少年旅行村
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市花山青少年旅行村		
施設所在地	栗原市花山字本沢稲干場2-1		
設置年月	昭和48年4月	設置根拠条例	栗原市花山少年旅行村条例
設置目的	青少年の健全な旅行を推奨するとともに、地域の振興を図り、もって地域住民の福利向上に資することを目的とする。		
施設概要	面積	管理棟 延床面積 180.76㎡、コテージ 延床面積 48.86㎡×8棟 敷地面積 47.063㎡	
	構造	管理棟 木造2階建 コテージ 木造平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内内容) ①管理棟 事務室、会議室 ②コテージ 8棟 ③集会棟 1棟 ④シャワー棟 1棟 ⑤炊事場 1棟 ⑥便所 1棟 ⑦四阿	
休館日	11月16日から3月31日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開館時間	キャンプ場 日帰りの場合、午前9時から午後5時まで 宿泊の場合、午前11時から利用最終日の午前10時まで コテージ 午後2時から利用最終日の午前10時まで 雨天集会場 午前9時から午後10時まで 運動広場 午前9時から午後5時まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり	
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1	
指定の期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)		
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	134,490,000円(税込み)(3年間) ※ハイルザーム栗駒、栗駒コテージ、金成延年閣、 温湯山荘、花山少年旅行村の5施設一括

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年4月～令和2年3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	H21,26,29更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和2年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開館日数	244日	244日	365日	149.6%	149.6%
利用者数(延べ人数)	7,000人	6,855人	7,258人	103.7%	105.9%
利用料金収入	8,295,000円	8,244,450円	9,512,621円	114.7%	115.4%
主な増減要因 (前年比)	本年度も、近年のキャンプブームによる利用者増加に伴う利用が増えた。 また、冬キャンプについて試験的に実施し、営業日が増加。期間中の利用者は319名。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
9月10日、11月12日	キャンプファイヤーコンサ	ジョイス・リンダミニコンサート	一般	94人
4月～11月	ポケモンボート	ラプラスボート乗舟	一般	584人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
<p>今年度は予定の自主事業について新型コロナウイルスの影響により実施することが出来なかった。</p> <p>9月には団体貸切による利用により収入が増となったものの昨年より収支は減となる。今後冬期期間の営業及び、周辺競合施設との差別化を図り誘客が必要。</p>	<p>・施設の老朽化に伴い、突発的な修繕が発生していることから、これまで以上に、定期メンテナンスの徹底を図り、予防保全的な維持管理に努められたい。</p> <p>・コロナウイルス感染症が5類に移行され、国内観光消費も回復し、インバウンド観光も回復してくる中、観光ニーズを的確にとらえた、誘客確保による経営改善に努められたい。</p> <p>・これまで以上に、ホスピタリティーの高い接客を実現できる人材育成、人材確保に努められたい。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
コテージに浴槽が欲しい。	栗原市と協議いたします。
コテージ7号棟の駐車スペースが狭い。	現場を確認して対応を検討中。
就寝時間までカメムシが落ちてきた。	カメムシ撃退対策(周波数装置)設置

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	利用者増の為、当初人員より増となった	A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	C	研修実施に至らなかった。	C	社内、社外研修を実施し、継続的な人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切な環境整備を実施した。	A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切な書類整備を実施した	A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切な取り扱いをした。	A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令順守し、栗原市と定期的に連絡を取って管理・運営をした	B	評価票等、期限内提出に努めること。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例、利用料金を遵守した	A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	環境整備実施した	A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	設備、備品を適切に利用した	A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	B	一部検査について未実施の点検があった	B	各種点検等を確実に実施されたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適切に実施した	B	ウェブサイト、SNSなどによる情報発信に取り組みさらなる誘客に努めていただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	適切に対応した。	A	適正であると認めます。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望にできうる限り対応した	A	適正であると認めます。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	快適利用できるように環境整備に取り組んだ。	A	適正であると認めます。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	得られた。	A	適正であると認めます。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切に対応した。	A	適正であると認めます。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	S	利用収入が計画以上となり、収支についてもプラスとなった	S		
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	すべての自主事業を実施するに至らなかった。	B	新たな自主事業の実施を期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	適切に実施した	A	可能な範囲での経費縮減に努めていただきたい。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切に処理した	A		

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>本年度増収となったが、利用者増加に伴う受入れ対応業務、清掃業務、維持管理業務において人件費が増加、施設責任者の変更(所長)による引継ぎ期間の為、予定より人員が増えてしまった。維持管理にかかる各種機器の購入もあり経費が増加した。環境整備に努め付加価値の高い施設運営に努め、利用者の満足度が増大したとアンケート結果においても、今後は、アフターコロナにむけて自主事業についてさらに実施し付加価値を高めてまいります。</p>	A	<p>コロナ禍により、自然観光への関心が高まる中で、自然景観やホスピタリティーの高い接客により、継続した利用者の確保につながっている。</p> <p>最近のキャンプニーズの一つでもある「手ぶらキャンプ」などに対応可能な、キャンプ場での食材提供などを事前予約制で実施することにより、さらなる高単価化につながると考えられますので、観光ニーズを的確にとらえた誘客推進と、地域事業者と連携した滞在型観光の推進に力を入れ、さらなる誘客推進を図り、売り上げ向上につなげていただきたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市スワントピア交流館
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市スワントピア交流館		
施設 所 在 地	栗原市築館字横須賀養田18番地		
設 置 年 月	平成元年7月	設置根拠条例	栗原市スワントピア交流館条例
設 置 目 的	伊豆沼・内沼の自然観察及び自然教育に資するとともに、来訪者と地域住民との交流の場とすることを目的とする。		
施設 概 要	面 積	延床面積 101.25㎡、敷地面積 3,557㎡	
	構 造	木造ログハウス式平屋建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 交流室、ホワイエ、喫茶室、トイレ	
休 館 日	月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たる日を除く。) 休日の翌日(土曜日又は日曜日に当たる日を除く。) ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時 ~ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	月額16,230円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	内沼観光物産協議会		
	事務所所在地	栗原市築館字横須賀養田18番地		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	4,340,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成8年4月 ~ 平成18年8月	管理委託	内沼観光物産協議会	
平成18年9月 ~ 平成31年3月	指定管理	内沼観光物産協議会	H21,H26更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (4年度)	前年度 (3年度)	評価対象年度 (4年度)		
開 館 日 数	305日	306日	214日	70.2%	69.9%
利用者数(延べ人数)	1,000人	600人	1,370人	137.0%	228.3%
利 用 料 金 収 入	180,000円	180,000円	120,000円	66.7%	66.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	3月に発生した地震の影響により、建造物の一部損壊により、約4ヶ月閉館したことにより、利用者の減少はあったものの、喫茶室の一部営業再開により、利用者数の増となっている。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
施設の老朽化により、蝙蝠が住み着いており、対策が講じられていない。	蝙蝠について、施設の老朽化によりログ材の収縮で隙間が発生していることが原因と思われるため、対策を協議する必要がある。 今後も計画的な修繕に努めたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特になし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	協定書に基づき適正に、管理運営を行っている。	A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A		A	適正であると認めます。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A		A	適正であると認めます。	
(2) 施設管理の状況	A	協定書に基づき適正に、管理運営を行っている。	A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A		A	適正であると認めます。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		B		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A		A	適正であると認めます。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	記入者がいない	B	アンケートを実施しにくい環境であるが記入される工夫を検討されたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	記入者がいない	B	アンケートを実施しにくい環境であるが記入される工夫を検討されたい。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B		B	喫茶室へのテナント募集を行い、飲食店開店に至っている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	記入者がいない	B	アンケートを実施しにくい環境であるが記入される工夫を検討されたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	常駐者は存在しない	B		
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A		A	適正であると認めます。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A		A	飲食スペースへのテナント入居の取り組みがあった。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A		A	適正であると認めます。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A		A	適正であると認めます。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<指定管理者の所見> 定期的に、環境整備を実施している。	B	<施設所管課の所見> 施設管理、環境整備については、常駐者はいないものの、隣接する昆虫館の管理者である、くりはらツーリズムネットワークとの連携の下、適正に管理されている。 また、令和3年度に閉店した飲食スペースへのテナント募集を進め、新たな飲食店の出店に至っており、自主財源の確保についても努力されている点などについて、高く評価している。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館
施設所管部署名	商工観光部田園観光課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館		
施設 所 在 地	栗原市築館字横須賀養田20番地1		
設 置 年 月	平成5年7月	設置根拠条例	栗原市サンクチュアリセンターつきだて館条例
設 置 目 的	人間と野生動植物とが共存できる優れた自然環境としてのサンクチュアリの創造及び市民の自然保護思想の向上に資することを目的とする。		
施設 概 要	面 積	延床面積 465.24㎡、敷地面積 3,557㎡	
	構 造	管理棟 木造地上2階建	
	施設内容	(施設内の設置室内容) 事務室、展示室、シアター室、男子・女子トイレ	
休 館 日	月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たる日を除く。) 休日の翌日(土曜日又は日曜日に当たる日を除く。) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時 ~ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input checked="" type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	施設利用料金設定なし ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク		
	事務所所在地	栗原市若柳字上畑岡敷味45番地		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	37,520,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成21年4月 ~ 平成26年3月	指定管理	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	
平成26年4月 ~ 平成31年3月	指定管理	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (4年度)	前年度 (3年度)	評価対象年度 (4年度)		
開 館 日 数	302日	275日	300日	99.3%	109.1%
利用者数(延べ人数)	10,000人	10,791人	10,771人	107.7%	99.8%
利 用 料 金 収 入					
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	令和4年7月15日からの豪雨災害により、伊豆沼・内沼のハスが被害を受け、「伊豆沼・内沼はすまつり」が開催中止になった影響から、来館者数が減少しました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月1日～令和5年3月31日	Facebook企画「おしえて！むかつち コレ なあ～に？」	見つけた昆虫のなまえが分からないとき、むかい＊いきもの研究所のむかつち博士(向井康夫博士)に相談し、Facebook上で回答を公開するもの。	一般・子ども	3人
令和4年4月3日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	13人
令和4年4月28日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	4組8人
令和4年5月1日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	23人
令和4年5月26日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	5組11人
令和4年6月5日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	21人
令和4年6月30日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	3組6人
令和4年6月5日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	21人
令和4年7月2日	さくらんぼライド	昆虫館を起点にしたサイクリング	一般	3人
令和4年7月3日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	13人
令和4年7月16日～10月28日	カブトムシ・クワガタムシの生体展示	カブトムシ・クワガタムシと自由に触れ合える成体展示	一般・子ども	
令和4年7月21日～8月23日	紙のこんちゅう採集	折り紙で作った昆虫を展示し、捕まえた紙の昆虫をプレゼント	一般・子ども	
令和4年7月28日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	3組7人
令和4年8月7日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	11人
令和4年8月25日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	2組4人
令和4年9月11日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	10人
令和4年9月29日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	1組2人
令和4年10月2日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	9人
令和4年10月20日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	3組6人
令和4年10月22日	アドベンチャーサイクリング「晩秋の花山・紅葉ライド」	昆虫館を起点にしたサイクリング	一般	3人
令和4年10月20日	アドベンチャーサイクリング「晩秋の花山・紅葉ライド」	昆虫館を起点にしたサイクリング	一般	4人
令和4年11月1日	アドベンチャーサイクリング「マガンのおぐら入りライド」	昆虫館を起点に自転車マガンのおぐら入りを観察	一般	2人
令和4年11月6日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	21人
令和4年11月16日	幸運を呼ぶ香りのお守り「オレンジポマンダー」	オレンジとスパイスを使った香り玉づくり	一般	8人
令和4年11月29日	癒しの灯り「ひょうたんランプ」	ひょうたんを材料にランプシェードを作成	一般	16人
令和4年12月11日	麦わらオーナメント「ストロースター」	麦わらを材料にしたストロースター作りの体験	一般	5人
令和4年12月15日	おやこでおんがくたいけんクリスマスコンサート	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	6組13人
令和4年12月24日～令和5年1月9日	紙のこんちゅう採集	折り紙で作った昆虫を展示し、捕まえた紙の昆虫をプレゼント	一般・子ども	
令和4年12月25日	薬文化ワークショップ「しめ飾り」	稲わらを材料にしたしめ飾りづくりの体験	一般	14人
令和4年12月28日	薬文化ワークショップ「しめ飾り」	稲わらを材料にしたしめ飾りづくりの体験	一般	9人
令和5年1月8日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	26人
令和5年1月19日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	8組16人
令和5年2月5日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	16人
令和5年3月25日～3月31日	紙のこんちゅう採集	折り紙で作った昆虫を展示し、捕まえた紙の昆虫をプレゼント	一般・子ども	
令和5年2月26日	ごみ拾いハイキング	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃しながらハイキング	一般	8人
令和5年3月5日	CLEAN WETLANDS Project日曜日のゴミ拾い	昆虫館を起点に伊豆沼・内沼をゴミ拾いして清掃	一般・子ども	17人
令和5年3月16日	おやこでおんがくたいけん	ピアノの伴奏に歌や手遊びで音楽に親子で親しむ体験	親子(未就学児)	6組12人
令和5年3月25日～3月31日	紙のこんちゅう採集	折り紙で作った昆虫を展示し、捕まえた紙の昆虫をプレゼント	一般・子ども	

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>・床の損傷、屋根の塗装の劣化など、施設の老朽化が進んでいるため。また、2022年福島県沖地震の被害により、さらに施設の破損が発生し、雨漏りカ所も多くなっている。利用者の安全の確保や施設の維持の観点から修繕が必要と考えています。</p> <p>・シアタールームのコンテンツ(動画)が古くなり、情報の更新やコンテンツの魅力の向上が必要となっており、シアタールームの機能を含めて更新が必要と考えています。</p>	<p>・施設の老朽化による雨漏りの発生等、修繕を必要とする箇所が複数ある。特に昆虫標本の適正な保存・管理の観点から、屋根の修復は急務であると考えられる。</p> <p>・シアタールームの映像に関しては、更新とその方針について検討したい。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
特に意見や苦情等は無し。	来館者から苦情が発生することが無いように、引き続き適切に運営していきます。
見学に来た小学生から壁新聞や手紙などで御礼が届いています。	レクチャールームに子どもたちから届いた意見や感想、御礼の掲示物を展示しています。



8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者を計画どおり適切に配置しているか。	S	平均1.5人以上の配置により適切に運営した。	S	必要人員が配置され、展示物等の説明が適切にされている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	専門家による勉強会や応急手当講習等により人材育成に努めた。	A	応急手当、リスクマネジメントの資格を更新し、安全管理に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	日常業務で点検等を実施し、また適切な連絡体制を確保した。	A	怪我・事故等の初期対応について学ぶ機会を設けている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	業務日誌を記録した。	A	業務日誌が整備され、適切に保管されている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	基本的に個人情報を収集しない対応とした。	A	取り扱い及び保護の対策が適切に行われている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定書に基づいた管理・運営を行った。	A	協定書に基づき管理・運営が行われている。	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守して運営した。	A	承認内容に基づいた管理・運営がされている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	日常で清掃を実施し、また法令に従って設備の保守点検を実施した。	A	適正に各種法定点検及び清掃がされている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	日常で点検を実施し、修繕対応を行った。	A	市と協議したうえで、適正に修繕がされている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	外部の専門事業者に委託し実施した。	A	必要に応じ各種点検が行われている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ウェブサイト、SNSにより利用案内をPRした。	S	SNSを用いた積極的な情報提供がされている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	館内での利用者からの聴き取りやウェブサイト・SNSにより意見等を収集し、適切に対応した。	B	アンケートは実施していないが、利用者の意見の収集に努めている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	特に要望、苦情等が無かった。	A	要望や苦情はなく、適切な管理・運営がされている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	施設の利用を多様化するため、新たな取り組みを多数実施した。	S	新たな自主事業を複数展開し、年間を通じた集客に努めている。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られた。	A	利用者の手紙から、高い満足度が提供されている。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	利用者を自然体で迎えるため、普段着での従事としたが好評だった。	A	清潔感のある服装で丁寧な説明がされている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		B		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	施設管理の経費は増加しているが、利用が多様化しているため、現段階では妥当と評価している。	A	幅広いニーズに対応し、休憩場所や学びの場が提供されている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	販売コーナー、自主事業の実施のほか、敷地内の施設との連携により収入確保に努めた。	S	施設入口での地場産品の常設販売等、積極的な収入増に努めている。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	感染防止、暑さ対策の観点から換気を多くしており、そのため冷暖房費が増加している。	B	必要経費をかけながらも経費の縮減に努めている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	指定管理業務の適切な諸帳簿の管理を実施する。	B	指定管理専用口座を作成し、適正な帳簿管理に努めていただきたい。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7月15日からの豪雨災害により、伊豆沼・内沼のハスが被害を受け、「伊豆沼・内沼はすまつり」が開催中止になった影響から、前年度と比較して来館者数が0.2%減少しました。7月は対前年比70.9%、8月は対前年比59.4%の来館者にとどまりました。</li> <li>・SNSを活用して外部の専門家と連携したサービスを実施した。学芸員がいないミュージアムの運営の工夫として継続して実施する。</li> <li>・夏にカブトムシ、クワガタムシの生体を展示し、多くの来館者から好評だった。</li> <li>・団体の見学は29団体793人で、独自に企画した見学プログラムが好評だった。</li> <li>・敷地内の栗原市スワントピア交流館を内沼観光物産協議会から賃貸し利用を開始し、施設の相互利用に努めた。</li> <li>・施設を起点（拠点）にしたイベントを数多く実施し、施設のPRとともに、伊豆沼・内沼の自然環境の保全について広く啓発することができた。特に「CLEAN WETLANDS Project 日曜日のゴミ拾い」は、伊豆沼・内沼における持続的な自然保護とその啓発に貢献できる取り組みとなっている。</li> </ul>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>豪雨災害の影響による「伊豆沼・内沼」ハスマつり開催中止の影響により、施設利用者は微減したものの、外部の専門家を招いた定期的イベントの開催や、各種見学プログラムの企画・立案など、活発かつ積極的な自主事業を複数展開し、年間での集客に努めている。</p> <p>また、伊豆沼・内沼の環境保全に対し、多様な関係者が関わり保全していく仕組みとして「日曜日のゴミ拾い」を開催するなど環境保全への意識を高く持ち行動するとともに、啓発活動にも注力している点について、高く評価する。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	若柳川北交流広場管理棟
施設所管部署名	建設部都市計画課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	若柳川北交流広場管理棟						
施設所在地	栗原市若柳字川北中町1番地						
設置年月	平成19年4月	設置根拠条例	栗原市公園条例				
設置目的	商店街の活性化と交流促進による賑わいのある市街地の創造のため						
施設概要	面積	延床面積 87.48㎡、敷地面積 1,769㎡					
	構造	コンクリート造					
	施設内容	ホール、管理室					
休 館 日	12月29日～1月3日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
開 館 時 間	午前9時00分 ～ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ					
	設定金額	利用時間	午前9時から 正午まで	正午から 午後5時まで	午後5時から 午後10時まで	全日 (午前9時から 午後10時まで)	
		室名	ホール	1,000円	1,250円	1,500円	3,500円
		管理室	500円	750円	1,000円	2,000円	
※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	栗原市若柳中町自治会			
	事務所所在地	栗原市若柳字川北中町32番地7			
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)				
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	円 ( 年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成19年7月～平成19年10月	管理委託	栗原市若柳中町自治会	
平成19年11月～平成31年3月	指定管理	栗原市若柳中町自治会	H22.H26更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	20日	16日	19日	95.0%	118.8%
利用者数(延べ人数)	150人	150人	182人	121.3%	121.3%
利 用 料 金 収 入	22,000円	22,500円	22,500円	102.3%	100.0%
主 な 増 減 要 因 ( 前 年 比 )	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度並みの利用者数となった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年劣化により、様々な箇所の修理を要している。	建築から10年以上経過していることから、施設修繕箇所が年々増加してきている。指定管理の協定書にもとづき、指定管理者で対応出来るものについては、引き続き対応いただき、経年劣化や大規模な修繕が必要な場合は、協議の上判断する必要がある。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
台所水栓レバーから水漏れが発生している。	自治会にて修繕対応予定。
女子トイレから水漏れが発生している。	市で修繕予定。
蛍光灯がつかない。	自治会にて修繕対応予定。
台所IHクッキングヒーターがつかない。	市で修繕予定。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A		
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	会員に有資格者がおり、修繕時に役立っている	A	事業計画書に基づいた適正な配置であることを確認した	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	利用の殆どが中町自治会であり、お互いに気を付けながら施設を利用している	A	事業計画書に基づいた適正な運営であることを確認した	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適切に行っている	A	事業計画書に基づいた適正な運営であることを確認した	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に行っている	A	事業計画書に基づいた適正な管理であることを確認した	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に行っている	A	事業計画書に基づいた適正な管理・運営であることを確認した	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に従って管理・運営をしている	A	事業計画書に基づいた適正な管理・運営であることを確認した	
(2) 施設管理の状況	A		A		
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	遵守している	A	事業計画書に基づいた適正な利用料金であったことを確認した	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	良好な環境維持に努めている	A	事業計画書に基づいた適正な管理であることを確認した	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	破損報告があった場合、即修繕対応を行っている	A	事業計画書に基づいた適正な管理であることを確認した	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	適切に行っている	A	事業計画書に基づいた適正な管理であることを確認した	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A		A		
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適切に行っている	A	事業計画書に基づいた適正な運営であることを確認した	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者にはヒアリングを行い、意見を取り入れている	A	事業計画書に基づいた適正な運営であることを確認した	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	利用者同士顔見知りが多く、要望等には迅速に対応している	A	事業計画書に基づいた適正な運営であることを確認した	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	コロナの影響もあり、取り組みは行っていない	B	中町自治会での使用を主にしているが、他の利用者も快適に使用できるよう対応すること	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	苦情等があった場合は、すぐに解消するようにしている	A	事業計画書に基づいた適正な管理・運営であることを確認した	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である	A	事業計画書に基づいた適正な管理・運営であることを確認した	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A		A		
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	妥当であると考える	A	事業計画書に基づいた適正な管理・運営であることを確認した	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	コロナの影響もあり、取り組みは行っていない	—	中町自治会での使用を主に想定しているため、評価対象としていない	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	B	電気料金の値上がり影響しているのか、前年度よりも若干上昇している。	B	引き続き利用者に対し、節電・節水を呼びかけること	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正に行われている	A	事業計画書に基づいた適正な管理・運営であることを確認した	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>管理棟内の清掃・禁煙等を行い、館内の美化に努めている。                      コロナ禍も影響しているため、昨年度並みの利用者数であるが、引き続き利用者に対し節電・節水を促す。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>管理棟や芝生について、清掃及び草刈りが適切に行われており、良好な環境が維持されている。引き続き同様の管理をお願いするもの。                      引き続きコロナ禍ではあるが、光熱水費が過度に増加しないよう、利用者に対し節電と節水を促し、経費節減に努めていただきたい。</p>

## 別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市築館B&G海洋センター体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市築館B&G海洋センター体育館		
施設 所 在 地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設 置 年 月	昭和57年2月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 1,102.0㎡ 敷地面積 9,986.0㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	アリーナ、事務室、会議室、更衣室、トイレ、器具庫、機械室	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	203,710,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	283日	308日	100.0%	108.8%
利用者数(延べ人数)	13,500人	13,437人	14,957人	110.8%	111.3%
利 用 料 金 収 入	150,000円	145,210円	220,300円	146.9%	151.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館等が無く、通常通りの営業を行えたため利用者数・利用料金収入が増加した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月2回	サッカースクール(共催)	幼稚園年長から小学生を対象としたサッカー教室	幼稚園～小学生	延べ1,440名
8月20日	物品販売(飲料水)	施設利用者へ飲料水を販売	施設利用者	
2月26日	スポーツ講演会(若柳)	市民(スポーツ指導者)を対象にした講演会	栗原市民	81名

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
施設の経年劣化による維持補修費が年々増加している。	施設の経年劣化による維持補修については、利用者の安全を保持できるよう対応したい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	サッカー教室を定期的に開催している	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られている判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	アンケート回答はなかったものの利用者との積極的なコミュニケーションが図られたと判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが事業計画を達成できた。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	サッカー教室を通年で開講している	B	屋間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費削減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館が無く通常通りの営業を行えたため、利用人数・利用料収入ともに事業計画と比較してそれぞれ10.8%、46.9%の増加となった。自主事業の開催や利用の少ない昼間の時間帯へ利用を誘導するなどを行い、施設の利用促進を図っていきたい。	A	<施設所管課の所見> コロナ禍においても、3密を回避しながら衛生面の徹底を図り運営し、年間で利用者約1,500人増、料金収入約75千円増となった。また、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図りたい。

## 別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市築館体育センター
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市築館体育センター		
施設 所 在 地	栗原市築館高田二丁目8番12号		
設 置 年 月	昭和57年9月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 1,312.0㎡ 敷地面積 5,506.0㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	アリーナ、事務室、会議室(和室)、更衣室、トイレ、器具庫、ステージ	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	203,710,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	269日	189日	61.4%	70.3%
利用者数(延べ人数)	10,500人	10,422人	9,171人	87.3%	88.0%
利 用 料 金 収 入	150,000円	157,760	111,200	74.1%	70.5%
主 な 増 減 要 因 ( 前 年 比 )	3月に発生した地震で被害を受け、休館したため、利用者数・利用料金収入ともに減少した。				



## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
電気料金の高騰が大きな負担となっている。	経費の縮減に取り組んでいるものの、電気料金が年間で約46万円の増となるなど、施設を維持管理するうえで、電気料金の高騰が大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送った。	B	コロナ禍のため、やむを得ないと判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	B	屋間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	接遇研修会を開催して接客力向上を図った。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	計画の内容と下回ったが、更に改善に取り組みたい。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。	B	今後の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>3月に発生した地震により被害を受け、8月上旬まで休館したため事業計画と比較して利用者数12.7%減、利用料金収入は25.9%の減となってしまった。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の防止策が緩和され利用が増えることが予想される。自主事業の開催や周知活動に努めて利用状況の改善を図りたい。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>体育館の地震被害が大きく、復旧工事に時間を要したが、利用者に対するウェブでの情報発信等は迅速であり適正と判断する。また、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図りたい。</p>

## 別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市築館野球場
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市築館野球場		
施設 所 在 地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設 置 年 月	昭和53年度	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 187.9㎡(管理棟) 敷地面積 24,910.0㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メイン球場1面、サブ球場1面、スタンド(管理棟)、放送設備	
休 館 日	月曜日、12月1日から翌年の2月末日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	203,710,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和3年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	235日	125日	235日	100.0%	188.0%
利用者数(延べ人数)	11,000人	10,416人	16,182人	147.1%	155.4%
利 用 料 金 収 入	300,000円	246,490円	408,130円	136.0%	165.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館等が無く、通常通りの営業を行えたことにより収入・利用者数は増加した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
11月9日	グラウンド・ゴルフ秋季大会	グラウンドゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	125名

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の経年劣化により光熱費の負担が年々増加している。</li> <li>・大会利用時に駐車場の台数が不足、路上駐車などが年々増加している。</li> </ul>	ナイター照明にかかる電気料金の高騰が大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。また、駐車場については、限られた駐車台数のため、大会等を開催する場合には、参加者に対し乗り合わせ等での来場を促すよう説明されたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	新規事業としてグラウンド・ゴルフ大会を開催した	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られている判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	アンケート回答はなかったものの利用者との積極的なコミュニケーションが図られたと判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる器具備品の整理整頓に努める	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られている判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが事業計画を達成できた。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	新規自主事業を開催した	A	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館が無く通常通りの営業を行えたことや新たにグラウンド・ゴルフ大会を開催したことなどから、利用人数・利用料収入ともに事業計画と比較してそれぞれ47.1%、36.0%の増加となった。 今後も自主事業の開催や東北大会規模の大会の誘致・定着で利用増加を維持できるよう努めたい。	A	<施設所管課の所見> 年間で、利用者約5,700人増、利用料金16万円の増となりコロナ禍前の状況に回復しつつある。また、業務委託費など経費の縮減に努めていることは評価できる。日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図られたい。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市築館陸上競技場
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市築館陸上競技場		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	平成3年度	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 267.0㎡(管理棟) 敷地面積 38,000.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	トラック(全天候型走路8コース、第3種公認)、フィールド(天然芝生)、補助競技場(全天候型100m直線路6コース、150mトラック5コース)、管理棟、メインスタンド、器具庫	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	203,710,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月 ~ 平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月 ~ 令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	H28更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	210日	308日	100.0%	146.7%
利用者数(延べ人数)	16,000人	16,544人	15,864人	99.2%	95.9%
利 用 料 金 収 入	800,000円	771,010円	1,009,060円	126.1%	130.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館等が無く、通常通りの営業を行えたため利用料金収入は増加したが、荒天により大規模大会が中止になったため利用者数は減少した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
6月2日	グラウンド・ゴルフ春季大会	グラウンド・ゴルフ愛好者を対象にした交流大会	地域住民	117名
10月9日	スポーツの日施設無料開放	スポーツの日に陸上競技場の無料開放を行う	地域住民	111名

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者の増加により器具・設備の消耗による修繕費が年々増加している。</li> <li>大会利用時に駐車場の台数が不足、路上駐車などが年々増加している。</li> </ul>	<p>経年劣化した競技器具・設備については、計画的な更新を検討する。また、駐車場については、限られた駐車台数のため、大会等を開催する場合には、参加者に対し乗り合わせ等での来場を促すよう説明されたい。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時を想定した防災訓練を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	適切に個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を実施している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	定期的に点検を実施し、安全確認を実施している。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	自主事業を2件開催した	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	協会ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	アンケート回答はなかったものの利用者との積極的なコミュニケーションが図られたと判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	利用者の意見を取り入れ、器具庫の備品配置換えなどを実施した。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組みたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが事業計画を達成できた。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	自主事業を2件開催した	A	屋間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館が無く通常通りの営業を行えたことなどから、利用料金収入は事業計画と比較して26.1%増加した。利用者数は大規模大会が荒天のため中止となったことから0.8%達しなかった。 東北道ICからのアクセスの良さを活かし、周知活動に努めて陸上大会の誘致・定着、部活動の合宿誘致などで施設利用増加を目指したい。	A	<施設所管課の所見> 大会中止等で、年間利用者約700人の減となるも、団体利用の回復から、料金収入は約24万円の増となった。ウェブサイトでのPR強化のほか、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図りたい。



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市築館B&G海洋センタープール
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市築館B&G海洋センタープール		
施設所在地	栗原市築館字荒田沢41番地241		
設置年月	昭和57年2月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 111.78㎡(管理棟)、1,144.71㎡(プール) 敷地面積 9,986.0㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造(管理棟)、鉄骨造(プール)	
	施設内容	プール(25m×6コース、幼児用1面)、管理棟	
休 館 日	月曜日、9月1日から翌年の6月30日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時～正午、午後1時～午後4時、午後5時～午後8時30分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	203,710,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月～平成21年 3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年 4月～平成25年 3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年 4月～令和3年 3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更)	H28更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	51日	39日	51日	100.0%	130.8%
利用者数(延べ人数)	2,000人	1,910人	2,134人	106.7%	111.7%
利 用 料 金 収 入	100,000円	90,380円	98,850円	98.9%	109.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館等が無く、通常通りの営業を行えたことにより収入・利用者数は増加した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
7/9～8/27の土曜 全5回	水泳教室 初級	水泳初心者向けの水泳教室	市内小学生	56名
7月18日	海の日施設無料開放	海の日にプールの無料開放を行う	地域住民	100名
7月23日	水辺の安全教室	水辺での事故を防止するための安全学習と事故発生時の対処方法を学ぶ	市内小学生 ※水泳教室受講者	56名

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
・経年劣化による施設・設備の故障が多くなってきている。プール上屋シート破損により保温効果が失われたため、水温が上がらない日が多くなってきている。	プール上屋シートの一部破損箇所は遮光ネットで代用しているが、経年劣化によるシート交換については、計画的な更新を検討する。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
夜間の時間もプールを使えるようにしてほしい。	「上屋シート破損により夜間営業を中止している。今後市と協議します。」と回答。
水泳教室を開講してもらいありがとうございます。子どもたちが楽しく参加できました。	「水泳教室に参加いただきありがとうございます。来年度も開講予定ですので、ぜひご参加ください。」と回答。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	S	体育施設管理有資格者を含め、適切に人員配置を行っている。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を受けた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	S	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施している。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	水泳教室を開催している。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ・市広報紙等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	利用者の意見に応じて水泳教室を土曜日に開催した。	S	利用者の要望に応え適切な人員配置のもと運営した。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが事業計画を達成できた。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	S	水泳教室を開催した。	S	水難事故防止にかかる教室を開催するなど積極的な取り組みを行った。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水に努め、軽微な修繕等は職員で実施した。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を実施している。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館が無く通常通りの営業を行えたことや水泳教室を開催したことなどから事業計画と比較して利用人数は6.7%増加したが、8月後半の低温のため利用料金収入は1.1%達しなかった。 近隣のため池で起きた死亡事故を受けて「水辺の安全教室」を開講し、着衣泳やペットボトル浮き、ライフジャケット浮きを体験させた。毎年夏休み開始時期に開催し、水難事故防止の一助になるよう努力したい。	A	<施設所管課の所見> 概ね、適切に運営していると判断する。新たな取り組みとして、水難事故防止のための安全教室を開催するなど、利用者の安全や安心に繋がる事業を実施されたことは、大きく評価できる。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設名称	栗原市築館多目的競技場
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設名称	栗原市築館多目的競技場		
施設所在地	栗原市築館高田二丁目8番12号		
設置年月	平成12年9月29日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 387.92㎡(管理棟) 敷地面積 23,9660.93㎡	
	構造	鉄骨造(管理棟)	
	施設内容	11人制ホッケーコート1面、管理棟、駐車場	
休館日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指定の期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	203,710,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月 ~ 平成21年3月	管理委託	有限会社仙北ビルサービス	
平成21年4月 ~ 平成25年3月	管理委託	若清テクノ株式会社	H24更新
平成25年4月 ~ 令和3年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更)	H28更新

## 4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実績		計画との比率(%)	前年度との比較(%)
	評価対象年度(令和4年度)	前年度(令和3年度)	評価対象年度(令和4年度)		
開館日数	308日	219日	308日	100.0%	140.6%
利用者数(延べ人数)	9,000人	8,288人	13,071人	145.2%	157.7%
利用料金収入	550,000円	213,170円	421,400円	76.6%	197.7%
主な増減要因(前年比)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館等が無く、通常通りの営業を行えたことにより収入・利用者数は増加した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
・ナイター利用の増加により光熱費が年々増加している。	経費の縮減に取り組んでいるものの、電気料金の高騰が大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送った。	B	コロナ禍のため、やむを得ないと判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	B	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが事業計画を達成できた。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。	B	今後の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館が無く通常通りの営業を行えたことから事業計画と比較して利用人数は45.2%増加した。一方、見込んでいた8月の全国中学校ホッケー選手権大会の事前合宿等の利用が無かったため、利用料金収入は23.4%減少した。 新規自主事業の開催や利用環境の整備を強化し、高校・大学のホッケー部の合宿誘致・定着で利用状況の改善に努めたい。	A	<施設所管課の所見> 概ね、適切に運営していると判断する。年間で、利用者数が約4,700人増、料金収入が208千円増となり、コロナ禍前の状況に回復しつつある。ウェブサイトでのPR強化のほか、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図りたい。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市築館テニスコート
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市築館テニスコート		
施設所在地	栗原市築館伊豆一丁目2番7号		
設置年月	平成27年9月15日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	敷地面積 2,867.04㎡	
	構造		
	施設内容	砂入り人工芝コート 3面(内1面はゲートボール併用)	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後9時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	203,710,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成27年 9月 ~ 令和3年 3月	直営	栗原市	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	210日	308日	100.0%	146.7%
利用者数(延べ人数)	7,500人	7,001人	8,278人	110.4%	118.2%
利 用 料 金 収 入	350,000円	357,110円	538,850円	154.0%	150.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館等が無く、通常通りの営業を行えたことにより収入・利用者数は増加した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
ナイター利用増加により光熱費が年々増加している。	ナイター照明にかかる電気料金の高騰が大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	



8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者を計画どおり適切に配置しているか。	A	適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	サービス向上のため研修を実施した。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練や緊急時対応出来るよう勉強会を実施した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適切に整備・保管を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	個人情報保護に努めている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	管理・運営に努めている。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適切に管理に努めている。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・点検を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	点検を実施し安全確認を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送った。	B	コロナ禍のため、やむを得ないと判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	迅速に対応を行っている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	ホームページ等で情報提供を行っている。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	迅速に対応を行っている。	A	適切に行っている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応を行っている。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	今後更なる整理整頓していきたい。	B	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	満足が得られている。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切な対応を行っている。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更に改善・工夫し取り組みたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが事業計画を達成できた。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	自主事業開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。	B	今後の取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	節電節水、軽微な修繕等は職員で行い、経費削減に努めた。	A	経費削減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切な経理を行っている。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の休館が無く通常通りの営業を行えたことから、利用人数・利用料収入ともに事業計画と比較してそれぞれ10.1%、54.0%の増加となった。 利用が夜間に集中しているため、平日昼間の利用を案内するなどして利用者・利用収入増加を目指したい。	A	<施設所管課の所見> 年間で、利用者数が約1,200人増、料金収入が18万円増となり、コロナ禍前の状況に回復しつつある。ウェブサイトでのPR強化のほか、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図りたい。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市若柳総合体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市若柳総合体育館		
施設 所 在 地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設 置 年 月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	113,080,000円 ( 5年間 )	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月 ~平成19年3月	直営		
平成19年4月 ~平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月 ~平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H24更新
平成29年4月 ~令和 4年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	282日	308日	100.0%	109.2%
利用者数(延べ人数)	70,000人	43,465人	34,837人	49.8%	80.1%
利 用 料 金 収 入	2,110,000円	1,701,240円	813,380円	38.5%	47.8%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	令和4年3月16日の地震の被害の影響でメインアリーナが10月25日まで使用不可となり、大きな大会や普段の練習がすべて行えなくなり、利用者数(前年比:80.1%)および利用料金収入(前年比:47.8%)と大幅な減少という結果になった。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年5月～令和5年3月	レクダンス教室	毎週金曜日、音楽に合わせて楽しくダンスで身体を動かし、リフレッシュする	一般	181人
令和4年11月～令和5年3月	ジュニアテニス教室	ジュニア用テニス用具を用いて、遊びながらテニスを楽しむ	小学生	121人
令和4年9月29日	ラージボール(卓球)交流会	混合ダブルス(くじ引き)、試合を楽しむ	一般	34人
令和4年11月30日	ラージボール(卓球)交流会	混合ダブルス(くじ引き)、試合を楽しむ	一般	10人
令和5年2月26日	スポーツ講演会	大学教授を講師に招き、スポーツを実施する中での指導者及び競技者のハラスメント問題を考え、防ぐ方法を学ぶ	栗原市民	200人
令和5年3月12日	ジュニアテニス大会	ジュニアテニス教室の子どもたちが実際に試合を行い、自分のスキルの向上を図る	小学生	16人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>①原材料等の高騰による経済不安、特に電気料金の値上げによる経費の増加が経営を困難にしている。支出は必要経費であり施設管理にかかる費用が無駄はないと考える。経常利益を上げるためには、利用者の増加による利用収入をより得ること以外に方法はない。スケジュール調整を行いながら利用予定を入れる努力が必要と考える。</p> <p>②接客態度をより良くするために研修等を行う必要がある。</p>	<p>施設維持管理費の節約に取り組んでいるものの、年間で電気料金が約130万円の増、体育館暖房等にかかる燃料費が約20万円の増となるなど、光熱費高騰が施設を維持管理するうえで大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
更衣室が中学生の部屋のようになっていて、迷惑だ。	代表指導者に報告し、他の利用者の迷惑にならないよう指導を行っていただいた。
夜間トレーニングルームを利用して、事務所にカードを取りに行ったが、巡回中で鍵がかかっており中に入れなかった。急いでいたので困った。どうにかできないか？	鍵をかけないで、巡回は短時間でい事務所に戻るよう指導を行った。
スタッフによって、対応が違う。	接客態度が統一できるよう研修等を積極的に行う。また、その都度、問題がなかったか確認し指導を行っている。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日毎回業務の引継ぎ、情報の共有を行った。技術習得のための研修を受講したが、接客等に関する研修は不足しているため今後行う必要がある。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	C	より適切な施設管理に努める。	B	適切な施設管理と計画的な設備更新を図る。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、また器具の取扱い講習会実施し安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 設備等の円滑な運用	C	地震の被害で損傷した照明等の工事が長引いたため、メインアリーナの安全性を確保できなかった。	B	メインアリーナについて、地震被害復旧まで運用を休止せざるを得なかった。	
⑥ 空調冷暖房設備の円滑な運用	C	幾度も点検調査したにもかかわらず、メインアリーナの暖房が上手く動作せず、時間を要した。老朽化によるものと思われるが、市と連携を取りながら今後も経緯を注視し、点検回数を増やす必要がある。	C	通常の点検箇所には異常はなく、暖房機の不具合箇所特定が難航した。新たに点検項目を増やし、早期試運転の確認により円滑な運用を図るとともに計画的な設備更新を図る。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速に対応している。	A	利用者意見への対応やウェブでの情報発信が迅速に行われている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	アンケート等の意見に適切に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	適切に対応している。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	メインアリーナの地震被害の影響がありやむを得ない。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C	光熱費の高騰と地震被害の影響を受けた。	B	地震被害による利用休止の影響はやむを得ない。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	地震の被害影響で、収入が確保できず、計画を大きく下回った。	B	メインアリーナの地震被害にかかる利用休止の影響がありやむを得ない。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	メインアリーナの利用不可に伴い、積極的な収入確保の取り組みができなかった。	B	メインアリーナの利用休止の影響はあったものの新たな自主事業の企画等に期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	必要不可欠な経費に努力し、委託掃除を週1回にし、職員で清掃に当たるなどの節約に努めた。	A	経費の縮減に努めていると判断する。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 新型コロナウイルス感染症が落ち着いた矢先に、地震の被害復旧工事が長期となったことで、計画していた大会や普段の利用が全てキャンセルとなった。計画通りの運営が困難となり、利用料収入を得ることができなかったことは大変な損害であった。可能な限り利用場所をサブアリーナに変更するなど工夫し努力を重ねてきた。今後もこの困難を乗り越えられるよう、スポーツ振興に努める。	B	<施設所管課の所見> メインアリーナ天井及び照明等の地震被害が大きく、復旧工事に時間を要したが、管理体制や利用者に対するウェブでの情報発信等は迅速であり適正と判断する。自主事業については、ウェブサイトでのPR強化のほか、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図りたい。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市若柳野球場
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市若柳野球場		
施設 所 在 地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設 置 年 月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 106.5㎡(管理棟)、敷地面積 18,000.0㎡	
	構 造		
	施設内容	・野球場2面(A・B対面式)、センター交差 ・観客席、管理棟、倉庫、駐車場(若柳総合体育館と兼用)	
休 館 日	月曜日、12月1日から翌年の2月2末日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	113,080,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月～平成19年3月	直営		
平成19年4月～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H24更新
平成29年4月～令和4年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1.7.17名称変更)	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	236日	167日	224日	94.9%	134.1%
利用者数(延べ人数)	10,000人	7,812人	11,571人	115.7%	148.1%
利 用 料 金 収 入	80,000円	74,740円	94,070円	117.6%	125.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用開館日数は前年より増えたこともあり、利用者数:前年比148.1%、利用料収入前年比:125.9%と並行して増加した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年5月～令和5年3月	グラウンドゴルフ教室	毎週1回、正しい技術やルールを教え、上達するためのレッスン	一般	239人
令和4年10月14日	グラウンドゴルフ大会	個人ゲームとし、個人表彰1～3位、ホールインワン賞等参加賞を配る	一般	14人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
大会開催の度に、喫煙をするなどのマナー違反をする大人が後を絶たない。以前のように近隣住民からのクレームが無いよう、職員を配備し、目撃した場合は口頭で注意するなど行って来た。掲示による周知を行っているが、今後も職員が巡回し注意を行うなどの継続的な注意喚起が必要である。	敷地内は全面禁煙としているため、喫煙者に対する施設の利用ルールの順守について、利用予約時に注意徹底するなど、継続して環境保持に取り組んでいただきたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
グラウンドがきれいに整備されていて、とても気持ちいいです。	今後も気持ちよくご利用いただけるよう努力を継続する。
駐車場で喫煙している人がいる。	巡回により注意喚起を行った。禁煙の周知徹底を図る。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営をしている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	毎日毎回業務の引継ぎ、情報の共有を行った。技術習得のための研修を受講したが、接客等に関する研修は不足しているため今後行う必要がある。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めている。	A	適切に施設管理をしている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、また器具の取扱い講習会実施し安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ グラウンドの整備、芝の管理補修等の実施	A	芝生の雑草の駆除作業、肥料の散布を実施した。	A	適切に管理している。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	より満足度の高いサービス提供に努める。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	適切に取り組んでいると判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	迅速に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	実績は赤字となったがグラウンド環境が良好となり利用者増に繋がった。	B	事業実績を分析し、適切な収支計画作成を図りたい。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	事業計画を達成し収入が増加したが、支出も増加したため収支実績は赤字となった。	B	事業実績を分析し、適切な収支計画作成を図りたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	自主事業を行うなど積極的な収入増加を図った。	A	適切に取り組んだ。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	市の担当者からの指摘を受けた芝生の除草作業を行い経費が増加した。	B	作業委託費用を除き、全体的に経費削減に取り組んだ。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 大会開催の度に、喫煙をするなどのマナー違反をする大人が後を絶たない。以前のように近隣住民からのクレームが無いよう、職員を配備し、目撃した場合は口頭で注意するなど行って来た。また、昨年度の市の担当者から指摘いただいた芝生の雑草駆除を本年度実施(業務委託費で計上)した。より良い環境づくりに努めた。	A	<施設所管課の所見> 年間で、利用者約3,700人増、料金収入約2万円の増となった。雑草の駆除により、グラウンド環境が改善された。可能な限り、良好な芝の状態を長く維持できるよう努めていただきたい。また、敷地内は全面禁煙としているため、喫煙者に対する施設の利用ルールの順守について、利用予約時に注意徹底するなど、継続して環境保持に取り組んでいただきたい。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市若柳総合体育館 弓道場
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市若柳総合体育館 弓道場		
施設 所 在 地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設 置 年 月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	113,080,000円 ( 5年間 )	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月～平成19年3月	直営		
平成19年4月～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H24更新
平成29年4月～令和 4年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	282日	308日	100.0%	109.2%
利用者数(延べ人数)	400人	181人	207人	51.8%	114.4%
利 用 料 金 収 入	10,000円	3,650円	4,110円	41.1%	112.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	開館日数9.2ポイント増、利用者数14.4ポイント増、利用料金収入12.6ポイント増について、新型コロナウイルス感染症の行動制限が段階的に緩和され、弓道教室を開催できたことや利用者が戻ってきたことによる増加である。				



## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月～令和5年3月	弓道教室	弓道の基本指導、練習方法の指導	高校生以上の一般	54人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
弓道場施設は狭く、利用者5～6人程度で一杯になるため、多くの人が一気に利用することは難しいので、時間帯をずらして利用させる工夫が必要である。夜間に利用者が集中することがあるので呼びかけを継続して行う必要がある。	利用者に対しては、事前に予約状況を確認いただく方法をとるなど、利用方法の改善を図りながら、事故が起きないよう安全な施設利用を保持されたい。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営をしている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日毎回業務の引継ぎ、情報の共有を行った。技術習得のための研修を受講したが、接客等に関する研修は不足しているので今後行う必要がある。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施し、施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めている。	A	適切に施設管理をしている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、また器具の取扱い講習会実施し安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 備品等の設備補充や点検	A	弓道の道具等の安全点検等を教室を開催している若柳弓道協会の協力の下、適宜行った。	A	適切に管理している。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者に満足いただけるよう努めた。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	アンケート回答はなかったものの利用者との積極的なコミュニケーションが図られたと判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	苦情等はなかったものの要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	C	計画収入から大幅に減少した。	B	競技団体と連携した教室を開催したほか、管理経費節減に取り組んだ。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	事業計画より収入支出とも大幅に減少した。	C	事業実績を分析し、適切な収支計画作成を図りたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	狭い施設であり多くの人の入室が困難なため、限定的ではあるが、教室等を開催し努力した。	B	競技団体と継続的な連携を図り、教室の普及促進に期待する。	
③ 積極的に経費節減に努め、又具体的に経費の節減が図られた実績が見られるか。	A	必要不可欠な経費を除き、委託掃除を週1回にし、職員で清掃に当たるなどの経費節約に努めた。	A	清掃委託費の節減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>弓道場は狭く密になり易いので、常に清掃や安全点検を欠かせない。快適な利用環境を継続するよう努力をつづける必要がある。</p> <p>開館日数9.2ポイント増、利用者数14.4ポイント増、利用料金収入12.6ポイント増について、新型コロナウイルス感染症の行動制限が段階的に緩和され、弓道教室を開催できたことや利用者が戻ってきたことによる増加である。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>概ね、適切に運営していると判断する。弓道1種目に限定された施設であるため、今後も継続して教室や体験会を実施できるよう競技団体と連携しながら、利用者拡大を図りたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市若柳総合体育館 トレーニングルーム
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市若柳総合体育館 トレーニングルーム		
施設 所 在 地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
設 置 年 月	平成11年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 5,599.51㎡、 敷地面積 14,040.51㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート	
	施設内容	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、トレーニングルーム、ミーティングルーム、放送室、事務室、会議室(1、2、3、4)、更衣室、トイレ、器具庫、倉庫、機械室、車庫倉庫、駐車場	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会		
	事務所所在地	栗原市若柳字川南道伝前125番地2		
指 定 の 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	113,080,000円 ( 5年間 )	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年4月～平成19年3月	直営		
平成19年4月～平成21年3月	管理委託	有限会社ワイエス企画	H20更新、清掃委託別
平成21年4月～平成29年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市体育協会	H24更新
平成29年4月～令和 4年3月	指定管理	特定非営利活動法人栗原市スポーツ協会 (特定非営利活動法人栗原市体育協会からR1. 7. 17名称変更)	

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	282日	308日	100.0%	109.2%
利用者数(延べ人数)	4,000人	2,853人	3,719人	93.0%	130.4%
利 用 料 金 収 入	840,000円	579,770円	753,350円	89.7%	129.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく影響し、利用者数および利用料収入が伸び悩んだが、令和4年度は利用時間や利用人数の制限があったが徐々に緩和され、3月11日より制限がなくなったこともあり、利用者数前年比:130.4%、利用収入前年比:129.9%と増加した。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年4月～令和5年3月	トレーニングルーム利用講習会	各種トレーニング機器の使用法、ルール、マナー等についての指導及び円滑な利用方法の指導を行う。	中学生以上	103人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
<p>原材料等の高騰による経済不安、特に電気料金の値上げによる経費の増加が経営を困難にしている。市の理解と協力を得ながら、器具等の充実を図り利用者の満足度を上げ、より利用者を増やし、利用収入の増加を図りたい。また、狭い部屋なので利用時間帯をずらして頂くなどの利用者の協力を得るよう声掛けを行う。更に、接客態度をより良くするために職員研修等を行う必要がある。</p>	<p>電気料金の高騰が大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。ウェブサイトでのPR強化のほか、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図られたい。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トレーニング器具の種類を増やして欲しい。	器具の購入、更新については、栗原市と協議することとなっている。
トレーニング器具を長時間独占する人がある。また、使用後に消毒しない人もいる。	器具の独占やマナー違反等の目に余る使用が見受けられた際は、職員から声掛けをしている。それでも気になる利用者がある場合はその都度相談にのっている。利用者間で譲り合い、器具を使用していただくことが前提となっていることを確認し、改めて理解と協力を得るよう努力し、周知していく。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営をしている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	余裕はないものの、必要な人員を確保し適切に配置した。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	毎日毎回業務の引継ぎ、情報の共有を行った。技術習得のための研修を受講したが、接客等に関する研修は不足しているため今後行う必要がある。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防計画により年2回消防訓練及び勉強会を実施。施設環境の整備を適宜行った。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	日中の部、夜間の部と業務日誌を記録し、適切に管理保管した。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	特定個人情報取扱規程に基づき適切に管理運営した。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令を遵守し、市との協定に基づき管理運営を遂行した。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めている。	A	適切に施設管理をしている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	承認内容を遵守した。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	清掃・保守点検を計画的に実施し、良好な施設環境を維持した。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	市に申し入れを行い確認し、的確に修繕を実施した。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	安全点検を行い、また器具の取扱い講習会実施し安全性を確保した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 衛生的な利用環境の確保	A	新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐため、積極的にアルコール消毒等の清掃を行い、より良い環境づくりに努力した。	A	適切に管理している。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B	より満足度の高いサービス提供に努める。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	施設利用予定表の掲示、ホームページによる閲覧開示等、広く情報提供を行った。	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	意見箱を設置し、利用者の意見を聞きコミュニケーションを図り、サービス向上に努力した。	A	適切に取り組んでいると判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	迅速に対応し、可能な範囲で要望に応じた。	A	迅速に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	現状維持を重点化し、新たな取り組みを実施するまでに至らなかった。	B	利用者増につながる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	不備な点は迅速に改善した。利用者より理解を得られた。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	言葉遣い等、丁寧な対応に心掛けた。制服等を身に着け適切に対応した。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	より満足度の高いサービス提供に努める。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	3月11日より制限が解除され、これまでの制限下でも徐々に利用者が前年より増えたが、計画通りには伸びなかった。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	清潔で使い易い環境づくりに努め、器具の点検等を積極的に行った。	B	昼間の利用者増に繋がる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	必要不可欠な経費を除き、委託掃除を週1回にし、職員で清掃に当たるなどの経費節約に努めた。	A	清掃委託費の縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	専用システムソフトおよび税理士の指導の下、適正に行った。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見>	A	<施設所管課の所見>
	令和5年3月11日の新型コロナウイルス感染症の行動制限解除までは、利用時間1時間20分、入室5名までの制限下で運営を行って来た。アルコール消毒の徹底を呼び掛け、器具および室内の清掃も丁寧に行って来た。徐々に利用者が増え利用料金収入も増加し、より良い環境づくりに今後とも継続して努力していく考えである。		年間で、利用者が約860人増、料金収入が約17万円増となるも、電気料金が約24万円増となったことから、運営が厳しい状況となっている。運営は、3密回避のための入室制限やアルコール消毒の徹底など、感染症対策をしっかり行い管理していた。ウェブサイトでのPR強化のほか、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業を企画するなど、利用者拡大を図られたい。	

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市栗駒総合体育館
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市栗駒総合体育館		
施設所在地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設置年月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設置目的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概要	面積	延床面積 5,761.75㎡、敷地面積 45,021.00㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メインアリーナ、事務室、会議室、研修室、選手控室、放送室、競技役員室、更衣室、シャワー・ロッカールーム、器具庫、倉庫	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	株式会社ダンロップスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1号		
指定の期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	238,950,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和 2年 3月	指定管理	株式会社ダンロップスポーツウェルネス (株式会社キッツウェルネスからH26.10.1社名変更)	H27、R2更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	285日	291日	94.5%	102.1%
利用者数(延べ人数)	28,770人	11,467人	15,896人	55.3%	138.6%
利 用 料 金 収 入	990,000円	888,930円	1,130,620円	114.2%	127.2%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度は新型コロナ感染防止(自粛要請期間)により1か月弱の利用停止だった為、今年度は自粛要請も緩和された影響で、開館日数が増え市外の利用団体の利用件数も増加した為、増収となりました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
2/22～3/5	商品販売	来館者向けのスポーツ用品のセール	来館者	54人
毎月第3土曜日	ヨガ	基本的なヨガの指導	一般	92人
毎月第3土曜日	太極拳	基本的な太極拳の指導	一般	33人
通年	体験受講	自主事業プログラムの体験	受講対象者	26人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリーナ内の備品等が破損している物も見受けられる為、備品管理も厳重に行なってまいります。</li> <li>・電気料金高騰に伴い、今後は施設内LED照明化が必要と考えます。アリーナ、プールは変更済みですが、まだ施設内の未施工箇所が多い為、今後の課題です。</li> </ul>	備品については、利用者に長く利用いただけるよう使用方法や保管方法についてマニュアルを作成するなど対応されたい。電気料金の高騰が大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
・個人利用でも気軽に、安く利用ができるので有り難いです。	・貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
・電気が明るくなってとても良いです。	・貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を通じ人材育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	全体ミーティングで防災訓練を実施するなど周知徹底。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	パソコンで管理・保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	S	年4回の研修で周知徹底し、併せて事務所外への持ち出し禁止を徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	全て遵守している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	維持管理を行っている。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	都度栗原市様と協議し対応。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。(業者も含めて)	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	スポーツ団体募集要項等の掲示を行っています。	A	自主事業の継続など、一定の取り組みを行っている判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	ホームページ掲載も含め迅速且つタイムリーに処理している。	S	ウェブサイトをリニューアルするなど利便性が図られた。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	出来る事は即対応。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	アリーナ壁に防護ネットを設置した。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	お客様に満足いただきたいとの意識を持って日々対応しています。	A	利用者増につながる更なる事業展開に期待する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	対応場所によって多少のバラツキはあるものの、概ね良い評価をいただきました。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	笑顔で対応するように心掛けています。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組みたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体施設全体として妥当と考えます。	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体施設全体として取り組みました。	A	昼間の利用者増に繋がる更なる取り組みに期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体施設全体として図られました。	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体施設全体として適正に処理されております。	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>今年度におきましては、クレーム等も無く概ね順調に推移して参りました。利用者数につきましては、自粛要請等も緩和され、週末には市外からの利用団体も増加傾向になりました。前年度と比較して、138.6%の利用者増加になっております。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>コロナ禍においても、3密を回避しながら衛生面の徹底を図り運営し、年間で利用者約4,400人増、料金収入が約24万円増となった。日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業の企画等を図りたい。</p>



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設の名 称	栗原市栗駒野球場
施設所管 部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市栗駒野球場		
施設所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山216番地64		
設 置 年 月	昭和60年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設概 要	面 積	延床面積 m <sup>2</sup> 、敷地面積 27,400m <sup>2</sup>	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	メイン球場1面、サブ(ソフトボール)球場1面、事務室、会議室、医務室、更衣室、役員室、収納庫、器具庫、ナイター設備	
休 館 日	月曜日、12月1日から翌年の2月末日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社ダンロップスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1号		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	238,950,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和 2年 3月	指定管理	株式会社ダンロップスポーツウェルネス (株式会社キッツウェルネスからH26.10.1社名変更)	H27、R2更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	236日	90日	79日	33.5%	87.8%
利用者数(延べ人数)	7,633人	4,582人	4,675人	61.2%	102.0%
利 用 料 金 収 入	586,000円	216,560円	379,500円	64.8%	175.2%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度は新型コロナ感染防止(自粛要請期間)により1か月弱の利用停止だった為、今年度は自粛要請も緩和されたものの天候等により平日利用日が減となりました。週末の市外利用が有った為、増収となりました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>・野球場利用者の方から、トイレ洋式化の要望がございます。トイレブースも古くなっている事や、野球場、テニスコートの利用人数が増えている為、今後は改修工事等のご検討もお願い申し上げます。</p> <p>・利用者の方からもお声がある、ファールボールの事故防止の為、メイン球場両サイドに、ボール飛散防止のネットを敷設する事もご検討をお願い申し上げます。</p>	<p>野球場管理棟トイレの洋式化、1塁・3塁側のファールボール防球ネットの設置について、利用者の利便性と安全性を考慮し、計画的な更新を検討する。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
トイレを和式から洋式に変えてほしい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
風当たりの強い球場なので、防風ネット兼ファールボール用ネットを設置して欲しい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。
サブグラウンドの土の入れ替えをお願いしたい。	栗原市様と協議させて頂きますと丁寧に対応致しました。

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	屋外スタッフを配置し適切に管理している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	社内研修を実施して人材育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練を実施してスキルを向上した。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務所に一括管理している。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修にてスタッフ全員周知徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適切な施設整備や備品との修繕んを行っている。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	行っている。	B	芝生部分をサッカー練習に活用するなどの取り組みを行っている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	S	ウェブサイトをリニューアルするなど利便性が図られた。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	出来る事は即実施。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今年度は要望及び苦情は有りませんでした。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	芝生の整備の強化をしました。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	概ね良い評価をいただきました。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切でした。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<指定管理者の所見> グラウンド状態が、常に良い状態でキープできる様に心掛けています。管理棟の清掃につきましても、利用されるお客様に満足していただける様に心掛け、より丁寧に実施しております。また、球場周辺の草刈り等も十分な整備、管理に努めております。前年比で利用人数が102%になりました。	A	<施設所管課の所見> 年間で、利用者約100人増、料金収入約16万円増となっているものの、電気料金高騰により、電気料が約37万円増となり大きな負担となっているため、照明のLED化と併せて対応を検討していく。自主事業は実施されなかったものの、野球場芝生部分をサッカーの練習用に活用するなど、利用者拡大に取り組んでいるほか、経費縮減に努めている。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	サン・スポーツランド栗駒
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設 名 称	サン・スポーツランド栗駒		
施設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設 置 年 月	平成7年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 m <sup>2</sup> 、敷地面積 40,214m <sup>2</sup>	
	構 造	管理棟:鉄筋コンクリート造	
	施設内容	陸上競技場(トラック:400m6コース・グリーンサンド舗装フィールド:クレー)、管理室・ミーティングルーム、器具庫	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ~ 午後 5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社ダンロップスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1号		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	238,950,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和 2年 3月	指定管理	株式会社ダンロップスポーツウェルネス (株式会社キッツウェルネスからH26.10.1社名変更)	H27、R2更新

## 4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	236日	41日	60日	25.4%	146.3%
利用者数(延べ人数)	8,518人	1,672人	2,991人	35.1%	178.9%
利 用 料 金 収 入	146,000円	7,470円	26,070円	17.9%	349.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年同様、市内の減免団体のみの利用となりました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
最近、隣接する山から現れるイノシシにサンスポのスタンド面を荒らされました。修復したものの、動物の習性なのか同じ場所を荒らすようです。今後の課題としては、侵入防止柵などの設置する事を推奨致します。	イノシシ被害の防止については、広い敷地のため、効果的な対策を検討する。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
サンスポ全面を人工芝に変えてほしい。せっかくの広い敷地が無駄になっている。	栗原市様と協議して参ります。
管理棟内にエアコンの設置をお願い致します。	栗原市様と協議して参ります。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	計画通り適切に配置しております。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	内部研修を実施し人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練、実技、研修を通じ環境を整備している。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務室で整理、保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修において周知徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	管理棟の清掃、グラウンドの整備など環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	行っている。	C	利用者拡大に繋がる自主事業等に取り組んでいただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	S	ウェブサイトのリニューアルするなど利便性が図られた。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	今年度は利用者様より、アンケートのご意見がありませんでした。	A	アンケート実績はなかったものの要望に柔軟に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情等が出た時は栗原市様と協議し対応します。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな取り組みを行いました。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	概ね良い評価をいただきました。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>利用件数が多い施設ではありませんが、利用者様が快適に利用できるよう、常に環境整備、清掃を行なっております。利用者数は、前年比で178.9%となりました。今後も環境整備、清掃に努め、定期的な団体様、利用者様の増加につなげてまいります。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>年間で、利用者数約1,300人増、料金収入で約18千円の増となったが、日中の時間帯の使用率を向上させるため、新たな自主事業の企画等を図られたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒テニスコート
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市栗駒テニスコート		
施設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山216番地64		
設 置 年 月	昭和60年3月31日	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 m <sup>2</sup> 、敷地面積 1,453.17m <sup>2</sup>	
	構 造		
	施設内容	砂入り人工芝2面、ナイター設備	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社ダンロップスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1号		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	238,950,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和 2年 3月	指定管理	株式会社ダンロップスポーツウェルネス (株式会社キッツウェルネスからH26.10.1社名変更)	H27、R2更新

## 4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	167日	220日	71.4%	131.7%
利用者数(延べ人数)	3,529人	4,085人	5,259人	149.0%	128.7%
利 用 料 金 収 入	112,000円	118,300円	127,530円	113.9%	107.8%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度は新型コロナ感染防止(自粛要請期間)により1か月弱の利用停止だった為、今年度は自粛要請も緩和された影響で、開館日数が増えたことで利用者数も増加し、増収となりました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
隣接する野球場から、ファールボールの飛散もある為、利用者様には(双方に)注意喚起を促しています。 今後の課題としては、事故リスク低減の為、ボール飛散防止のネットを敷設する等もご検討お願い申し上げます。	隣接する野球場からのファールボール防球ネット設置について、利用者の安全性を考慮し、計画的な設置を検討する。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
球場管理棟内の様式トイレの数を増やしてほしい。	栗原市様と協議して参ります。



8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	計画通り適切に人員を配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	研修等を通じ人材育成に努めました。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	全体研修で周知徹底。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務室にて管理、保管。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	全体研修で周知徹底。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営に遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営に遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適切に管理している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	定期的に点検、清掃を行い良好な施設管理を維持している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	スポーツ推進に向けた取り組みを行いました。	B	利用者拡大に繋がる自主事業等について利用団体と連携して取り組んでいただきたい。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している。	S	ウェブサイトのリニューアルするなど利便性が図られた。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	利用者様の意見を把握し反映する取り組みを行いました。	A	アンケート実績はなかったものの要望に柔軟に対応している。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望・苦情等が出た時は栗原市様と協議し対応します。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	新たな取り組みを行いました。	A	一定の取り組みを行っているかと判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	概ね良い評価をいただきました。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館に集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<指定管理者の所見> 利用者様が気持ち良くご使用いただけるように、テニスコート周辺の環境整備に尽力いたしました。トイレについては、野球場利用者様と合同での利用の為、特に利用が多い週末は、管理棟の清掃等を十分に行なっております。 自粛要請等も緩和され、利用者数が前年比128.7%になりました。	A	<施設所管課の所見> 年間で、利用者数約1,200人増、料金収入約9千円増となり、大会等の開催状況がコロナ禍前の状況に回復しつつある。利用者団体とのコミュニケーションを図りながら、自主事業や共催事業を企画するなど、利用者の拡大に繋がるような事業展開を図られた。野球場管理棟トイレの洋式化については、計画的な更新を検討する。

## 別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒プール
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市栗駒プール		
施設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設 置 年 月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 5,761.75㎡、敷地面積 45,021.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	25m×6コース温水プール、子ども用プール、ジャグジー、採暖室、シャワー室、更衣室、機械室	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 10時 00分 ~ 午後 8時 30分 ※ 条例から変更の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社ダンロップスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1号		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	238,950,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和 2年 3月	指定管理	株式会社ダンロップスポーツウェルネス (株式会社キッツウェルネスからH26.10.1社名変更)	H27、R2更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	285日	307日	99.7%	107.7%
利用者数(延べ人数)	21,167人	16,348人	18,116人	85.6%	110.8%
利 用 料 金 収 入	3,814,000円	2,624,860円	2,965,370円	77.7%	113.0%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度は新型コロナウイルス感染防止(自粛要請期間)により1か月弱の利用停止だった為、今年度は自粛要請も緩和された影響で、開館日数が増えたことで利用者数も増加し、増収となりました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月水曜日	流水脂肪燃焼ウォーキング	水中ウォーキングの指導	一般	616人
毎月金曜日	流水リハビリ	流水リハビリの指導	一般	555人
毎月火曜日	キッズ（幼児）水泳	幼児向け水泳指導	幼児	118人
毎月火、土曜日	ジュニア（小学生）水泳	小学生向け水泳指導	小学生	3,856人
毎月2～3回（金曜日）	成人水泳	成人向け水泳指導	一般	195人
随時	ショートプログラム	ワンポイント指導	一般	カウントなし

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
今年度は、プール屋根のトップライト部分のガラス2枚にヒビが入り、破損する恐れがある為、栗原市様対応で修繕工事を行って頂きました。ヒビの原因としては、ガラス内のワイヤーが経年劣化の為、錆びた部分よりヒビが入ったのではないかとする事でした。今後も同様の事象が懸念されます。	施設を安全に利用いただくため、経年設備について、引き続き点検を行いながら、計画的な更新を検討する。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
以前、プールの底に砂の様なものが沈んでいたけど最近綺麗になりましたね。	以前プールロボット（プール底掃除機）が故障の為、収集できていない事をお伝え致しました。清掃ロボットを更新した事をお客様にお伝えいたしました。
プールの水が綺麗なので気持ち良く泳ぐ事が出来ています。	貴重なお言葉を頂き、お礼を申し上げます。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	栗原市様との協定に基づき計画通り適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	特に新規従業員の育成に努めている。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災訓練、実技、研修を実施しスキルアップに努めている。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	しっかり責任を持ち整理、管理を行っている。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	研修で徹底し適正に実施されている。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	都度栗原市様と協議し対応している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を行っている。	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	お客様の要望を聞き取り組みを行っている。	A	一定の取り組みを行っていると判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速感のある対応が出来ている。	S	ウェブサイトのリニューアルするなど利便性が図られた。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	その場で改善出来る事は即実施している。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	今年度は特に苦情は有りませんでした。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	施設内の整理・整頓・清掃の強化。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	概ね良い評価をいただきました。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組みたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	B	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	一定の取り組みがあったと判断する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体育施設全体として体育館にて集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>前年度は、緊急事態宣言及びプールの改修工事に伴い、営業停止期間が長く、利用人数の減少となりました。今年度も8/18～9/12まで感染防止の為、利用停止となりましたが、前年比で利用者数が110.8%になりました。</p> <p>利用者様からは、改修工事後の塗装面やLED照明の明るさに、高評価を頂いております。今後も安全面、サービス面で利用者様に満足していただけるよう、努めて参ります。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>年間で、利用者数約1,700人増、料金収入約34万円増となったものの、電気料金の高騰から、電気料で約190万円の増となり、大きな負担となっているため、対応を検討していく。また、自主事業メニューについては、利用者の要望が多いものを重点的に充実させていくなど、収入増となる取り組みを継続していただきたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市栗駒総合体育館トレーニングルーム(栗原市栗駒総合体育館内)		
施設 所 在 地	栗原市栗駒岩ヶ崎裏山221番地		
設 置 年 月	平成10年3月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 5,761.75㎡、敷地面積 45,021.00㎡	
	構 造	鉄筋コンクリート造	
	施設内容	トレーニングマシン22種32台他	
休 館 日	月曜日、12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前 9時 00分 ~ 午後10時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり  ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社ダンロップスポーツウェルネス		
	事務所所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1号		
指 定 の 期 間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	238,950,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成11年 4月 ~ 平成24年 3月	直営		
平成24年 4月 ~ 令和 2年 3月	指定管理	株式会社ダンロップスポーツウェルネス (株式会社キッツウェルネスからH26.10.1社名変更)	H27、R2更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
		評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)		
開 館 日 数	308日	285日	308日	100.0%	108.1%
利用者数(延べ人数)	12,647人	8,327人	9,428人	74.5%	113.2%
利 用 料 金 収 入	1,687,000円	1,568,110円	1,825,230円	108.2%	116.4%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	前年度は新型コロナ感染防止(自粛要請期間)により1か月弱の利用停止だった為、今年度は自粛要請も緩和された影響で、開館日数が増えたことで利用者数も増加し、増収となりました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
毎月休館日以外実施	パーソナルトレーニング	専門トレーナーによる個人メニュー作成、実技	小学生以上	501人
毎週日・木曜日、第3土曜日	トレーニング講習会	トレーニングマシン個々についての取扱い説明	中学生以上	194人
令和5年3月～ 毎月休館日以外実施	体組成計	体組成の測定	中学生以上	13人

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<p>・年々トレーニングマシンが更新され、利用者様からは喜びの声やお褒めの言葉を頂戴しております。栗原市様の更新計画により、随時、更新が施されております。</p> <p>・トレーニング器具の中には、納入時から年数が経過しているものもあり、定期的なメンテナンスを行いながら、安全にご利用できるよう管理いたします。</p>	<p>トレーニング機器については、安全に利用できる環境を保持しながら、計画的な更新を図ります。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
利用料金が安く、器具もそろっているので楽しく体を動かすことが出来ています。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
いつも綺麗にして頂いて、ありがとうございます。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。
皆さんの心配りに感謝いたします。	貴重なお言葉を頂きお礼を申し上げます。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めている。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	必要な人員を計画どおり適切に配置している。	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	内部研修を実施し人材育成に努めた。	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	防災研修や訓練を実施し対応すきるを向上させた。	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	事務室にて一括管理しています。	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	Pマークの基準どおり適切に管理している。	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づいた管理、運営を遂行している。	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切な施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	特にクレームも無く適切に管理している。	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	徹底した清掃を実施している。	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	栗原市様と協議し修繕計画を立て対応している。	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	必要な専門的点検を実施した	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	S	積極的に取り組んでいます。	S	独自の事業展開を行い、利用者の拡大を図っている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	利用者からの意見に迅速な対応を実施している。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	迅速に対応している	S	ウェブサイトリニューアルするなど利便性が図られた。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	自主事業として取り組んでいます。	A	一定の取り組みを行っている判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	栗原市様と協議しマシンの更新を実施。	A	要望等に対応していると判断する。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	パーソナルトレーニングの強化。	S	利用者増につながる取り組みを実施した。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	概ね良い評価をいただきました。	A	利用者より一定の満足は得られていると判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	適切である。	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	更なる改善・工夫を行い運営状況改善に取り組むたい。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	6体施設全体として体育館にて集約	A	コロナ禍において3密を回避しながら、衛生面の徹底を図り運営した。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	6体施設全体として体育館にて集約	A	パーソナルトレーニングのメニューを拡充するなどの取り組みがあった。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	S	6体施設全体として体育館にて集約	S	経費縮減等に取り組んでいる。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	6体施設全体として体育館にて集約	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>今年度は、コロナ感染防止による自粛要請等も緩和されて、利用者数も前年比で113.2%になりました。トレーニング室を利用する為の講習会の参加者も増えております。今後は更なる利用者の急増が予測されます。トレーニング器具も随時更新となり、利用者の皆様より感謝のお言葉を頂いております。利用者の皆様が快適にご利用頂けるよう、努めて参ります。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>年間で、利用者数約1,100人増、料金収入約25万円増となり、コロナ禍前の状況に回復しつつあります。自主事業収入が減収しているが、今後も人材育成により、魅力あるトレーニング施設として運営いただきたい。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市小田ダム湖畔パークゴルフ場		
施設 所 在 地	栗原市一迫字長崎川台53番地5		
設 置 年 月	平成23年4月	設置根拠条例	栗原市体育施設条例
設 置 目 的	市民の体育、スポーツ及びレクリエーション活動の推進と生活文化の向上を図る		
施設 概 要	面 積	延床面積 156.0㎡(管理棟) 敷地面積 33,379.4㎡(グリーン1,346.5㎡、フェアウェイ79,702.6㎡、コース外22,330.3㎡)	
	構 造	管理棟:木造平屋、倉庫:プレハブ	
	施設内容	全36ホール(4コース×9ホール)、クラブハウス(管理棟)、倉庫、駐車場(75台)	
休 館 日	月曜日、12月1日から翌年の3月末日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	使用料、観覧料等の設定ごとに記載 栗原市体育施設条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	(業)アクアテック栗原		
	事務所所在地	栗原市築館伊豆三丁目1番5号		
指 定 の 期 間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	11,810,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成23年 4月 ~ 平成25年 3月	直営		
平成25年 4月 ~ 平成27年 3月	管理委託	(業)アクアテック栗原	
平成27年 4月 ~ 令和 5年 3月	指定管理	(業)アクアテック栗原	H30更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	評価対象年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	210日	186日	15日	7.1%	8.1%
利用者数(延べ人数)	20,000人	18,759人	608人	3.0%	3.2%
利 用 料 金 収 入	6,860,000円	6,239,730円	104,280円	1.5%	1.7%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	4月1日無料オープンでスタートするも、イノシシによる芝被害のため4月19日より休場したため608人の利用者数となった。				



## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
新型コロナウイルス感染対策の規制緩和も進み、今年こそ例年並みの事業が展開できるものと期待しておりましたが、イノシシ被害により4月19日から休場となってしまう残念な最終年度となりました。	イノシシ被害の復旧のため、4月19日から休場となりました。イノシシに掘り起こされた芝の張り替えと、イノシシ被害の再発を防止するべく防護フェンスを市で設置しました。利用者に気持ちよくプレーいただけるよう芝の管理を維持しながら、利用者数の回復に連携して尽力します。

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
なし	

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善 勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適切な管理・運営に努めた。	A	適切に管理・運営している。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	指導員、芝草管理士等の有資格者を適切に配置している	A	適切な人員配置である。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	専門業者と情報共有	A	人材育成に努めている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	スタッフ全員に救命講習を受講させ有事に備えている	A	緊急時の体制が十分に整備されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	関係書類の作成・保管は、管理者の決裁を得て適切に保管している	A	適切に管理している。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	規定通り適正に処理・管理している	A	適切に管理している。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令遵守のもと管理・運営している	A	適切に運営している。	
(2) 施設管理の状況	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定内容・承認内容を遵守している	A	承認内容を遵守している。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	自主点検を徹底し、施設環境を維持している	A	良好な施設環境を維持している。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき維持管理、修繕を実施している	A	適切に対応している。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各専門業者の点検により、安全確認を行っている	A	必要な点検を適正に実施し、安全確認を行っている。	
⑤ 施設の設置目的であるスポーツ等の推進に向けた取り組みを行っているか。	A	SNS配信のほか、地域団体に積極的に営業活動を行った。	A	一定の取り組みを行ったと判断する。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	適切に施設管理に努めた。	A	適切な施設管理を行っている。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	受付時より利用時のスムーズな手続きとなるご案内・施設情報の提供を行う	A	適切な手続きと迅速な情報提供を行っている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	B	クラブハウス内にアンケート用紙を設置。今年度はアンケート回答なし	B	休場のため、やむを得ないと判断する。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	B	内容を精査し可能な限り対応した	A	休場時に適切に対応した。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	A	SNS等利用し広報活動	A	一定の取り組みを行ったと判断する。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	今年度はアンケート回答なし	B	休場のためやむを得ないと判断する。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	職員への指導を徹底した	A	適切である。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適切な運営に取り組んだ。	A	コロナ禍においても安心して利用できる施設運営に努めた。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	休場のため比較できず	B	休場のため、やむを得ないと判断する。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	A	休場のため具体的な収入創出なし。	B	休場のため、やむを得ないと判断する。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	A	休場でしたが細かな削減に努めた	A	休場期間中の維持管理経費について、削減の取り組みがあった。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	S	適正に管理している	A	適正であると判断する。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>休場のため、目標とする事業活動はできませんでしたが、次年度に向け適切な芝生管理・施設管理するとともに経費の削減に努めました。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>イノシシ被害による休場のため、事業活動はできなかったものの、芝張替箇所等の芝の養生管理や次年度に向けた施設の整備等を経費節減に努めながら行ったほか、オープンに向けた広報活動を行うなど利用者回復に向けて適切に運営された。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市文字郷土文化保存伝習館
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要(施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市文字郷土文化保存伝習館		
施設 所 在 地	栗原市栗駒文字角ヶ崎67番地1		
設 置 年 月	平成4年3月31日	設置根拠条例	栗原市郷土文化保存伝習館条例
設 置 目 的	郷土文化に関する認識を深め、その普及、研修及び伝承を図るため		
施設 概 要	面 積	延床面積 534.79㎡、敷地面積 5,534.0㎡	
	構 造	木造平屋一部鉄骨(1階建て)	
	施設内容	ふれあい交流ホール、会議室、伝習室	
休 館 日	12月29日から翌年の1月3日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分～午後10時00分 ※条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	ふれあい交流ホール 1時間につき 310円 会議室・伝習室 1時間につき 110円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要(施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	一和会		
	事務所所在地	栗原市栗駒文字角ヶ崎67番地1		
指 定 の 期 間	平成4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	2,700,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過(施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成18年9月～平成19年7月	管理委託	文字迫泉会	
平成19年8月～平成19年12月	直営		
平成20年1月～令和4年3月	指定管理	一和会	H21・H24・H29更新

## 4 施設の利用実績(指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	150日	24日	34日	22.7%	141.7%
利用者数(延べ人数)	5,807人	1,138人	854人	14.7%	75.0%
利 用 料 金 収 入	3,000円	2,074円	8,916円	297.2%	429.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	地元のご婦人方が少人数でも会を開いたことによって開館日が増え、利用料金の増額にもつながった				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理を受託している会は、高齢化が進み事業等は鈍化状態になっている。</li> <li>・前年度も記載しましたが、施設の延命対策として、屋根の錆止め対策、そして、天井等から鳥、コウモリが侵入することによる糞害(死骸散乱)対策を強く希望します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されたため、今後の利用拡大、収入増に向けて、指定管理者と協議する必要がある。</li> <li>・当該施設は経年劣化により、修繕を要する箇所も多くなっている。修繕について、今後の施設管理運営を含め、指定管理者と協議検討する必要があると考える。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
屋根の錆止め対策をして欲しい。	所管課に対して、修繕を要望している。
鳥、コウモリの糞害があるため、進入防止対策をして欲しい。	所管課に対して、修繕を要望している。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		B	概ね事業計画書に基づく適正な管理・運営であることを確認した。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	B	管理者は常駐せず、施設の予約を受けて対応している。	B	現状にあった配置であることを確認した。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	役員会等を実施し情報を共有している。	C	業務に必要な研修を行い、人材育成に努めていただきたい。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	B	近隣に管理者を配置し緊急時に対応している。	B	現状にあった配置であることを確認した。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	関係書類の作成・保管は、事務所内にて適切に保管している。	A	適切に整備、保管していることを確認した。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	規定通り適正に処理・管理している	A	適切に行っていることを確認した。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令遵守のもと管理・運営している	A	協定に基づいた管理・運営を遂行していることを確認した。	
(2) 施設管理の状況	A		A	適正な施設管理を行っていることを確認した。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	協定内容・承認内容を遵守している	A	遵守していることを確認した。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	自主点検・館内の清潔環境を維持している。	A	良好な施設環境を維持していることを確認した。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	協定に基づき維持管理、修繕を実施している。	A	適切な修繕対応を行っていることを確認した。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	各専門業者の点検により、安全確認を行っている。	A	必要な専門的点検を実施し安全確認を行っていることを確認した。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	B		C	利用者の向上、利便性の向上に向けて尽力いただきたい。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	B	常駐する管理者はいないが、利用にあたり不具合が無いよう迅速な対応に務めた。	C	利用者の利便性を高めるべく、施設情報を積極的に発信していただきたい。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	C	新型コロナウイルスの影響により利用者が減少したため、多くの意見を把握できなかった。	C	より多くの意見の把握に努めていただきたい。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	要望等は対応している。	A	要望等に適切に対応していることを確認した。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	利用者より意見を聴取し、施設管理・自主事業に生かしたい。	C	施設の目的を活かした新たな取り組みを実施していただきたい。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	B	ほぼ満足度が高い評価をいただいている。	B	より一層利用者から満足を得られるよう対応していただきたい。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	B	清潔かつ誠実に対応している。	A	適正な対応、身なり等であることを確認した。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B	事業計画等に基づき適正な運営を行っていただきたい。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	C	新型コロナウイルス感染対策の制限にや外出自粛により、事業計画に基づき実施できなかった。	C	新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、自主事業実施に努めていただきたい。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	C	新型コロナウイルス感染対策の制限にや外出自粛により、事業展開ができなかった。	C	新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、利用者増に繋がる取り組みをしていただきたい。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	業務の外部委託を極力控え、指定管理者自ら施設維持管理し、経費削減に努めた。	A	経費削減に努めていることを確認した。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適正な管理の履行に務めた。	A	適切に経理が行われていることを確認した。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染対策の制限や外出自粛の影響を受け、自主事業が出来なかったが、少人数の集まりが回を増やすよう努めた。</p> <p>施設管理については、冬の厳しい冷え込みで男子トイレの水洗が凍結破損するも、速やかに対策し更なる悪化を抑えた。また、会議室の暖房機から外に排気する管の注意喚起（杉葉等の可燃物）を行うなど、施設維持に努めた。</p>	B	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>協定書に基づき適正な施設管理、運営が行われている。しかし、利用率としては建設当時の計画値から見ると対比14.7%と低迷。また、現指定管理者としての新たな事業展開は難しいと考える。当該施設の設置目的を遂行するためにも、現指定期間内に今後における施設の利活用について関係課と協議検討していく必要があると考える。</p>

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	栗原市伊豆沼交流センター
施設所管部署名	教育部社会教育課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設 名 称	栗原市伊豆沼交流センター		
施設 所 在 地	栗原市若柳字上畑岡鶴経沢61番地1		
設 置 年 月	平成5年4月1日	設置根拠条例	栗原市伊豆沼交流センター条例
設 置 目 的	市民と来訪者の相互交流及び自然体験学習を通じて自然に対する認識を深めるとともに、人間性の形成を図る。		
施設 概 要	面 積	延床面積:本館999.21㎡・食堂棟236.01㎡、敷地面積:10,236.60㎡	
	構 造	本館:木造2階建、食堂棟:木造平屋建	
	施設内容	①本館(1階・2階・その他) ②食堂棟(調理場・食堂・自炊棟・トイレ) ③付帯設備(駐車場・多目的スポーツ施設・休憩室・広場・野外炊飯場・倉庫・その他)	
休 館 日	水曜日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前8時30分 ~ 午後5時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設 利 用 料 金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	栗原市伊豆沼交流センター条例のとおり ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	協業組合アクアテック栗原		
	事務所所在地	栗原市築館伊豆三丁目1番5号		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	36,000,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年4月 ~ 平成23年3月	直営		
平成23年4月 ~ 平成31年3月	指定管理	協業組合アクアテック栗原	H26更新
年 月 ~ 年 月			

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	評価対象年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開 館 日 数	308日	326日	334日	108.4%	102.5%
利用者数(延べ人数)	3,500人	3,075人	4,423人	126.4%	143.8%
利 用 料 金 収 入	5,687,145	5,079,971円	7,362,565円	129.5%	144.9%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	新型コロナウイルス感染防止対策の行動制限が徐々に緩和され、宿泊・レジャー業界の利用者と収入の回復が見られはじめたことと、キャンペーン利用が後押しとなり、施設利用者は前年比1,348人増(43.8%増)となり、利用料金は計画には届かなかったが、前年比2,282,594円の増収(44.9%増)となりました。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
令和4年8月27日	今村翔吾のまつり旅	サイン会・トークショー	一般	35名
令和4年11月19日	クリスマスリース教室	リース作り・お茶会	一般	9名
令和4年12月17日	とんぼの昼寝	クリスマスランチ	一般	15名

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者（指定管理者記入）	市（施設所管課記入）
<p>・新型コロナウイルス感染症の規制が取り払われ次年度以降の営業が以前のように戻ることを期待するところではあるが、柱の亀裂や床面のゆがみ等施設全体の老朽化が著しく、今後の運営に支障ないか心配な面あり。お客様の負担にならぬよう計画的な修繕を担当課と協議を実施したいと思います。</p>	<p>・令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたため、今後の利用拡大、収入増に向けて、指定管理者と協議する必要があると考える。          ・経年劣化及び自然災害による被害により、近年中は修繕費が高額になっている。現指定期間内に築30年が経過するため、施設としての今後の在り方を検討する必要があると考える。</p>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
<p>・初めて利用しましたが、とてもフレンドリーで良かった。(到着が)遅くなって色々が無理を言っすみませんでした。(50代・男性)</p>	
<p>・スマホ充電できるようにして欲しい。USBコンセントが欲しい。いつ来ても非常に清掃が行き届いていて最高です!!</p>	要望があれば貸出対応いたします。
<p>・朝シャワーだけでも浴びられるのもっと良いと思います。早朝に鳥をたくさん見れて感動しました。ありがとうございます。また来てみたいです。(50代・女性)</p>	利用者数と時間帯によって難しいところがあります、今後検討いたします。
<p>・温かい食事が食べられるとありがたい。レンジで温め易い容器にするなどは可能か？(70代・男性)</p>	今後、要望があれば対応いたします。
<p>・全体的に清潔感があり、快適に過ごせました。脱衣場が寒かったです。クレジットカードが使えるとありがたいです。(50代・女性)</p>	今後、電子マネー決済含め検討いたします。
<p>・湯のみ代わりにコーヒーカップを貸していただき助かりました。ありがとうございます。(60代・女性)</p>	
<p>・窓の外は沼で景色が良かった。伊豆沼の観光はハスの花も午前中、冬のマガンも早朝なのでまた利用したいと思います。(60代・女性)</p>	
<p>・夜遅くのチェックインへの対応、誠に有難うございました。早朝もマガンの飛び立ちも詳しく教えて下さり、助かりました。おかげ様で大変みのりのある滞在となりました。また是非利用させていただきます。(50代・女性)</p>	
<p>・飲料をコーヒー以外で何か販売してほしい。(20代・男性)</p>	自動販売機の利用をご案内しております。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A		A	適切に管理、運営を行っていることを確認した。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	常勤者は防火管理者・食品衛生責任者の資格あり	A	適切に配置していることを確認した。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	観光関係や近隣の店舗との情報の共有・収集を積極的に行った	A	人材育成に努めていることを確認した。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	消防設備や救急対応の訓練や確認をスタッフ間で定期で行っている	A	適切に行える環境を整備していることを確認した。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	関係書類の作成・保管は、管理者の決裁を得て適切に保管している	A	適切に整備、保管していることを確認した。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	規定通り適正に処理・管理している	A	適切に処理・管理していることを確認した。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	法令遵守のもと管理・運営している	A	適切に管理、運営を遂行していることを確認した。	
(2) 施設管理の状況	S		A	適切に施設管理を行っていることを確認した。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	S	協定内容・承認内容を遵守している	A	遵守していることを確認した。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	S	スタッフ間の連携を図り、自主点検・常時館内の清潔環境を維持している	A	良好な施設環境を維持に尽力していることを確認した。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	S	協定に基づき維持管理、修繕を実施している	A	適切に施設の維持修繕対応を行っていることを確認した。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	S	各専門業者の点検により、安全確認を行っている	A	必要な専門的点検を実施し安全確認を行っていることを確認した。	
⑤ 利用率向上に向けた対応をしているか	S	SNSや自主事業の関係等で情報の発信・収集で向上に繋げている	B	情報発信は行っているものの、コロナ禍と施設改修も影響し、利用率向上に向けた自主事業の展開が厳しかった。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	S		A	適切にサービス提供を行っていることを確認した。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	S	受付時より利用時のスムーズな手続きとなるご案内・施設情報の提供を行う	A	適切に手続等を行っていることを確認した。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	S	各部屋にアンケート用紙設置、可能な限り対応している	S	利用者からの意見を取り入れ運営に精力的に取り組んでいることを確認した。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	S	ハード面は可能な範囲で迅速に対応・ソフト面ではお礼の言葉を頂いた	S	適切に対応していることを確認した。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	S	意見聴取から、施設管理・自主事業に生かしている	B	コロナ禍においても蔓延防止対策を取り組んではいないものの、新たな自主事業への取り組みはできなかった。	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	S	ソフト面でカバーをすることでリピートに繋がっている	S	アンケート結果から利用者の満足が得られていることを確認した。	
⑥ 利用者に対し職員の応対、身なり等は適切であるか。	S	清潔かつ誠実に対応	A	適切に対応を行っていることを確認した。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B		B	事業計画に基づき、適切に運営を行っていることを確認した。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	新型コロナウイルス感染対策の行動制限解消により、計画を上回った	B	コロナ禍であるものの、月日が経つにつれて増加傾向が見受けられ、実績は妥当であると考えられる。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	お客様の見えない部分でのエコな管理と自主事業等で新聞やSNSを通じた広報活動を積極的に行った	B	新聞掲載やSNSを活用し、施設及び事業について積極的に広報活動を行っていることを確認した。	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	経費削減に努めたが、物価上昇の影響もありカバーできなかった	B	施設改修により一定期間施設を利用しない時期があったものの、物価上昇の影響により支出が上回ったことを確認した。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	S	適正に管理している	A	適切に経理が行われていることを確認した。	

総合評価	指定管理者の自己評価(指定管理者記入)	評価	市の評価(施設所管課記入)	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策の行動制限が徐々に解除され、野鳥観察、自然を求め個人客が増加となった。収入においては、キャンペーン利用が多く、計画に迫る増収となった。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>適切に施設の管理、運営が行われている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、施設利用数は計画値に対して126.4%と苦しい中でも回復の兆しを見せている。</p> <p>また、R4.3福島県沖地震の建物被害について、R4.11月末に炊事棟が改修されたものの、繁忙期に間に合わず利用者及び収入増には繋がらなかった。</p> <p>R5.5より新型コロナウイルス感染症対策も緩和されたため、収入や施設利用の増加に繋がる自主事業を積極的に取り組んでいただきたい。</p>



別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:4年度)

施設の名 称	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡
施設所管部署名	教育委員会 文化財保護課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名 称	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡		
施設所在地	栗原市花山字本沢温湯地内		
設置年 月	平成3年4月	設置根拠条例	栗原市仙台藩花山村寒湯番所跡条例
設置目的	市の歴史的財産である寒湯番所跡を適切に保存し後世に伝えながら、市民文化の向上に寄与する資料として活用するもの。		
施設概要	面積	合計延床面積 522.1 m <sup>2</sup> 、敷地面積 3,925.33 m <sup>2</sup>	
	構造	役宅:木造2階建 板倉:木造平屋建 ポンプ室:ブロック造平屋建	
	施設内容	ア 役宅 建床面積 479.54m <sup>2</sup> エ 屋外施設(表門・裏門・石垣) イ 板倉 建床面積 32.32m <sup>2</sup> ウ ポンプ室 建床面積 10.24m <sup>2</sup>	
休 館 日	12月1日から翌年3月31日まで ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開 館 時 間	午前9時00分 ~ 午後4時30分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	観覧料(団体は20名以上) 一般(個人)210円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)110円 一般(団体)170円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)90円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指 定 管 理 者	事業者等名称	株式会社 ゆめぐり		
	事務所所在地	栗原市栗駒沼倉耕英東50番地1		
指 定 の 期 間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	10,600,000円 (5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年 4月 ~ 平成18年 3月	直営	栗原市花山教育センター	
平成18年 4月 ~ 平成23年 3月	管理委託	社団法人 栗原市シルバー人材センター	
平成23年 4月 ~ 平成31年 3月	指定管理	株式会社 ゆめぐり	平成26年更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (4年度)	前年度 (3年度)	評価対象年度 (4年度)		
開 館 日 数	244日	218日	244日	100.0%	111.9%
利用者数(延べ人数)	1,300人	1,240人	1,423人	109.5%	114.8%
利 用 料 金 収 入	273,000円	256,440円	296,430円	108.6%	115.6%
主 な 増 減 要 因 (前 年 比)	利用者数は前年と比べ183人の増となった。要因として、新型コロナウイルス感染症拡大による閉館対象日がなくなったこと、また、隣接する寒湯山荘の宿泊者数の回復もあり、滞在型の温泉利用客が増えたことから、来館者の増につながったものと思われる。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメムシ駆除の限界</li> <li>・役宅内階段の勾配がきついので手摺を設置するなどの対策が必要ではないか</li> <li>・床に白アリと思われる食害痕跡がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物も古く立地上仕方のない面もある。その都度駆除をお願いしたい。</li> <li>・国の史跡に指定されている建物であり、建物へ手を加えることなど基本対応することはできない。簡易的な手すりの設置も難しい場所であるため、利用上の注意喚起標示を設置するなどの対策をとりたい。</li> <li>・長期的な害虫駆除計画、建物の改修等も視野に入れた計画が必要である。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
階段に手摺が必要だと思えます。	利用上の注意喚起標示を設置するなどの対策をとる。
管理人さんの説明が丁寧で良かったです。	
館内にカメムシがいました。	その都度対応している。
当時の面影が垣間見れて勉強になった。	

## 8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適正に行われている	A	管理運営体制に問題なし。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理人を配置。法定点検等は専門業者へ委託し対応	A	適正に行われている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	A	情報の共有に努めています	A	適正に行われている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	避難訓練の実施(年1回)	A	適正に行われている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	毎日、管理日誌を記録	A	適正に行われている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	A	条例に則り対応	A	適正に行われている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	協定に基づき対応、異常時は報告	A	適正に行われている。	
(2) 施設管理の状況	A	適正に行われている	B	管理状況に問題なし。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	条例に基づき対応	A	適正に行われている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	定期的な巡視の実施	B	改善が必要である	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	異常時は担当課へ報告	B	改善が必要である	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	専門業者へ委託	A	適正に行われている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	概ね満足を得られている	A	概ね満足を得られている	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	申請時には迅速に対応	A	適正に行われている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	受付にアンケートを設置	B	今以上に利用者アンケートの意見を反映する取組を期待する。(清掃など)	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	随時対応を心掛けています	A	適正に行われている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	大きな取り組みはなかったが来館者には満足してもらえた	B	更なる工夫に期待したい	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A		B		
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	苦情はありません	A	適正に行われている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	A	適正に行われている	A	適正に行われている	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	A	収支は黒字計上できた	A	適正に行われている。	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	新型コロナウイルス感染症によりイベントを中止した。	B	さらなる取組を期待する。	
③ 積極的に経費縮減に努め、又具体的に経費の縮減が図られた実績が見られるか。	A	計画以下の支出	A	適正に行われている。	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	会計事務所、監査委員の指導を受けながら管理	A	適正に行われている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<指定管理者の所見> 今年度の利用人数は、1,423人であり、前年比で183人の増加（前年比14%の増）でした。前年は休館要請の期間がありましたが、本年度は全営業日の開館ができました。支出は寒湯山荘と連携し支出を抑制しながら管理運営を行いました。燃料費高騰につき、市からの補助金がなければ損失計上となっているところでありました。本年度で最終年の契約期間となりますが、最後まで事故に気を付け管理運営して参りたいと思います。	A	<施設所管課の所見> ・新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、温泉施設利用者の増加と併せて来館者が増加したものと推察される。 ・新型コロナ前の利用数に回復できるよう、更なる自主事業の展開やPRの取り組みにも期待したいところである。 ・豪雪地帯における適切な施設の維持管理（雪囲いの対応や破損個所の補修など）について、改善が必要と考える。

別紙様式6

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:4年度)

施設 の 名 称	栗原市千葉周作ゆかりの家
施設所管部署名	教育委員会 文化財保護課

## 1 評価対象施設の概要 (施設所管課記入)

施設名称	栗原市千葉周作ゆかりの家		
施設所在地	栗原市花山字草木沢箕ノ口地内		
設置年月	平成3年7月	設置根拠条例	栗原市千葉周作ゆかりの家条例
設置目的	栗原市千葉周作ゆかりの家を保存しながら、古民家の遺構、民俗資料等の歴史に関する資料を収集保管し、それらを公開することで広く文化を伝えることに寄与する。		
施設概要	面積	合計延床面積 320.02 m <sup>2</sup> 、敷地面積 4,062 m <sup>2</sup>	
	構造	木造平屋建	
	施設内容	長屋門(市指定有形文化財)1棟 延床面積 65.79m <sup>2</sup> 住宅(市指定有形文化財)1棟 延床面積 242.23m <sup>2</sup> 便所 1棟 延床面積 12m <sup>2</sup>	
休館日	4月1日から11月30日までの月曜日から水曜日(ただし、月曜日から水曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日である場合は開館)。※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
開館時間	午前9時00分 ~ 午後4時00分 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
施設利用料金	利用料金制	<input type="checkbox"/> 採用 <input type="checkbox"/> 採用無 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理料と併用 <input type="checkbox"/> 指定管理料のみ	
	設定金額	観覧料(団体は20名以上) 一般(個人)210円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)110円 一般(団体)170円 小・中学生、高校生及びこれに準ずる者(個人)90円 ※ 条例から変更の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## 2 指定管理者等の概要 (施設所管課記入)

指定管理者	事業者等名称	有限会社 花山産業		
	事務所所在地	栗原市花山字本沢北ノ前35番地の15		
指定の期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)			
指定にかかる選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	指定管理料	6,961,000円(5年間)	

## 3 施設管理の経過 (施設所管課記入)

期 間	管理形態	施設管理を行った団体等	摘要
平成17年 4月 ~ 平成18年 3月	直営	栗原市花山教育センター	
平成18年 4月 ~ 平成23年 3月	管理委託	社団法人 栗原市シルバー人材センター	
平成23年 4月 ~ 平成31年 3月	指定管理	有限会社 花山産業	平成26年更新

## 4 施設の利用実績 (指定管理者記入)

	事業計画	実 績		計画との比率 (%)	前年度との比較 (%)
	評価対象年度 (令和4年度)	前年度 (令和3年度)	評価対象年度 (令和4年度)		
開館日数	145日	131日	145日	100.0%	110.7%
利用者数(延べ人数)	400人	328人	277人	69.3%	84.5%
利用料金収入	84,000円	67,080円	57,570円	68.5%	85.8%
主な増減要因 (前年比)	新型コロナウイルスによる閉館要請が明け、開館日数も通常どおりに戻ったものの、利用者数は前年比15.5%の減となった。花山地区への観光客数は戻りつつあることから、施設の更なるPRが必要であると思われる。				

## 5 自主事業等の実績（指定管理者記入）

年月日	事業名	事業内容	対象者	参加者数
なし				

## 6 施設の管理運営における課題（指定管理者、施設所管課記入）

指定管理者(指定管理者記入)	市(施設所管課記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で思う様なイベントが出来なかった。</li> <li>・利用者の増加に繋がるような広告を打っていきたい。</li> <li>・全職員を対象とした防火訓練の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の環境整備は適正に行われているが、来場者の更なる増加につながるような、自主事業やイベントの開催などの取り組みが必要である。</li> <li>・のぼり旗の設置など営業日のPRに力を入れていることが分かるが利用客の増加につながっていない。外部(市外)への発信や営業も必要ではないか。</li> </ul>

## 7 施設利用者からの主な意見等とその対応状況（指定管理者記入）

施設利用者からの主な意見等	対応状況等
きれいに保存されていて見学しやすかった。	
千葉周作について詳しく説明表記があり大変分かりやすかった	
場内が綺麗に整備されていてきもちがよかった。	
カメムシが建物の中にいた。	見つけ次第駆除している。

8 総合的な評価（指定管理者、施設所管課記入）

評価項目	指定管理者の自己評価		市の評価		改善勧告
	評価	コメント	評価	コメント	
(1) 基本的な方針に基づく管理・運営体制	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
① 施設の管理運営に必要な人員及び有資格者等を計画どおり適切に配置しているか。	A	管理人を配置、法定点検は専門業者に委託し対応	A	適正に行われている。	
② 指定管理業務に必要な知識及びサービスの向上のため、研修等人材育成に努めているか。	B	おおむね適正に行っている。	B	おおむね適正に行われている。	
③ 通常の安全管理や緊急時の対応について、職員が適切に行える環境を整備しているか。	A	適正に行っている。	A	休館時においても、当課との連絡及び現場確認体制が確立されている。	
④ 各業務日誌等の管理記録を適切に整備・保管しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
⑤ 個人情報の取り扱い及び保護の対策について適切に行われているか。	B	おおむね適正に行っている。	A	適正に行われている。	
⑥ 法令等を遵守し、市と締結している協定に基づいた管理・運営を遂行しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
(2) 施設管理の状況	A	適正に行っている。	A	管理状況に問題なし。	
① 市の承認した内容に基づき、施設の開館及び利用時間、利用料金設定を遵守しているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
② 施設内、設備等の清掃及び保守点検等を適切に行い、良好な施設環境を維持しているか。	A	適正に行っている。	A	保守点検等が確実に実施され、常に良好な環境が維持されている。	
③ 協定に基づき施設設備や備品等の適切な修繕対応を行っているか。	A	適正に行っている。(外部委託を含む)	A	日ごろから相談があり適切に修繕等が行われている。	
④ 設備維持と事故等防止のため、必要な専門的点検を実施し安全確認を行っているか。	A	管理人を配置、法定点検は専門業者に委託し対応、自社人材を活用	A	適正に行われている。	
(3) 利用者へのサービス提供と満足度	A	適正に行っている。	A	管理状況に問題なし。	
① 利用者の利便性を意識した迅速な利用許可手続きや施設情報の提供を行っているか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
② 利用者アンケート等により利用者の意見を把握し反映する取り組みを行ったか。	A	随時対応を心掛けている	A	アンケートもよく集計されている。	
③ 要望及び苦情等に対する対応が十分になされたか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
④ 施設の目的を活かし利用者の充実のため新たな取り組みを実施したか。	B	適正に行っている。	B	新しい取り組みに期待したい	
⑤ モニタリング・アンケートの結果、利用者の満足が得られていたか。	A	適正に行っている。	A	適正に行われている。	
⑥ 利用者に対し職員の対応、身なり等は適切であるか。	A	苦情等はない。	A	適正に行われている。	
(4) 運営の状況（収支の実績等）	B	おおむね適正に行っている。	B	適正に行われている。	
① 収支計画及び事業計画と比較し実績の状況は妥当であるか。	B	収支については赤字計上である	B	妥当である	
② 積極的に収入の創出（増）に努め、又収入の増加に繋がる具体的な取り組みがあったか。	B	コロナにより自主事業イベントの中止	B	改善が必要である	
③ 積極的に経費削減に努め、又具体的に経費の削減が図られた実績が見られるか。	B	支出の抑制に努めたが、人件費の支出が多くなった。	B	概ね妥当である	
④ 指定管理業務における専用口座及び諸帳簿等を備え適正な経理が行われているか。	A	適切に管理している	A	適正に行われている。	

総合評価	指定管理者の自己評価（指定管理者記入）	評価	市の評価（施設所管課記入）	評価
		<p>&lt;指定管理者の所見&gt;</p> <p>今年度の利用人数は、277人であり、前年から51人の減少（前年比15%の減）でした。コロナの状況から観光客が戻り始め、当館においても来館者の回復を望みましたが、来館者は増えなかったことが課題です。施設のPRに努め、今後、自主事業も含めた外部への発信、宣伝に力を入れていきたいと思えます。</p> <p>そのほか、施設管理、運営については当社のノウハウを生かし、適正な管理ができたと思っております。</p>	A	<p>&lt;施設所管課の所見&gt;</p> <p>・施設の環境整備に力を入れており、建物および庭園の維持管理能力に長け、来場者の評価も高い。当課との連絡も密であり、突発的な災害事案等にも迅速に対応できる。</p> <p>・HPを活用し、当該施設の啓蒙に取り組んでいるが、利用者の獲得にはつながっていない。観光施設の一面も忘れず、外部への発信、PRにも継続して取り組んでほしい。</p>